

遊木紀事目錄

太平洋航海中ノ景況

船客料

桑港埠頭ニ着船ノ景況及ヒ上陸ノ手續

桑港市中ノ景況

桑港ヨリ乗車ノ手續

桑港ヨリサククラメント迄ノ地景

金山州首府サククラメント市街

サククラメントヨリチバダ山脉ニ登ル鐵道及ヒ路傍ノ地景

チバダ山脉ヨリチグアーンニ至ルマテ中央平洋線路ノ景況

路傍ノ地質

54-40

主人ノ姿容

觀湖畔ノ地景

「ラグデン」ヨリ東方「コンシユル」ラッマス「マテ」結合平洋線路

岩山^{ロウキ}脈通過ノ景況

岩山中平原及ヒ村落ノ景況

岩山ノ東チ「フランスカ」平原ノ景

「ミヅリ」河ノ鐵橋

「コンシユル」ラッマス「マテ」ノ位置

停車場ニテ車ヲ變スルノ手續

荷物符合取替ノ手續

乗車料及ヒ荷物費目

「コンシユル」ラッマス「マテ」ヨリ「チカゴ」線路ノ景況

「ボ」リ「ンク」トン市街ノ位置

「ミ」ン「シ」ビ「ー」河

「チカゴ」市街ノ景況

「チカゴ」ヨリ「ビ」ツ「ボ」ル「グ」線路及ヒ路傍ノ景況

「ビ」ツ「ボ」ル「グ」ヨリ「費」拉「府」マテ線路ノ紀事

「費」拉「府」ヨリ「紐」育「市」街ニ達スル線路ノ景況

「紐」育「ヨ」リ「ニ」ウ「ヘ」ブ「ン」迄海岸線路ノ紀

「ニ」ウ「ヘ」ブ「ン」ヨリ「ノ」ー「サ」ン「プ」ト「ン」マテノ紀事

「ノ」ー「サ」ン「プ」ト「ン」ノ景況

同所ノ地形

瘋癲病院

「ア」モ「ス」ト「大」學「校」

製造所ノ概況

同所農業ノ略況

聾啞學校

同所ノ北方カーミングトン遊週ノ紀

祭日ノ模様

「ト」山ノ景

女子大學校

「ノ」サンプトン「ヨ」ペンシルベニア州ニ至ルノ紀事

「ベ」ンシルベニア州地質測量ノ組織

無煙炭地方ノ景況

同測量ニ従事シ巡回中ノ紀事

隧道

重力鎖路

通渠

地質

採礦ノ模様

「ポ」ツピル「及」ヒ「ウ」イルクスバー市街ノ景況

金剛錐ノ價

「ワ」イ「チ」ミン「戦」地ノ碑文

政黨演説ノ模様

郡會ノ景況

本州二百年紀祭ノ景況

政黨團結ハ一種無類ナルカ如シ

北水洋航海ノ演説ヲ聞ク

「レ」ハイ「河畔ノ地質

技術學會ノ模様

費拉府ノ景況

造幣局

天性學堂

公園

紀念館

動物園

蓄水池

町會所

電氣燈

元旦ノ模様

108 page

紐育

市街ノ景況

中央公園

天性歴史ノ博物館

歴史館

新築大釣橋

紐育ヨリ歸途「カゴ」マテノ景況

紐育州中ヲ通過ノ紀事

「ハ」フロ「市街ノ景況

「ナ」イヤガラ「ノ瀧

英領「カナダ」ノ概況

「ミ」チカン州通過ノ紀事

附錄

「チカゴ」ヨリ桑港迄歸途ノ紀事

農業ノ景況及ヒ農産表

家屋及ヒ道路

材木

税説ノ概略

合衆國官吏ノ給料

職人及ヒ諸業上ニ雇使スル者ノ給料

人口及ヒ廣狹表

本籍寄留男女及ヒ白色有色人ノ數計

煤炭

各種ノ區別

米國中ニ在ル煤田ノ位置

「ペンシルベニア州煤層ノ數及ヒ厚薄

無煙煤及ヒ瀝青煤

鑛

黄金ハ其直價鑛ニ及ハス

鑛産ヲ産スルノ岩層

製鑛事業ノ可否ヲ論ス

石油

「ペンシルベニア」含油層

同州年間出油表

同州十一年間出油表及ヒ毎年ノ鑿井數

目次終

遊米紀事

賀田貞一

今茲明治十五年二月十四日予ハ英國東洋漁船商會「チセアニック」号ニ乗
込ニ同日午前十一時横濱ヲ解纜セシニ航海中氣候恰モ好シ船中風波
ノ難ナク十六日半ニシテ桑港ニ着シタリ而シテ此航海中ニハ十七日
半ナル定限ヨリ一日ヲ減縮セシカ故ニ同月廿日ノ月曜ヲ廿日廿一日
ノ兩日トナシテ後チ桑港ニ達シ同所ノ月日ニ符合シタリ又航路ハ數
線ニシテ直線ニ航海シ或ハ南方或ハ北方ニ航進スルモアリ該船ハ稍
ヤ北航線ヲ進ミタレハ横濱ヲ發シテ安房ノ岬ヲ廻リ北方ニ銚子ノ口
ヲ見ントスルキ航路ハ稍ヤ東向ヲ爲シタリ同日ハ終日本邦ノ陸地ヲ
遠望シ午後六時甲板上ヨリ遙ニ富嶽ノ雪ヲ戴キテ雲間ニ聳ユルヲ眺
ム此時コソ故國ノ山ノ見納ト思ヘハイト名殘惜クモアリタリ

船客中ニ高橋領事長崎書記官アリテ高橋領事ハ紐育駐紮ノ赴任ニシ
テ奥井某ヲ從ヘリ長崎書記官ハ布哇國ヘノ欽使タリシカ故ニ屬官和
田某ヲ供セリ其他ハ魯國領事ノ長崎港ヲ發シテ歸國スルアリ外ニ洋
客數十人アリ又下等船客ニハ清國ヨリ米國ニ傭役スル者香港ヨリ乘
船セシトテ其數壹千六十人アリ此内桑港ニ着スルノ以前病死三人溺
死壹人アリト云ヘリ
同月十五日ヨリ桑港ニ達スルマテ只太平洋ノ渺茫タル蒼溟チ一章ノ
航スルノミヨシテ海鳥タモモ見ルヲ稀ナリシカ凡七日ト覺ル頃一種
ノ海鳥飛ヒ來ツテ我船ノ舳艫ヲ匝レリ予甚々之ヲ怪ミ海鳥ハ陸地ヲ
遠ク離レテハ棲マサルモノト聞タルニ此ノ太平洋ノ中央ナルニ如何
ナレハ海鳥ノ來リシヅト船子ニ尋テシニ是ハ洋中ニ生息スル一種ノ
鳥ニシテ海狐ノ類ナリト答ヘタリ此ニ於テ予曾テ日本大使カ歐米記

ニ記載シアリシヲ思ヒ出セリ此鳥ヲカトト稱ヘ洋中ニアリ其色暗
黒ニシテ兩翼長ク其身ノ幅狹フシテ隅ノ如シト云ヘリ桑港ニ達スル
ノ日々大霧四塞シテ陸地ヲ眺望スルヲ得サリシモ海上數隻ノ船舶ア
ツテ南北ニ來去スルモノアリ同時海水中ニ藍青ノ界線アリテ潮色ノ
變換スルヲ見タリ是レ桑港ヲ距ル、凡三十英里ニシテ金山ノ綠水ト
稱スルモノナリ此所ヨリ海水淺キカ故ニ船子ハ鉛錘ニテ測量ヲ爲セ
リ桑港ノ入口ニ近ケハ四山綠色ヲ呈シ岩石海門ニ突兀ス是間ニ村落
アリ又山嶺ニ雪ヲ戴クアリ港ノ入口ニハ中央ニ小島アリテ砲臺ヲ築
キ又兵營アリ此所ヲ黃金門ト名ク之ヲ過キテ港内ニ入レハ郵便局及
ヒ税關ノ官吏ハ小汽船ニ搭レテ予カ船ニ來レリ時既ニ午後七時ナリ
キ又醫官來リテ支那人痘瘡有無ノ檢査ヲ爲セリ夜間上陸ノ爲シ難キ
ヲ以テ明朝ヲ待テ上陸スルトニ決ス故ニ本船ヨリハ只郵便物ノミヲ

卸セリ

左ニ横濱ヨリ桑港マテノ船客料ヲ載ス

上等 二百五十弗

西洋人下等 八十五弗

支那人下等 五十一弗

此ノ船客料ノ弗ハ横濱ヨリハ日本銀貨或ハメキシコ銀ニテ拂ヒ桑港ニテハ米金ニテ拂フノ定則ナリ而シテ上等船客ハ派船商社ノ定規ニ從ヒ往復切手ヲ買フトハ其價ヲ減スルコトアリ支那人ノ下等客ハ其食物主トシテ米ヲ用フルモ洋人ノ下等客ハ其饗應ノ異ナルモ均シク洋食ニシテ一室中ノ臥床ニ起臥セシム予モ亦此室内ニ在リテ無事ニ桑港ニ達シタリ

三月二日本船中ニ在リテ上陸ス用意ヲ爲シタルニ漸ク午前九時半錨

ヲ揚ケテ第十時半本港ニ設置シタル太平洋派船商社ノ埠頭ニ着セリ數十ノ人夫ハ各其業ヲ求メント欲シテ埠頭ニ厩集シ荷物ノ陸揚ヲ待テ居タリ宿屋ハ各自ニ馬車ヲ埠頭ニ備ヘ本船ニ乗込ミテ旅客ヲ招ク又派車會社ノ代理人モ本船ニ來リテ各其線路ヲ通行セシメテ勸メタリ此時日本領事館ヨリ壹名ヲ本船ニ遣リテ日本人上陸ノ諸世話ヲ爲サシメリ又同港ニ在ル日本人ノ教會員兩三人ハ埠頭ニ來リテ初テ渡航セシモノヲ親切ニ案内セント爲セリ予カ荷物ハ船中ニテ旅宿ノ代理人ニ渡シタルニ本船ヨリ埠頭ニ下レハ税關官吏ハ此處ニ在リテ荷物ヲ検査セントス支那人ノ如キコ至テハ懷中ヲ探リテ脱税ノ者無ラシメントス是レ米國ハ保護稅主義ニシテ輸入品ニ苛稅ヲ課スルモ國產ヲシテ繁殖セシメントスルノ意ニ本ツクモノナリ

此検査ヲ終レハ荷物ハ直ニ旅宿代理人ノ手ニテ馬車ニ積込ミ其家ニ

送レリ船客モ亦馬車ニ乗シ同時ニ^六 旅宿ニ到ル然ルニ該埠頭ニ集ル車
夫ノ如キハ日本波止場ニ在ルモノニ等シク不當ノ賃金ヲ貪ルノ風習
アレハ荷物ニ至ルマテ確實ナル旅宿代理人ニアラサレハ容易ニ之ヲ
委任スヘカラス縱令ヒ荷物等ニ故障ナキモ後ヲ不當ノ車費ヲ貪ラル
ハノ憂ナシト云フヘカラス此車費ハ旅宿マテ凡五十錢ヲ定價トス又
旅宿ニ上中下ノ差別アリ一室ノ借受料一日三弗食料ハ其食物ノ好惡
ニ因テ其價ヲ異ニス是ハ上等ノ旅宿ナリ中等ハ食料トモニ一日二弗
乃至三弗下等ハ凡一弗ナリ而シテ一度ノ食物ハ凡二十五錢内外ナリ
桑港ノ市街ハ北緯凡三十七度半英都西經百二十三度ニシテ太平洋ト
桑港灣ノ間ニ突出セル地ニアリ本街通り乃チマーケット、ストリート等
ハ概チ平坦ナルモ其左右小丘アリテ市街一般平坦ノ地ニアラス八口
二十三万三千九百六十ニシテ^{カカレニ} 金山州中第一ノ都府ナリ氣候殆ント日

本横濱ニ等シク人民ハ主ニ^{アイランド} 愛蘭ヨリ移住セルモノ多ク東海岸ノ米
國人ニ比スレハ氣質稍ヤ慍悍ナルカ如ク支那人モ亦多クシテ或ハ役
夫トナリ或ハ商家ナリ總テ此地ニテハ支那人ヲ嫌フノ風甚クシク既
ニ市中ニテ^{チヤイニス、モストン} 支那人遂放ト題セル旗ヲ立テ馬車ニテ樂ヲ奏シ種々ノ形
ヲ爲シテ市中ヲ徘徊シ居タルヲ見受タリ
同月四日午後發シノ瀛車ニテ紐育ニ至ラントシテ鐵道會社付屬ノ客
船ニ搭シ同所ノ對岸凡四英里ナル停車場ニ達シ此處ヨリ瀛車ニ乗移
リ行クヲ暫時ニシテ瀛車ヲ船ニ積込ニ再ヒ航進セリ而シテ對岸ニ達
スレハ此地ハ金山州ノ平原ニシテ同州ノ首府ナル「サウ」ラメント「マ」テ
百五十一英里ノ間ハ鐵路ノ左右牧場アリ耕地アリ又數里間菜木ヲ田
野ニ培植シタルヲ見ルニ地味頗ル農事ニ適シ氣候温暖ナリ平野ニ汲
水風車ノアルヲ見ルニ其景狀恰モ蒼海中ニ孤橋ヲ認ムルカ如シ

「サクラメント」ハ人口二万千四百二十ニシテ金山州ノ首府ナレハ州廳ハ高ク雲ニ聳ヘ市街モ基盤ノ如ク縱横直角ニシテ「サクラメント」河ノ畔ニ位置ス府民多クハ農工ニ従事ス此河水ハ常ニ泥水ナリ是ハ上流ニ於テ砂金ヲ淘汰スルト同溪野ノ上流ヲバダ「山脉」ヨリ多クノ泥水ヲ注出スルトニ因ルナリ此所ヨリ東二十二英里「ロックリソ」ニ達スルノ間ハ左右主ニ牧場ニシテ牛羊ノ草原ニ徜徉スルヲ見テ乘客ノ相ヒ談スルヲ聞クニ此近傍大ナル農家アリテ牛五百頭ヲ飼養セリト云フ

「ロックリソ」ノ近傍ニハ花崗石類アリテ壤土稍ヤ薄ク此地ヨリ「コルハック」ス「マテ」三十二英里ノ間ハ小山脉ヲ漸々ニ登リテ或ハ溪側ノ掘割ヲ通過シ或ハ丘上ニ沿ヒ鑛路ヲ設ケタルカ故ニ左右ノ眺望最モ意ニ適セリ而シテ壤土ノ薄キニ比スレハ樹木ノ繁茂スルハ實ニ驚クニ堪タリ

「コルハック」スヨリハ「チバタ」ノ山脉ニ登ルカ故ニ機關車ヲ二輛其先頭ニ

付シ山側ヲ蜿蜒形ニ登レリ其線路ノ北側險阻ナル地アリ此地ヲ「ケ」
 プ「ホルン」ト号ス其溪間ヲ流ル、河ヲ「アメリカ」ト名ツク又「エールド」ラ
 ノ「黄金流」ニ達スレハ洗水ノ鑛管ハ路傍ニ在リテ含金砂層ハ赤色粘土
 中ニ散見シ支那役夫ノ家屋モ路傍ニ連續セリ又此ヲ登リテ「グレイ」
 ケ「ノ」「線險谷」ニ達スレハ滿山綠ヲ呈シ松柏ノ大樹ハ山中ニ充滿セリ
 此邊雪ヲ防クカ爲メ鑛路ハ屋蓋ヲ以テ之ヲ覆ヒタレハ晝日猶暗シテ
 夜間ノ如シ此ヨリ「ツラキ」ニ達スレハ此地ハ該山脉ノ頂上ヲ過キ越
 シ「桑港」ヲ距ル、二百七十壹英里ナリ

「ツラキ」ヨリ三十五英里ニシテ「バダ」州ノ「レ」ヲ「驛」(人口三千)ニ達ス
 レハ寒氣モ甚ク強ク土人多クハ牧畜ヲ業トスルモ地味荒野ノ如ク樹
 木ノ生長スルヲ見シ該山脉ノ西部ニテ詭メタル松柏ノ如キモノ絶テ
 之レナク只溪頭楊柳ノ如キモノアルノミ地ハ岩片ト砂石ノ散布セシ

ノミナレハ雜草痕ヲ絶テテ少シ時トシテ日本海濱ニ殖生スルモノ、
 如キヲ見タリ其形况恰モ我邦信州輕井澤ニ似テ此處ヨリ「ワットルヅ」マ
 デノ平原ハ追分原ト見做スモ只大小ノ別アルノミ
 「レノチ」ヨリ五十六英里ニシテ「ホット、スプリング」(温泉)ト号スル地アリ此
 地ノ左右ニ散點スルモノハ悉シ火山質ノ石類ニシテ此處諸所ニ温泉
 ノ湧キ出ツルカ故ニ此名ヲ下セリトス
 「ホット、スプリング」ヨリ二拾七英里ニシテ「ブラウンス」ノ停車場アリ此地
 ニ至リ稍ヤ耕作ヲ爲シ得ヘキ地味ヲ認メタリ又行ク「二十七英里」ニ
 シテ「ラブ、ロック」ニ達スレハ數多ノ土人アリテ其種族ハ「パイヨット」ナリ其
 頭髮及ヒ容貌ハ北海道ノ土人ニ類セリ若シ言語ノ通スヘキモノモア
 ランカト暫時土人ノ言語ニ注意セシニ又彼等ハ英語ヲ解セサリシヲ
 以テ之ト談話スルノ便ヲ失ヒタリ土人ノ顔色赤キモノヲ見ルニ赤粉

ヲ以テ染粧シタルモノニシテ素質ハ澁色ノ薄キ者ノ如シ
 「ブラウンス」ノ近傍其土質ハ一度湖水ノ底タリシカ如ク泥狀ヲ呈セリ
 又「ハンボルト」河アツテ同名ノ湖水ニ流入セリ土人ノ小兒輩ハ弓箭ヲ
 以テ來リ偶車客ノ錢ヲ投シテ之ニ的中セシタルヲ望メハ之ヲ射ル
 其矢ハ茅莖ニ鳥羽ヲ付シタルモノニテ其形モ亦タ北海道土人ノ毒矢
 ニ類似セリ此地ヨリ平原ト小丘ノ間トヲ過キテ「テコマ」ニ達ス此地ハ
 桑港ヲ去ル七百三十八英里ニシテ「バダ州」ノ終リノ停車場ナリ之ヨ
 リ「エトキ」州ニ移リ「ラグデン」ニ達スレハ此驛ハ「ソルト、レーキ」(鹽湖)ノ畔
 ニ在リテ鎮路ノ支線モ南北ニ通シ人口五千三百ニシテ桑港ヨリ八百
 九十五英里中央平洋線路ノ終ルナレハ此處ニテ車ヲ乗替ヘ結合平洋
 線路ニ移ルナリ
 「ラグデン」ニ達スルノ前數里ノ間ハ鹽湖ニ沿ヒタル線路ヲ通過ス「ラグ

デン北方ナル鹽湖市街ノ家屋ハ随分美麗ナルモノアル如シ同所ヨリ
 鐵路ノ支線北ハ「ボルリン、シチー」南ハ「サリスホリー」ニ達シ總テ狹線路
 ニシテ本線ノ瀛車ヨリモ稍ヤ小ナルナリ
 「チグデン」ヲ發シテ東方ニ進メハ南ハ岩山ノ麓ニ沿ヒ北ハ鹽湖ノ平原
 ヲ望ミ行クテ數英里ニシテ「ユイント」村ニ達ス岩山ノ山脉ヨリ流ル
 、河流ノ西ニ向ヒ鹽湖ニ注入スルモノアリ鎮路ハ久シク此流ニ沿ヒ
 テ或ハ橋ヲ過キ或ハ隧道ヲ通スル等此地ヨリ東方ニ向ヘハ諸所ニ此
 ノ如キ地アルナリ「ユイント」ノ東ニ鬼門ト號スル地アリ岩層ノ路傍
 ニ矗立スルモノ其高サ千尺以上ナルヘシ恨ラシハ此時雪天ニテ其景
 况ヲ詳ニスルヲ得ス是ヨリ「ウエベル」「エコチ」及ヒ「イバンストン」等ハ岩
 山中「ユイント」山脉ヲ通過スルノ地ナレハ瀛車ハ河流ニ沿フテ馳ス
 ルモ左右ハ岩山ノ絶壁ニシテ溪間稍ヤ廣キカ如キ地ニハ多少人家ア

リ「イバンストン」ハ「チグデン」ヲ去ル東方七十七英里ニシテ此地ハ「ワイ
 チミン」州ノ最初ナル停車場ナリ此山間ニ在テハ稍ヤ大村落ノ部分ニ
 属スヘシ茶菓ヲ鬻クノ村婦等モ四五名車中ニ來レリ此地ノ家屋中煉
 瓦石造アリ又木造ニテモ稍ヤ美麗ナル屋家モアルカ如クニ見ヘタリ
 此ハ是レ四五日モ山間不毛ニ等シキ地ノミヲ經過シ頗ニ此ノ如キ村
 落ノ予カ目睫ニ觸レシカ故ニ此クモ見ヘシモノナランカ又此地ヲ發
 スルモ雪天ナレハ鐵路ノ左右何物タルヲ辨スルヲ能ハス「チグデン」ヨ
 リ百八十英里ナル「グライン、リバー」ニ達スレハ此地モ亦々人口凡一千
 内外ト思ハル此處ヨリ東方百三十六英里「チグデン」ヲ去ル三百二十三
 英里ナル「ローリンス」ハ岩山東山脉ニ接近セル地ニシテ人家モ四五百
 アルヘシト思ハレタリ此地ニテ使用スル木材薪炭ハ皆コロラド州ヨ
 リ輸出スル者ニシテ同州マテ七拾五英里間ノ鐵道支線アリト云ヘリ

「ロリーンス」ヨリ十三英里東方ノ地ニテ小流ヲ車道ノ左方ニ認ム而シテ其河流ニ沿ヒ岩層ノ顯然タル景狀ハ尤モ美觀ナリ又段形ノ地ヲ認メタルハ此河流ニテ成レルモノト想像セリ地層モ柔鬆ナル灰色ニシテ第三期石層中ノ新層部類ニ属スヘキト思ハル此地層ハ凡半英里間山側ニ顯レタリ又同種ノ岩層凡壹英里モアリテ其全長ハ凡三英里モアルヘシト思ハレタリ地形ハ總テ小丘ノ連亘セルモノニシテ前途上ノ地ニ比スレハ地味稍ヤ耕作ニ適スルカ如ク丘側ニ雜草ノ生長シタルヲ見タリ之ヲ過シハ又平原ニシテ土民多クハ牧畜ヲ業トスルカ故ニ原野ニ牛馬ヲ見ルヲ屢ナリ此原野中ニ在ル小丘ハ風ノ爲メニ砂礫ヲ堆積セシヨリ成レルモノト思ハル而シテ此邊積雪稍ヤ深ク又冬季降雪ノ甚タシキモノト見ヘ前チ「バダ」山路ニ於ケルカ如ク屢「鎮路」ニ屋蓋ヲ以テ覆ヒタル地ヲ通過セリ「チグデン」ノ東五百十六英里ナル「シヤ

イエソ驛ニ達スルハ人口四千ニシテ小市街ノ如シ此地ヨリハ「コロラド州」ノ首府「デンバー」ヲ經テ「カンサス」等ニ通スル南方線路モ連續シテ山間ノ小繁華タリ又北方ニモ數十里間ノ支線路ヲ布設セリ故ニ家屋モ亦タ煉瓦造ノ三階等アリテ金山州ヲ去リテヨリ未タ見サル所ノモノト思ハレタリ就中旅館ノ如キハ其家屋桑港ノ中等旅館ニ類スヘキモノアルナリ

此地ヲ發シテ東方ニ至レハ地形ハ惣テ平原ニシテ其中ニ數箇ノ小丘アリ時ニ路傍ニ於テ壤土ヲ認ムルニ其厚キモノハ五寸薄キモノハ二寸ナリ此邊牧場ニシテ羊群ノ雪丘ニ徘徊スルヲ見ル「シヤイエソ」ヨリ五十三英里ナル「バシユチル」ハ人家多カラスト雖モ「チブラスカ州」ノ最初ナル停車場ニシテ平原ノ丘側ニアリ之ヨリ「ボータ」ニ達スレハ地ハ惣テ平野ニシテ雜草繁茂シ地味耕作ニ適スヘク前ニ通過セシ平野

比スレハ殖草類大ニ異ナリ其形茅ノ如クニシテ實チ生スルノ種アリ此邊モ亦牧場ニシテ牛ハ群チ爲シテ雪中ニ食草ヲ求ムルヲ見タリ「ポーター」ヲ過レハ左ニ小丘アリ地層顯出ス之ヨリ再ヒ平原トナレリ行クニ數英里ニシテ「シドニー」ニ至ル此地ハ「チグデ」ヲ去ル六百十八英里ニシテ北ニ小丘ヲ帶ヒ南ハ平原ニシテ戶數凡百戸ナルヘシ此所ニテ乘客チ一車ニ集合セシメタレハ乘客ハ車中ノ狹キニ因ミタリ合衆國ノ兵卒二百人「シヤイエン」ヨリ乗車シタリトテ此處ニ着シ再ヒ瀧車ニ乗り組ミテ何レハカ去リ行キタリ此處ヨリモ亦平原中ヲ通過シ「マキスネル」ニ至リタルニ「チグデ」ヨリ七百五十四英里雪全ク消ヘ四山ノ風景モ亦タ其觀ヲ變セリ右方ノ山頂ニ樹木アルモ左方ハ只草ヲ生スルノミ然レトモ地味更ニ耕作ニ適スヘキモ茫々タル平原ナレハ主ニ牧蓄場ト爲セシカ如シ偶路傍ノ壤土ヲ見ルニ其厚サ殆ント壹

尺ニ近シ生草ハ日本ノ芝草トシテ國中ニ植ユルモノニ同シキカ如シ苧茅、濱菊、及ヒ野菊類モ生殖セリ地狀ハ砂ヲ含ミテ黒灰色ノ壤土タリ丘側ニ草ヲ生セサル地ニハ白色ノ砂ヲ顯スヲ見タリ「プラム」ヨリ「チグデ」ヨリ八百二英里ニ達スレハ此地ハ「チグデ」カノ平原中ニ孤立セル小村落ニシテ人家凡五十村人主ニ牧蓄ヲ業トス車ヲ下リテ麵包ヲ求メントセシニ黑人アリ赤人アリ又白人アリテ家屋向背シテ市街ノ形狀ヲ爲サス原野ニ散點セリ遙ニ牛柵ノ綠草間ニ在ルヲ見タリ此平原ハ是ヲテニ通過セシ内ノ最モ廣キモノニシテ四山圍繞シテ恰モ雲ノ如シ南北ノ袤延凡ソ二十里以上ナルヘシ東西ハ其幾里タルヲ知ル能ハス「キルチ」ニ達スレハ他線ト接続スル鐵路モアリ戶數モ凡四百ニ近カルヘシ鐵路ノ左右ニハ黍田甚々多シ又「ギボン」ニ至レハ「ノ小村落」ニシテ耕作稍ヤ闕ケリ「ケルチ」ヨリ此地

マテ十三英里ノ間ハ鐵路ノ左右悉ク耕地ニシテ其中著シキモノハ黍田殆ント壹英里ノ長サヲ有ス又此近傍ハ森林諸所ニ在リテ其樹木ヲ車中ヨリ望遠スルニ其枝葉我邦ノ栗ノ如ク又銀杏ニ似タルカ如キアリ而シテ地味モ亦タ耕作ニ適シ壤土厚サヲ加ヘ雜草ノ郊原ニ生スルモノ甚繁茂セリ次ノ停車場ナル「シルロン」ノ地モ其景况惣テ「ギボン」ニ等シ

「グランド、アイルランド」ニ「チグデン」ヨリ八百七十八英里ニ達スルニ人口殆ント三千ニ近カルヘシ前ニ經過セシ「ギボン」近傍ニ於ケルカ如ク牧畜ト耕作ハ稍ヤ開ケタルカ如キモ未タ市街ヲ爲シタルノ形狀ヲ見サルナリ此所ヨリ「シルバリー」キ「ゴロンブス」ノルスベント及ヒ「チータ」ルウ等ノ地方ヲ過キ小丘ノ間ヲ通シテ「ミソリー」河畔ノ一市街ナル「チマバ」ニ達スレハ停車場モ亦タ桑港ニ設ケシモノニ等シク左右ヲ望

メハ製造所等モ諸所ニ在リテ桑港以來初テ整頓セル市街ヲ見タレハ心自カタ勇マシクモアリタリ是ヲ「フランスカ州」ノ終リニシテ此河ヲ越レハ「コンチネル、ブラッパス」ニシテ「アイチワ」州ニ属スルナリ

停車場ニ在ル事暫時ニシテ再ヒ同所ヲ發スレハ直チニ「ミソリー」河ニシテ架スル所ノ鎖橋ハ長サ殆ント壹英里同河ノ水準ヨリ高キ事數丈之ヲ過クレハ直チニ「コンチネル、ブラス」ノ停車場ナリ「チグデン」ヨリ此地迄千三十二英里ヲ結合平洋線ト名クルナリ同所ニテ車ヲ下リ市中ヲ散步シ後停車場ニ歸リ是ヨリハ「チカゴ」「ボーリントン」「クインシー」線路ヲ通行スルニ決シタリ

「コンチネル、ブラッパス」ヨリ東方ハ鎖道線數條アリ同所ヨリ「チカゴ」ノ間ニ經過スルモノ三線路アリ「チカゴ」「ボーリントン」線路ハ稍々南方ヲ經過シ「ロッシアイルランド」線ハ中央ヲ經過シ北方ヲ經過スルモノヲ「チカ

「三」ルナルキ「線路」トス會社各異ナリテ三線路ニ分ル、モノナリ此
地ヨリ西方ニハ「ユ」ニホク「ト」カソサス「ヨリ」コラト「ナ」經テ「シ
ヤ」イエン「ニ」通スル所ノ「サ」ウセルン「バ」シヒク「
「コ」ソ「シ」ユル「グ」ラッ「フ」ス「ニ」テハ荷物ヲ改メ荷物ノ切手モ此所ニテ取替ルカ
故ニ停車場モ亦廣クシテ一方ハ荷物部屋一方ハ食堂及ヒ待合所切手
賣場等ナリシ「ニ」桑港ヨリ紐育迄瀛車賃表
上等 百三拾弗 二等 百拾弗 三等 六拾五弗 上等車客ハ
荷物三百斤 二等 二百斤 三等 百五十斤 定メトス此斤量ヲ過ルモ
ハ壹斤毎ニ拾五錢ヲ拂ハサレハ携帯スルヲ得ス而シテ三等ハ植民車
ハレハ「コ」ソ「シ」ユル「グ」ラッ「フ」ス「ヨリ」桑港迄壹週間ヲ費シ紐育迄
十日間ヲ經ハシ上等ハ桑港ヨリ紐育迄壹週間ヲ着セ

上等車客ハ臥床ヲ要スレハ賃錢ノ外ニ其費ヲ拂フヘシ三等車客ハ「コ
ソシユル」プラッ「フ」ス「ヨ」リハ三等車ヲナキカ故ニ二等車ニ乗込ムナリ而
シテ本年三月ノ改正ヲ以テ六十五弗ト爲セリ然レモ乗車スルモノ米
國植民課ノ手ヲ經テ切手ヲ求ムル者ヲ除キ通常旅客ハ三等車ニ乗ラ
ソトスルモハ七十二弗五拾錢ヲ拂フノ定規ナリ又「コ」ソ「シ」ユル「グ」ラッ「フ」
「ク」ヨリ桑港迄ノ三等車賃ハ四十五弗ナル可シ
前ニ記スル所ノ瀛車賃表ニ於テハ上等ハ時々停車場ニテ食事ヲ爲
シ一回凡七拾五錢ヲ拂フ者トス三等ハ雖モ一回ノ食事ヲ貳拾五錢以
上ヲ要スルカ故ニ下等ノ車客ハ各麵包其他ノ食物ヲ携シ乗車スルモ
多シ
桑港ヲ發シ是等ノ線路ヲ通過セズシテ直チニ紐育ニ至ラントスルニ
ハ桑港ヨリ直チニ南線路ヲ經過シ凡五日間ニテ「メ」キ「シ」コ「灣」中ノ「カ

ルベルトンニ達スルヲ得可シ同所ヨリ漁船ニ乗込ミテ紐育迄ハ六日
 間ニ達ス可シ凡十一日ノ旅行トス此賃金合シテ六十三弗ナリ
 桑港ヨリ北方チレゴン及ヒワシントン州ヲ通過シチカゴニ出ルノ線
 路アリテノルゼルンパシヒックト名ク此線路シユーベリヲ湖ノ西岸ナル
 ダリユート等ニ通シ又ミナカン湖ノ西方諸港ニモ通スルカ故ニ湖水
 ニ航シテ諸所ヲ遊覽シ東岸北部ノ諸州及ヒカナダ地方ニ至ルニハ至
 極便宜ナルモノ、如シ
 コンシユル「アラフス」ハ人口一万八千百「ミソリー」河ノ東小山脈ノ麓ニ
 在リ同所ノ停車場「ユニオン」デポットヲ距ル、凡二英里ナルヘシ此停車
 場ヲ發セシニ此日ハ日曜日ノ夕ヘナリシカハ近傍ノ村民等寺ニ禮拜
 レ或ハ出遊シテ其乗客ハ車中ニ充ナテ停車場ニ至タル毎ニ上下スル
 モノ甚多シ

線路ハ「ミソリー」溪野ニ沿ヒ稍南東ニ行クカ如ク暫時コシテ丘岡ノ連
 亘セル原野ニ近ケハ車向全ク東方ヲ指セリ平原盡ク耕地及ヒ牧場等
 ニシテ黍田ハ渺々トシテ眼界ヲ極メス路傍ニアル村落ノ家屋ハ大概
 木製ナリト雖モ中ニハ煉瓦ヲ以テ構造セシモノアリテ前ニ經過セシ山
 間ノ比ニアラス是ヨリ東方コソ眞ニ開ケタル地方ト云テ可ナル可ク
 此平野ヲ過キ「ミシシッピ」西方ノ小山脈ヲ越レハ眞ニ「ポーション」
 ナ去ル二百九十四英里「ミシシッピ」河畔ナル小市街ニシテ頗ル繁榮
 ナルカ如シ製造所ノ煙ハ市上ニ横リ小涼船ハ河岸ニ列ス此所ヲ發ス
 レハ直ニ「ミシシッピ」河ニシテ其幅凡一英里架スル所ノ鐵橋ハ「チマハ」
 ニ於ケル「ミソリー」河ノ鐵橋ニ比スレハ稍ヤ低キカ如シ河東所々ニ沼
 池アリテ其全長ハ「チマハ」橋ヨリモ稍ヤ長カル可シ是所ヲ「アイチワ」ト
 「イリノイス」州ノ疆ニシテ河東ハ惣テ耕地ニシテ村民多ク桃樹ヲ培植

セリ此耕地中ヲ經過シテ「チカゴ」ニ達ス即チ合衆國中屈指ノ都府ナリ
「チカゴ」ハ人口五十万三千三百ニシテ「ミチガン」湖ノ西南隅ニ位置ス其
鐵路ハ蛛網ノ如ク諸方ニ縱横セリ水路ハヒウロン「及ヒ」シユトペリチ
ル等ノ湖水ト通スルカ故ニ市中ノ溝渠ニ大船ノ繫泊スルアリ製造所
モ亦市中ニ多シ同州ハ農業旺盛ナル地ニシテ其東北隅ニアル都府ナ
シハ自カラ繁榮極メ戸口モ追テ増如ズルヲ勢チ有ス紐育ヨリ此地
マテノ運送モ亦大ニ便利ナリ其最モ近キ線路ヲ通スレハ二晝夜ニ
テ此地ニ達スルヲ得ヘシ又西方ハ桑港ヲ距ル二千四百二十九英里
南ハセントルイス「及ヒ」ミウナルレンス等ノ都府ト交通シ即チ四通八
達ノ區ニシテ合衆國中ノ各市場ト通商スルノ便アリテ海岸ト接スル
ノ都府ニアラサレハ其便利ニ於テハ海濱ノ諸港ニ讓ラサル者ト云フ
ハシ

「チカゴ」ヨリハ「ピツボルク」ポトトウモソ線路ノ瀟車ヲ乗替ヘ同所ヲ發
シ「カセロ」ノ停車場ニ達スレバ此地ハインジヤ州ニシテ此處ヨリ
ハ平原又ハ山間ヲ通過シ「ポトトウ」エソ「チ過キ」ダイキシヨソ「ニ達スレ
ハ」州ハ「イチ」州トナルナリ之ヨリ同州「マンス」ヒトルト「チ過キ」山間ニ入
リ「アル」ヤソ「チ」經過セシニ雪ハ山溪ノ間ニ残りテ氣候甚タ寒シ而
シテ「ポト」ム「ド」ニ達セシテ以テ始テ「ベソ」シル「ヤ」州ニ來リシテ
知ル此處ヨリハ「アル」ガ「チ」ノ支流ニ沿ヒテ數英里ノ間ニ岩層ヲ見ル
ニ砂石及ヒ舍兒等ニシテ含煤石層ヲ境界ニ至リシト思フ頃「已」ニ「ピ
ツボルク」ノ停車場ニ達シテ四邊ヲ回顧スレバ煤煙ハ市街ヲ覆ヒ人
家ノ屋上尙ホ煤色ニ染ムカ如シ
「ピツボルク」ハ「セ」ノ「シ」ル「ハ」ニヤ州西部ノ一都府ニシテ近傍諸所ニ煤田
アリ又市街ノ南西ヲ流ル「アル」ガ「チ」河ニ沿ヒタル「チ」イル「チ」

石油ノ產地ニシテ煤炭及ヒ石油等ヲ此市場ニ運輸スルヲ以テ製造所等更ニ多シ實ニ煤煙ノ爲メニ天日ヲ見サルカ如シ人口十五万六千アリ此府ハ該線路中ニ在テハ屈指ノ市場ナリ此處ニテ車ヲ乗替ヘ「ペンシルバニヤ」線路ニ轉シテ紐育ニ至ラントス同停車場ハ「チカゴ」ヲ距ル四百六十八英里ナリ同所ヲ發シ數英里山間ヲ通過セシニ路傍諸所ニ岩層ヲ見タリ又壤土ハ甚薄キカ如キモ耕作牧蓄ノ業稍ヤ盛ナルカ如シ而シテ東方凡二十英里ニシテ路傍ニ焦煤ヲ焚クノ地アリ此近傍煤炭ヲ産スルノ地方ナルカ故ニ坑穴ヨリ採掘シタルモノヲ焦煤ニ製シテ他方ニ輸送ス或ハ路傍ニ煤層ヲ露ハスモノアリ其傾斜ハ平狀ニシテ時々劣質ノ煤層ヲ見受ケタリ

「ピッツボルク」ヨリ七十八英里ナル「ジョンストン」ニ於テ大ナル製鍊場アリ此地鍊鑛ニ富ニ煤炭モ亦近傍ニ産出スルヲ以テ大ニ其便ヲ得ルモ

ソナリ此地ヲ過ギ山中ノ險阻ヲ通過シテ原野ニ至レバ同州ノ首府ナル「ハルリスホルグ」ニ達ス直チニ發車シテ費拉府ニ至レリ「ピッツボルク」ヨリ費拉府ハ其距離三百五十四英里ナリ

費拉府ヲ發シ紐育ニ至ルニハ「ニウ、セルシ」州ヲ通過ス此線路ハ鑛道會社ニアリ「ハ」セルシ「セントラル」會社ニ屬シ「ハ」ペンシルバニヤ鑛道會社ニ屬ス此線路ハ惣テ平坦ニシテ費拉府ノ背後即チ南方ヲ繞リテ「デレウ」河ヲ越ヘ「ニウ、セルシ」州ヲ過ギテ紐育ノ對岸ナル「セルシー、シチー」ニ在ル同會社ノ停車場ニ達ス此處ヨリ同社附屬ノ漁船ニ搭シテ紐育ニ到着ス費拉府ヨリノ里程七十三英里ナリ茲ニ桑港ヨリ紐育マテ線路ノ里程ヲ合算スレバ三千三百二十四英里ナリ

予カ紐育ニ着セシハ三月十五日ニシテ桑港ヨリ十日間ノ旅行トス此線路ハ三等列車ニ乗込タレハ途中「コンシル、ブラッラス」マター一周間ヲ費

シタリ且ツ各停車場ニ休憩セシ時間ヲ得タレハ多少途中ノ景況ヲ記
 載スルノ便ヲ得シモ同所ヨリハ「エキスプレス」即チ速行車ナルカ故ニ
 各地ノ景況ヲ見聞スルノ暇マナシ從テ記載モ甚ク卒略ニシテ只線路
 中二三ノ都府ヲ記セシニ過キサルノミ
 予ハ「マスサチューセツ」州ノ「トサンプトン」ニ到ルノ素志ナレハ紐育ニ滯
 留スル僅ク一夜ニシテ直チニ北方「ボストン」線路ヲ取リテ「トサンプ
 トン」ニ向ケ發行セリ故ニ紐育府ノ景況ハ之ヲ他日ニ譲リテ此ニ只旅
 行ノ順路ヲ記スルニ止マル
 紐育ニ着シ「ワレレン、ストリート」ノ第七番ナル日本領事館ニ至リ領事
 高橋君ニ面會シテ後チ西十五番町ノ旅宿ニ一宿セリ翌十六日紐育ヲ
 出立セントシテ停車場マテハ馬車ヲ雇ヒタルニ北部諸州ニ通スル線
 路ノ停車場ハ西四十二丁目ニ在リテ我領事館ヨリハ我邦里ノ一里ニ

過キタルカ如シ同所ヨリ「コンチンチナカット州」ニ「ウ、ヘブ」マテハ里程
 七十四英里ニシテ線路惣テ海濱ニ沿ヒ路傍樹木ノ間ヨリ「ロソク」アイ
 ラント」ノ海峽ヲ望ミ其風景最モ好シ十年前ニ太平洋ヲ望見シ今又太
 西洋ヲ望見スルハ更ニ其快ヲ覺フ併シナカラ「ロソク、アイランド」ノ前
 面ヲ遮リテ海上ノ遠望ヲ極メサリシヲ憾ムノミ
 「コウ、ヘブ」ノ地タル海濱ニ傍ヒタル小港ノ如シ紐育ニ比スレハ其市
 街ノ景況甚ク劣レリ人家モ亦大厦高樓ヲ有セス紐育ヲ距ル北方七十
 四英里ナルカ故ニ寒氣モ烈シク降雪モスルヲラント思シニ同所ニ到
 リテハ此時殘雪少シシアリシノミ又途中路傍ニ製造所等諸所ニ在リ
 シヲ見タリ紐育近傍ニテハ富紳家ノ別墅ナラント思ハル、園圃家屋
 モ諸所ニ在リテ車中ノ眼目ヲ慰メ其無聊ヲ覽ヘサリシニ「ウ、ヘブ」ニ
 着シ車ヲ替ヘ同所ヨリ「トサンプトン」線路ヲ通過ス「コウ、ヘブ」ヨリ

北方線路ノ東側ニ小山脈アリト雖ニ概シテ小丘ノ相ヒ連亘セル平原ニシテ草木繁茂スレモ或ハ赤色粘土ノ如キモノ壤土ニ近接スルノ地アリテ富饒ナル壤土トハ云ヒ難カルヘシ「マスサチューセツ」州ノ境内ニ達スレハ「サウスイッチ」ノ停車場アリ同夕六時半「ノーサンプトン」ニ達シ來曼氏ノ居處ヲ尋問ナセシニ此處ニハ同姓ノ人多キヲ以テ過テ他ノ來曼氏ノ居處ヲ訪ヒタリ因テ邊來曼ト尋テタレハ彼レ親切ニ教示シタリ途中ヨリ童子輩兩人予ヲ誘導シテ邊來曼氏ノ居處ニ行キタルハ實ニ外國人ニ對シ懇篤ナルヲ感シ其姓名ヲ聞キ置カントセシニ告グスシテ去リタリ同所ニハ雪未ダ路傍ニアリテ寒氣モ亦紐育ノ比ニアラス此地ハ「ニウ、ヘブン」ヲ去ル北方七十六英里ナリ

同所ニ在リテ予ハ本邦ヨリ携へ來リシ油田地質測量圖ヲ製シ終ラシ爲メ久シク來曼氏ノ居宅ニアリシカ故ニ時々其近傍ニ徘徊シテ

製造所ニ至リ或ハ農家ヲ訪問シ數月ヲ經過セリ因テ此地ノ概況ヲ左ニ記シ同年七月ヨリ再ヒ旅行セシ記事ハ其次回ニ記載セントス

「ノーサンプトン」ハ人口壹万二千ニシテ數丁間ノ小市街ナリ「コンチクナカット」河ト同河ノ支流ナル「ミル」河ノ間ニアリテ人家半ハ丘上ニ連レリ同所ノ北西ニ「テウシド、ヒル」(丸山)ト號スル地アリ眺望甚佳ナリ南方ホリヨク「及ヒ」トム「ノ」兩山ハ「コウ」フシ「ヨリ」殆ント北方ニ連續セル山脈ノ高點ニシテ丸山ヨリ之ヲ望ムニ其距離凡三英里此兩山ノ間ヲ流出スルハ「コンチクナカット」本流ニシテ河ノ左右ハ平坦ノ耕野ナリ時々河水溢ル、「アアルカ」故ニ其地耕作ヲ爲サス因テ夏季ハ唯綠色ノ草野ナリ西方「ミル」河ヲ越レハ瘋癲病院アリテ病院ノ周圍ハ惣テ耕地或ハ菓樹園ナリ此病院ハ本州ノ公立ナルカ故ニ其構造モ亦美麗ニシテ同院附属ノ地甚々廣シ丸山ノ頂ニハ聾啞學校アリテ數百ノ生徒アリ市

街ノ側ニハ女子大學校アリ又其近傍ニ男女ノ中學校モアリテ遠近ノ生徒校中ニ寄宿シ或ハ其校ノ近傍ニ止宿シテ通學ス女生徒ノ他方ヨリ來ルモノ其數殆シト四百名アリ故ニ夏季諸校休業ノ時ハ各其郷里ニ歸省スルノ風習ニシテ其間ハ市中ニ於テ女子ヲ見ルヲ甚ク少キカ如シ

同所ヲ距ル東方七英里アモストニハ金石蒐集ニ有名ナル大學校アリシモ本年三月中火災ニ罹リテ悉皆焼失セリ然レトモ化石室及ヒ本校ハ此災ヲ免レタレバ授教ノ便ヲ失シタルニラス化石室ニ陳列スル化石類ハヒッチョックス氏ノ創設ニシテ同所ノ北數英里ノ地ニ露出スル第二期ツライヤス年代ノ新赤砂石層ニ在リシ鳥獸ノ足形大小ノモノアリテ他ノ地ニ於テ未タ見サルモノナリ同所ニ農學校モアリテ數年前ニハ日本農學生此所ニ留學シテ居タリト聞ケリ

ノトサシアトシ停車場ノ側ニ製絹所アリテ紐育某會社之ヲ督ス男女職工凡七百人事使役スト云ヘリ同所ニ尺緒ヲ製スル所アリ此所ニモ職工男女七八十人アリ其他ノ製造所ハ市街ノ西ヲ流過スルニミル河ニ沿ヒテ刃物製造木製籠類農具銅鐵線等ナリ又同所ヨリ北ニ英里ナル「フロンズ」近傍ニハ製紙刀刃類製絹裁縫器械釘類及ヒ鈕釦等ノ製造所アリ又北方八英里ナル「ウイリヤムスホルグ」ニハ鎖鎗金具毛織物及ヒ木綿等ノ製造場アリ(鋸器械ノ如キハ其數甚ク多クレハ今爰ニ之ヲ記セス)是等ハ皆「ミル」河ノ水力ヲ借リテ水車ヲ用キ或ハ夏季炎天ノ時ハ蒸氣ヲ用フルナリ

「ノ」サンプトン「ニ」パトソン氏アリテ農事ヲ業トス偶同氏ニ交際スルヲ得テ同氏ノ耕田ニ遊ヒ或ハ同氏ノ宅ニ至リテ蓄類ノ飼養ヲ見タリ同氏ハ常ニ四五人ノ奴僕(主モニ愛蘭人)ヲ使用ス而シテ牛馬各十頭ヲ

有シ荷車乗車六七輛モアリテ他ヨリ荷物ノ運送ヲ依托スルハ農馬
 ヲ運送車ニ付シ奴僕ヲ數者トシテ其需ニ應ス耕地ハ各一二英里其遠
 キモノハ五六英里ノ地ニアレハ肥料種物等盡ク馬車ヲ運送ス同氏
 ノ嫡子ハ隣ニ家屋ヲ構ヘ偶遠隔セル耕地ニ往クハ奴僕ト同車シテ
 朝ニ出テ夕ニ歸ル又牛乳ハ一家ノ飲料トシ豚ヲ牛室ノ側ニ貯養ス是
 レ米國通常農家ノ風習ニシテ日本農家ニモ適用スヘキモノナルカ如
 シ其豪農ナル者ハ主モ西部諸州ニ在リ或ハ此近傍ニテモ山間ニ一
 家ノミアリテ牛馬各百頭以上ヲ飼養シ廣大ナル耕野ヲ有セリ其牛酪
 甘酪ヲ製スル等ノ事業ハ到底日本ニ在テハ施スヘキノ地ハ僅ニ屈指
 スルニ過キサルトシ
 同所尋常學校ニ於テ夏季休課ノ爲メ閉場ノ式ヲ行フヨ當リ六月廿二
 日學務委員宗教師其他同校ニ寄附金ヲ爲セシモノ男女數十人其席ニ

列ス予モ亦同場ニ臨ミタルニ講堂ノ上面ニハマヨシククワシ氏(本校
 設立ニ盡力セシ人)ノ油繪ヲ掛ケ其前面ニ男女ノ生徒ハ椅子ニ倚リタ
 ヲ堂上ニハ校長女子壹人教員壹人左方ニハ本州學務委員宗教師及ヒ
 本校世話役ノ者列席ス此時宗教師ハ進テ教文ヲ讀ミ生徒モ同時ニ敬
 禮ヲ爲シ次テ入校以後ハ八月ヲ經ルル男女ノ啞生徒年齢七八歳ヨリ
 十二三ノ者凡十名堂上ニ立テ種々ノ問題ニ答テ教員文字ノ黑板ニ
 書スレハ其意味ヲ体形ニテ答ヘ手足ノ動作ヲ以テ爲シ難キモノハ文
 字ヲ書シテ之ニ答フ或ハ花ヲ出シテ其名及ヒ其色ヲ問フニ悉ク黑板
 ニ書シテ其問ニ答ヘタリ其次入校一年以上ノ生徒數十名ハ唇ノ開閉
 ヲ見テ其語ヲ解シ答ルニ言語ヲ以テス又同校ニ八年間アリシ四名ノ
 卒業生(内二人女子)ハ年齢十八九歳ヨリ二十五六歳ト見ヘシモノ同様
 唇ノ開閉ヲテ理化學ノ質問ニ答フ内一人ノ女子ハ立テテ讀書ヲ爲シ

又前級ノモノニ九九ノ算數ヲ教ヘシニ各言語ニテ應答セリ
 本校ノ設立ハ凡十五年前ナリシモ此ノ如ク無用ノ人ニ教育ヲ與ヘ有
 用タラシムルハ其功少シトセズ彼ノ「シヨックラーク」氏ノ靈魂モ定テ
 満足セシナラント思ハル諺ニ啞子ヲシテ言ヲ發セシムルトハ到底無
 功ニシテ爲シ難キ「ノ」譬喩ナレトモ斯クモ教化ノ効ヲ積ミテ啞子ヲシ
 テ聲ヲ發スルニ至ルハ感スヘキノ美擧ナラスヤ
 六月廿六日氣候モ稍暖氣ニシテ地方ノ山水ヲ跋涉セントシテ來曼氏
 ト共ニ同所ノ北凡二十三英里ナル「カーミンクトン」ニ遊ハントテ早朝
 ヨリ馬車ニ駕シテ「ノ」サンプトシ「ヲ」發シ「ラ」レンス「ヲ」過キ「ウ」イリヤム
 スホルク「ニ」至レハ木綿其他器械製造所等アリ是皆前ニ記スル所ノ「ミ
 ル」河ノ上流ナリ流ニ沿ヒ山路ヲ過ルニ途中「コ」ー「ン」チ「ン」ニ達スレハ此
 地ハ一山脉ノ頂ニシテ「ミル」河ノ水源ハ眼下ニアリテ之ヲ見ルニ所々

湖澤ヲ爲シタリ今ヲ去ル八年前同所湖狀ノ堤ハ一時ニ壞崩シテ下流
 ニ溢レ諸製造所及ヒ人家ヲ流蕩シ人口百八十名ヲ失ヒタル「ア」リテ
 當時ニ流亡セシ家屋ノ基礎ノ「ミ」アリシヲ認メタリ
 「ゴ」ー「ン」チ「ン」ノ位置ハ山ノ頂ニ設ケタル小村落ニシテ此處ヨリ道ハ左
 ニ折レ溪間ノ小流ニ向テ下ラントスルニ蝸屋ト号スル一家アリテ其
 庭前ノ石ニ蝸形ノ線アルヨリ此名ヲ下セシナリ此地ヨリハ他ノ水源
 ニ屬シテ「ミル」ノ流レニアラス漸々山ヲ下リテ「カー」ミンクトン「ニ」至レ
 ハ村落ハ東西ニ分レ其長サ凡五英里同名ノ小流ハ村落ノ中央ヲ西ニ
 向テ流ル西部「カー」ミンクトン「ニ」テ晝餐ヲ喫シ再ヒ馬車ニ馳セテ他ノ
 山脉ニ登ルニ同所ヨリ凡四英里ノ處ニ有名ナル詩人「ブ」ライ「エ」ント「氏」
 ノ家屋アリ此處モ山ノ頂ナルカ故ニ眺望極テ好シ同氏ハ久シク紐育
 ニモ在リシ人ニシテ素封家ナリシカ故ニ「カー」ミンクトン「ノ」書籍館ハ

同氏ノ構造セシモノナリト云フ同氏家屋ノ周圍ハ草木ヲ植栽シ其家
 屋中ニ同氏ノ誕生セシ小室ヲ保存シテ今ニ之ヲ存セリ同所ヨリ山路
 ヲ越ヘ河流ノ下部ニ至レハ諸所ニ鋸器械場アリ再ヒ山ヲ登リテ「チエ
 ストセル」ニ至リ前路ヲ變ヘテ他ノ線路ヨリ「ノ」サンプトンニ歸リタ
 リ
 本日旅行スルノ前ニ其地方ノ地質測量圖ヲ寫シ之ヲ手簿ノ末葉ニ貼
 シテ旅中之ヲ査閱スルニ「ノ」サンプトンヨリ「ゴ」シチン「マ」テハ花崗
 石ナルカ故ニ「ゴ」シチン「コ」テ其他層トノ關係ヲ見ントセシニ實ニ明
 白ニ顯出シテ車道ノ右ニハ花崗石ノ顯出セシモ左ニハ「ロ」レンヤ
 「ン」系統ノ雲母片石アリタリ而シテ「カ」ミングトンニ近ツケハ滑石片
 ノ岩層ニ變ス此内「コ」ロライド「シ」スト「ノ」混スルアリ又歸途「チ」エスト
 「ビ」ニ至ルニ再ヒ花崗石ノ境界ニ移レハ其分界顯然トシテ線ヲ画スル

カ如シ此邊ノ地質ハ頗ル單純トシテ境界モ亦判然セリ
 「カ」ミングトン「ハ」邊鄙ノ小村落ニシテ其風景ヲ嬉ヒ夏季此地ニ來遊
 スルモノアルシ「ミ」ナシ「ハ」旅宿ノ如キモ「二」軒ニ過キス村民ハ主モ
 木材ヲ伐リ戸隙子ノ如キモノヲ作ルヲ業トス又山地ヲ牧場ト爲シ牛
 羊ヲ飼養スルモノアルモ僅ニ村民「フ」口腹ヲ養フニ過キサレハシ地味
 モ亦一般ノ耕作ニ適スルモノト「ハ」云ヒ難クシ然レモ「フ」ライエント「氏
 居所」ノ近邊ハ壤土モ稍ヤ厚ク耕地ニ粟樹ヲ培植シテ生息スルモノ多
 キカ如シ
 七月四日ハ米國ノ大祭日ナルカ故ニ前夜ヨリ小兒等ハ火炮ノ遊戯ヲ
 爲シ終夜寢スル能ハズ又向日午前ニハ樂隊相會シテ樂ヲ奏シ女子數
 十人樂隊ノ後ニ屬シ丸山ニ會ス男子モ亦同行スルモノアリ終日砲聲
 諸所ニ響キ夜ニ至リテ烟火ヲ放チ富家ハ親族ヲ會シテ祝宴ヲ催セリ

同月六日トシ山ニ遊フノトサンプトシヨリ二英里ナル停車場ニテ瀧車ヨリ下リ歩行シテ山頂ニ登ラントスルニ途中山路馬車ニ逢フヲ屢ナリ而シテ山頂一家屋アリテ凡六十名ノ客室アリ又南ニ臨ミタル巨室アリテ遊山ノ諸客ハ此室内ニテ踏舞或ハ氷上ノ遊戯ヲ爲ス該山頂ノ石類ハ火製質ニシテ地質圖中ニハグレイインストント記シタリ予ハ「グレイマライ」ナルヘシト思ヘリ又山ノ中腹ニ砂石層アリテ之ニ近接スル岩石ハ「バブルト」ノ如キモノナリシ南方ヲ望メハ此處ヨリ拾二英里ヲ隔ツル「スプリング」ヒヨルドハ遙ニ雲間ニ聳ヘ又四五英里ヲ距ルホリヨクハ「コンチナカット」ノ河ニ沿ヒテ製造ニ有名ナル地ナレハ煙突ノ煙ハ市街ヲ覆ヒテ河流ト共ニ其景致ヲ添ヘタリ頭ヲ轉シテ北方ヲ望メハ「コンチナカット」河ノ流曲シテ平野ヲ流ル、モノト「ノイサンプト」ノ北方ハ「ゴートン」ヨリ山ヲ見テ「ノイサンプト」モ亦眼下ニアリ

東北ニハ「アモスト」ヲ遠望ス其景恰モ意ニ適セリ夏季ハ近傍ノ人此山ニ登リテ風景ヲ樂ミ且ツ避暑ノ地トナセハ遊客甚々多シ其高サハ「コンチナカット」河ノ水準ヨリ凡八百尺ナリト客舎ノ主人之ヲ語レリ又南方雲際ニ彷彿タルニ坐ノ山峯アリ是レ「ニウ、ヘヴン」近傍ノ山ニシテ其相ヒ距ル殆ント七十英里ナリ「コン」ネク「ナカット」河ノ左右ニ草木繁茂セシ平原ヲ惣テ「ミード」ト稱セリ

予一日女子大學校ノ歌樂會ニ招カレ同校ニ至リシニ數十ノ女子ハ樂堂ニ集リ交相謠ヒ一人ニテ席上ニ進ミ樂ヲ奏スルアリ或ハ歌ヲ謠フアリ又後ニ五六人同音ニテ歌ヲ謠ヘリ衣服各美ヲ競ヒ胸部ニ花ヲ着ク又同校生徒中ニテ年齢稍ヤ長セシモノ四五名ヲ撰ヒテ諸世話ヲ爲サシメ同席ニ臨シタル人々ニハ各其席次ヲ案内スル等惣テ彼輩ノ任ニシテ手ニ一尺四五寸ノ棒ヲ以テ其世話入ノ印シト爲セリ奏樂者ハ

ビヤノヲ除クノ外胡弓其他トモ男子之ヲ奏セリ
 又一日同所ノ道路修繕有志會員來曼氏ノ宅ニ會セリ同會ハ來曼氏ヲ
 撰ヒテ其長ト爲セリ其物員ハ七十名以上ナルモ此會ニハ其委員ノミ
 出席セシガ故ニ男女合シテ十四五名各其委員ノ爲セシ事實ヲ報シ次
 ニ後來ノ意見ヲ述ヘ終リテ茶ヲ喫シ去レリ
 此他ノ一サンプトンニ滯留中ノ記事多シト雖モ煩ヲ厭フテ以テ記
 載セス

七月十六日ニ至リペンシルバニヤ州第二地質測量長レスリー君ハ來
 曼氏ニ書ヲ寄セ日本地質測量補助手某ノ貴家ニ來寓セル人ニ相應ス
 可キ事業アリ因テ本州ニ來リ測量ニ從事セハ同人ノ知識ヲ增加スヘ
 シ故障ナケレハ本州ニ遣ルヘシトアリタルヲ以テ明十七日來曼氏ト
 共ニ同所ヲ發足スルニ決シタレハ此日製絹所ヲ一覽セシト欲セシニ

縦覽ヲ許サス故ニ外部ヨリ之ヲ見レニ三軒ノ煉瓦屋アリテ一ハ染色
 ナ爲シ一ハ染上タル糸ヲ種々ニ製シ一屋ハ織殿ニシテ三屋各三階ナ
 ルカ故ニ男女職工ノ從業スル者甚ク多シ其レヨリポート、ヒルナル來
 曼氏ノ宅ニ至レハ園中異草ヲ列シ庭ニハ肥馬十頭ヲ飼養シ植木室ニ
 ハ西洋東洋ノ珍卉ヲ置キ家族五六人暑ヲ避クル爲メ紐育ヨリ來レリ
 夏季ハ皆同所ニ居住スルナリト云ヘリ

同月十七日ノ一サンプトンヲ發シ是レ前ニ經過セシ線路ナリ途中ニ
 ウ、ヘブンヲ過キ紐育ニ於テハ「グランドデホット」ヨリペンシルバニヤ停
 車場ノ間ハ馬車ニ乘シ市中ヲ通過セシニ納涼ノ老弱男女ハ諸所ノ「ス
 クワイヤ」市中ニ設ケタル小園ニ遊樂セリ今春經過セシ時枯葉ノ樹木
 モ今ハ綠色ヲ爲シ市中ノ景色前日ノ比ニアラサリシ
 「ホドソン」河畔ナル「ペンシルバニヤ」ノ停車場ニ達スレハ直チニ漁船ニ

搭シテ河ヲ渡リ「セルシ」州ノ首府ナル「ツレントン」ヲ經過シ費拉府ニ着セシハ
 ヒ「ニウ、セルシ」州ノ首府ナル「ツレントン」ヲ經過シ費拉府ニ着セシハ
 日没ノ後ナリシカ故ニ車中ヨリ市街ノ燈下ヲ見ル恰モ螢火ノ野間ニ
 亂飛スルカ如シ同所ノ停車場ニ達スレハ電燈ノ爛々タル晝夜ヲ別々
 ガルカ如シ同所ニ一宿シ夜間市中ヲ徘徊シタルモ地理ヲ請セサルヲ
 以テ暫時ニシテ歩行ヲ止メタリ
 同十八日ハ市中ヲ遊歩シ町會所建築ノ美ナルヲ一覽シテ「レスリー」君
 ノ宅ニ至リ謁ヲ乞ヒシニ同君ハ測量ノ記載及ヒ地圖ノ組織ヲ爲シ居
 テ「レスリー」君ト見ヘテ汗ヲ拭テ出テ來ラレタリ同所ニテ凡一時間談話ヲ爲
 セシ後チ地方分局ニ於テ結納ヲ爲スヘントテ同所ヨリ八十五英里ナ
 ル「ボツピル」ニ至ルニ決シタレハ「レスリー」君ト同所ノ本局ニ同行シテ
 同局ノ測量ニテ爲シタル諸圖及ヒ離方等ヲ詳カニ説キ示サレタリ此

所ニテ同君ニ別ノ直ナニ停車場ニ至リ同所ヲ發シ「スクイル」河ニ
 沿ヒタル「レスリー」會社ノ線路ヲ通シテ「ボツピル」ニ着シタリ
 此旅中「ノ」サンプトン「ヨリ」ボツピル「マ」チ車中ヨリ目撃セル地質ノ概
 略ヲ左ニ記スベシ
 「ノ」サンプトン「ノ」近傍ハ地質圖上花崗石ニ屬スレドモ鐵路ノ左右ハ
 惣テ沖積ニシテ判然タル岩層ヲ認メス「コン」チク「カ」ット「州」ニ達スルニ
 三英里ニシテ第二期「ツ」ライヤス「系統」ノ新赤砂石層ヲ見タリ而シテ「ニ
 ウ、ヘ」テン「ヨ」リ紐育ノ間ハ所々ニ沖積アリト雖モ路傍ニ顯出スル岩層
 ハ「雲母片石」ノ板石狀タルモノ及ヒ「ニ」ウス「等」ニシテ無生期「ア」ーケヤン「
 系統」ニ屬シタルモノナルベシ紐育府ノ近傍ニモ亦同種ノ岩類露出セ
 ルナリ「ニウ、セルシ」州ニ於テ再ヒ新赤砂石層ヲ認ム費拉府ノ近傍ハ
 惣テ「ニ」ウス「質」ノモノナルカ故ニ紐育ノ北方「ニウ、ヘ」テン「ノ」南方ト同質

同期タルカ如シ「スクイルキル」ノ河畔「ノルリストン」ノ近傍ニ於テ石灰石及ヒ板石ノ露出スルハ第一期「サイルリヤン」系統ニ屬シ同所ヨリ西北同線路ニ沿ヒテハ「レツツシグ」ニ至ルマテ第二期「ツライヤス」ノ新赤砂石層露出スルモ再ヒ「サイルリヤン」系統ナリ板石石灰等ニ變シ「ポツピル」ヨリ凡五六英里東南マテハ同質同期ノ石類ナルモ其所ヨリ「デボニヤン」系統ニ變シ舊赤砂石及ヒ綠灰色ノ舍兒等ノ露出スルヲ見タリ而シテ「サイルリヤン」岩層コハ上下ノ別アルモ今爰ニ之ヲ略ス又「ポツピル」ヨリ凡四英里東南ノ地ニテ炭質系統ノ石類ニ變シ砂石層アリテ直チニ赤色ノ舍兒ニ變シ次ハ礫石層ト成リテ「ポツピル」市街ノ入口左右ノ險山ニ煤層ノ露面ヲ認ム「ポツピル」コングロメレート「モ同所」ニ露出スルカ故ニ此ノ名ヲ下シタルモノナリト云ヘリ是ヨリ近傍物テ炭質系統ノ石類トナルナリ

予カ今般從事セシ「ペンシルバニヤ」第二地質測量ノ費用ハ惣テ本州ノ民費ニテ之ヲ支辨スルモノニシテ其第一測量ハ一千八百五十年代ニ當リ蘇格蘭地質博士「ロッシル」氏其長トナリテ全州一般ノ地質ヲ調査シ地層ノ年代地脈ノ形狀等略ホ探討シ終リテ地質圖及ヒ報告文等既ニ出版ニ屬セリト雖モ實益上ニ於テ未タ完全セシモノニアラサルガ故ニ本州ノ有志者再ヒ地質測量ノ問題ヲ議會ニ提出シ精細ノ調査ヲ遂クシ「ト」ヲ企望シ過ル七十四年即チ我明治七年ヨリ同州費府地質博士「レスリ」君ニ其長ヲ委任セタレハ同君ハ精細ナル調査ノ方法ヲ設ケ數人ノ部長ヲ各部ニ分チ或ハ各部ト爲シ(各部ト爲スハ諸郡ニ延亘スル礦物地方ニシテ一部ハ其一地方即チ石油地方鐵地方石炭地方チ各部ト爲ス如シ)テ調査セシニ各郡各部殆ント其業ヲ終リ既ニ出版セル地圖ノ數モ百葉以上報告文モ亦五六十冊ニ及ヒタリ而シテ現今餘マ

ス所ハ南山鐵地方及ヒ無煙煤地方ナリシ故ニ議會ハ無煙煤地方ノ地質調査ハ實ニ本州ニ於テ欠クベカラサルヲ知リ第二地質測量費目ノ外ニ毎年五万弗ノ支出ヲ議決シ我明治十四年以來其事業ヲ第二地質測量中ニ附屬セシメタリ予ハ米國ニ在ルノ日尙ホ淺クノ一サンプトニ在リテ來曼氏ニ從學スル僅ニ百日間ナリシモ幸ニ無煙煤地方測量中予ニ適スヘキ事業アリテレヌリ君ノ助手トナリ此測量班中ニ在リテ無煙煤地方ヲ巡回シ地層ノ錯雜坑業ノ順次ヲ見テ其間地質ノ製圖ヲ爲シ或ハ野業或ハ坑中ニ入り煤層ヲ調査セシモ最初ヨリテ脩業專務タルノ約ヲ爲シタレハ各分局ニ一二月宛止リテ其分局所屬ノ地方探礦ノ模様ヲ見ルヲ得タリ

地質測量ノ本局ハ費府ニ在リテ無煙煤測量ノ本局モ亦同所ナリ分局ヲ地方三ヶ所ニ設ク而シテ「ボツピル」分局ハ南煤田及ヒ西南ノ兩地方

ヲ管シ部長「アシ」ホルナ「氏自ラ其地方ヲ管理シ「ヘー」ツルトン」分局ハ東中煤田ヲ管スルモ地方廣カラサレハ僅ニ二人ノ助手ニテ分局ノ事務ヲ整理ス「ウイ」ルクス「バー」分局ハ北煤田ノ全部ヲ管理シ助手ノ内一人ヲ以テ其長トシ其他助手三名常ニ同所ニ在リ事業上大ニ便益アル者ハ總テ各分局ニ在ル者自然其地方ノ探煤會社中ニ在ル探礦者等ト相交通スルカ故ニ若シ測量ニ於テ十分ニ定メ得ヘカラサルノ層狀アルカ如キハ探煤會社ノ探礦圖ヲ探リテ其疑シキ點ヲ定メ探煤會社ハ其採掘上ノ位置及ヒ層狀ノ可否等ヲ地質測量ニ問ヒ互ニ其益ヲ交換スルカ故ニ測量費用モ多少節減スル者ナキユアラヌ又其地方人民ト交際シテ地方ノ事情ヲ知ルニ詳カナレハ測量上大ニ便宜ヲ増シ其益甚々少シトセス

予カ「ボツピル」ニ着セシハ七月十八日ナルモ部長「アシ」ホルナ「氏ハ

ルリスホルン州廳ニ事業上ノ集會アリテ不在ナリシヲ以テ結約スル
 ヲ得ス同廿日同氏ニ面會シテ結約シタリ廿一日ハ日本油田圖出板ノ
 件ヲ以テ紐育ニ至リタレハ測量ノ事業ニ從事セシハ廿二日ヲ初トス
 而シテ同日分局ニ至リテ無煙煤惣地方ノ略圖及ヒ各地ノ採煤圖并ニ
 縱斷圖等ヲ一覽シ又地質圖組織ノ方法測量ノ方法等ヲ聽聞シテ後チ
 出板圖ヲ製スルヲ擔任セリ同日午後退散ノ時刻ヨリ同分局助手長
 「ウアルス」氏ノ誘導ニ因リ「ポツピル」市中ニ在ル炭鑛會社ノ本司ニ至リ
 テ會社所屬ノ採礦圖即チ坑内ノ摸樣ヲ画スルモノ及ヒ煤層縱斷圖及
 ヒ隧道中ノ岩層圖等數十葉ヲ見テ後チ同郡地理測量課ニ至リ地理精
 細圖上煤田所有區界等ヲ画スルモノヲ見タリ
 同廿三日ハ日曜ナルカ故ニ午前ハ各人寺院ニ參詣スルヲ以テ午後ヨ
 リ「ウエルス」氏ト共ニ同所ノ東南ナル險山ト号スル峯ノ絶頂ニ登リテ

其近傍煤田ノ位置ヲ一望セリ炭質系統ノ石類山側ニ顯出スルモノ及
 ヒ近傍ニ在ル縱坑ノ高階其他採煤ノ順次層形ノ變化煤層露出ノ位置
 等前日見シ所ノ煤田圖ニ比シテ同氏ノ説示スルモノヲ聞キ歸途同氏
 ノ居ニ至リテ其親族ニ面會シテ後チ旅宿ニ歸リタリ
 同廿四日ヨリ日々分局ニ至リテ事業ヲ爲シ別ニ記載スヘキナキカ
 故ニ此ヨリ日ヲ追テ記スルヲ罷メ只巡回中ノ記事ニ其月日ヲ記スル
 ノミ

七月廿七日部長「アシ」ホルナ「氏」ト共ニ物体ノ無煙煤地方ヲ巡回セン
 爲メ午前七時ノ瀛車ニ乘リ込ニ東方十九英里ナル「トマコー」ニ至ルニ
 市中ノ左右悉ク炭坑ニシテ同所停車場ノ側ナル小丘ノ中部ニモ左右
 ノ露面アリ同所ヲ發シ東方凡五英里ナル「ランスホルド」ニ至ルニ惣テ
 同盤狀ノ地ヲ經過スルカ故ニ所々礫石層ノ顯出スルモノト炭坑ヨリ

採掘セシ黒色ノ板石小丘ノ如ク堆積シ就中「トマコー」ニ於テハ岩層ノ傾斜甚タ急ナリシハ煤層ノ一度顛倒セシモノ本形ニ復セントスルノ地點ナルカ故ナリ又河水ノ黒色ノ泥水トナリシハ炭片破砕器ニテ淘汰シタル水ノ下流ニ注クモノニシテ水分中ニ明礬ヲ含メリト聞キタリ又坑内ヨリ流出スルモノハ其水色極テ黄ナルハ硫酸鉄ノ水ニ溶解シタルモノニシテ黒色ノ綿布中恰セ金色ノ線ヲ縫ヒシカ如シ此處ヨリ東ニ至レハ盤狀ノ尖點ニ近ツクカ故ニ炭地ノ幅員次第ニ狭少セリ「ランスホルド」ヨリ「ホナト」ノ間ハ鐵路隧道中ヲ過ク其長サ三千八百尺ニシテ其方向殆ント北方ナリ山脈ノ東西ニ奔馳スルノ間ヲ横斷スルモノニシテ更ニ該盤狀ノ北側ナレハ其入口ニ於テ煤層ノ露出ヲ認メ次ニ砂石層アリテ再ヒ煤層ヲ過キ又々礫石層ヲ過ク隧道ノ出口ニ於テハ地層全ク赤色ノ舍兒ニ變ス予ハ此出口ノ停車場ニテ客車ヲ下

リ再ヒ運炭車ノ機關室ニ乗リテ再ヒ該隧道ヲ通過シ「ランスホルド」ニ歸リタリ又「ランスホルド」ヨリ盤狀ノ南側ヲ見ント欲シテ南方ノ山頂ニ在ル「ソニミッドヒル」ニ步行シ同所ニテ煤層露出ノ崩壞シテ坑穴中ニ陥落セシ場所等ヲ見同所ヨリ東方「モーチ、チヨンク」迄九英里ハ走傾車ニ乗り移リ赤色ノ舍兒及ヒ礫石層上ニ設ケタル傾斜鐵路ヲ過ルニ前頭機關車ヲ付セザレハ炭煙ノ客車ヲ被覆スル「ナク」涼風車中ヲ通シテ夏季モ熱ヲ覺ヘサルカ如シ此鐵路ハ「グラビティ」シヨン、ロート「重力進路」ニシテ機關車ヲ要セズ只ク其一ヶ所急峻ナル地ニテ客車ヲ山頂ニ引キ上ルノ機關室アリ其地ノ高度ヲ鐵路ノ全長ニ割リ重力ニ從ヒ客車ハ自ラ鐵路ヲ走リテ「ソニミッドヒル」ヨリ「モーチ、チヨンク」マテ九英里ノ往還ナレハ其全長ハ十八英里ナリ

「モーチ、チヨンク」ハ「レーハイ」河畔ノ小市ニシテ地層概テ赤色ノ舍兒煤層ノ直下礫石層アリテ其下ニ赤色舍兒ノ有ル者ナルカ故ニ此地ハ全ク煤層盤狀ノ區域外ナリ即チ米利堅ノ地質層名ニ於テ炭質系統下部ニ「モーチ、チヨンク」赤色舍兒ノ名アルハ此ノ地名ニ據リタルナリ同所ヨリ「レーハイ」溪澗會社ノ瀛車ニ乗り移リテ「レーハイ」河ヲ溯ルニ東部「モーチ、チヨンク」ニ於テ河水ニ沿ヒ通渠アリテ煤炭ヲ下流ニ運送ス此河流急ナルカ故ニ所々ニ水閘ヲ設ケテ水準ヲ均クセシメ瀛車ニテ運送シ來ル煤炭ヲ船ニ移シテ下流ニ運輸ス此處ヲ過レハ左右ハ絶壁ニシテ河流ノ兩側ニ鑛路アルノミ地層ハ概シテ赤色舍兒ナルモ其間綠炭砂石層アリテ即チ炭質系統ノ最下部ナル「ボッコ」砂石層ニシテ又舍兒モ其間ニ混セシ者ナリ

「ボツピル」近傍ノ河流ハ多クハ煤層ノ盤狀ト同一ノ方向ヲ爲セリ「レー

ハイ」河ノ方向ハ此所ニ在テ煤層盤狀ト殆ント直角ヲ爲ス故ニ所々ニ小盤狀アリ又駁狀アリテ其軸點能ク煤層中ノ者ト符合シ石類モ亦煤層ヨリ下部ニ屬スルモノ總テ順序ヲ追テ露出セリ河水ノ上流凡ハ英里ニシテ「ペンヘブ」停車場アリ此所ヨリ鑛路ノ支線ハ「レーハイ」ノ支流ニ沿ヒテ「ヘーヅルトン」近傍ノ諸炭坑ニ通ス此所ニテ車ヲ移シテ其支流ニ沿ヒテ設ケタル線路ヲ通過シ「ヘーヅルトン」ノ分局ニ至リ同地方ノ地圖類ヲ一覽シテ後チ同所採煤社長「パーシー」氏ノ事務所ヲ訪ヒ同氏ニ面會シタルニ同氏ヨリ「ハーリー」ウード「炭坑」ノ寫眞六葉ヲ贈與セラル之ヲ持テ直チニ馬車ニ乗シ同坑ニ至レリ此地ハ「ヘーヅルトン」ヲ距ル凡四英里タリ同所ニ在テ採煤ノ業ヲ見シニ此坑ハ小盤狀ヲ爲セル煤層ノ尖點ニシテ船底ノ如キ部分ヲ採取シ其最底ニ於テ本坑ヲ通シ左右ニ在ル可働坑ヨリ炭塊ヲ本坑ニ掘落シ煤炭ハ混シタル板石

類ハ本坑ノ一方ヨリ之ヲ捲キ揚ケ煤炭ハ本坑ヨリ之ヲ破碎器械所ニ送リテ捲キ揚ケタリ又其最頭部ノ尖所ニ在テハ炭柱ヲ取り去リ煤层ノ下部ニ鑿板ヲ布設シテ本坑ニ送下ス破碎器械所ハ凡五階ニシテ其高八間以上ナリ本坑ヨリ輸送セル炭車ノ此所ニ達スレハ「インクタイ」ノ「傾斜鉄線」ヨリ破碎器ノ頂階ニ引キ揚ケ炭車ヲ反覆セハ炭塊ハ破碎器上ニ落ツ炭塊ローラ轉巡器關ノ上ニ至レハ虎口ノ如キモノアリテ之ヲ碎キ其下ニ在ル筒形ノ鑿網中ニテ之ヲ淘汰シ炭片ハ樋ヲ通過シテ水ノ流ルカ如ク其下ニ落ツ此所ニ數十人アリテ炭片ニ混シタル板石片ヲ取除キ純萃ノ炭片ノミトナシ凡二噸入ノ車ニ積ミ鑿路ニテ他所ニ運送ス

同坑ニテ採掘スル煤层ハ厚サ凡六十尺ナリ採煤ハ惣テ其地ノ排水導下ニテ其業ヲ爲セルカ故ニ坑内ノ水ハ唧筒ニテ汲上ケ「インサイド」ス

「ロップ」傾斜坑ヨリ引キ上ルニハ蒸氣力ニテ其纜ハ鑿線ヲ用フ而シテ坑中ヨリ出シタル板石類ハ其坑ノ左右ニ堆積シテ堤塘ノ如シ坑ノ内外トモ蒸氣力ヲ用ヒサルモノニハ概シテ「ミユール」(懸)ヲ用キ傾斜坑ヨリ引上ケタル板石類ヲ堤塘狀ニ布置シ或ハ坑内ニテ炭車ヲ引ク等ノ「ハ」ミユール」ノ力ヲ以テス

同坑ノ西北凡壹英里ノ地ニ於テ新タニ採煤セシクメ地面ノ壤土及ヒ沖積ヲ取り除クヲ見タリ同所ニハ一箇ノ控河器械ト同様ノモノヲ設置シテ土ヲ掘り取り居レリ同所ヲ發シテ停車場ニ至リ前ニ通過シタル「レ」ハイ」支線ヲ經テ再ヒ「ペン、ヘブン」ニ至リテ車ヲ移シ「レ」ハイ」ヲ溯リ夜間「ウ」イルクス、バー」ニ達セリ

「ウ」イルクス、バー」ハ「ソ」スグイハナ」河ノ北東支流平坦ノ地ニ在リテ「ウ」イルクス、バー」ハ「スクラント」ハ「ウ」イルクス、バー」

ナリト云人口三方五千北煤田ノ中央ニシテ採煤ノ業尤モ盛ナリ
 同廿八日同所ノ分局ニ至リ地方ノ諸國ニ覽シテ後チ分局詰助手「パ
 ンス」氏ヲ誘導ニ由リ採煤會社ノ製圖所ニ至リ同社所屬ノ坑内諸圖及
 ヒ層狀精細ノ圖等ヲ一覽シテ同社事務所ノ手續ヲ以テ坑夫一名ヲ案
 内者トナシ「パリス」氏ト共ニ「オシ」パイヤ縦坑ニ下ルニ其深サ八百尺坑
 内現今ハ三箇ノ炭層ヲ採出スルカ故ニ其各所ニ至リテ採煤ノ景況ヲ
 見テ坑内ノ瀛關車ニテ縦坑ノ口ニ出テ再ヒ縦坑ヨリ登リテ分局ニ歸
 リタリ

該坑内採煤ノ最底層ハ赤灰層レッド、アシメ、ヘッドナリ其上層ニ箇アリ此三層中薄キハ七
 尺厚キハ十八尺ニシテ坑内ノ本坑ニハ鑛路ヲ設ケ又支坑ニモ鑛路ヲ
 以テ瀛車ヲ用ヒス馬ヲ用キテ本坑ノ口ニ引キ出セバ本坑ヨリ瀛車ニ
 テ炭車ヲ縦坑ノ口ニ出シ炭車ハ縦坑ノ車臺上ニ到レハ直チニ之ヲ引

上ク(此炭車凡二噸半入)破砕器上ニ送ル(破砕器ノ模様ハ「ト」リウ
 「炭坑」ニ設ケタル者ト異ナラサレバ之ヲ略ス)又鑿掘ノ景況ヲ見ルニ
 上下ノ盤石堅牢ナルカ故ニ常ニ木材ヲ用キス偶ニ柔軟ナル部分アリテ
 崩壞ノ患アルモノニハ木ナル木材(經凡一尺)ヲ以テ之ヲ支ユ又坑内ニ
 「スロープ」傾斜坑アリテ煤層ノ傾斜ニ沿フテ之ヲ設ク然レモ本坑ト支
 坑ハ煤層ノ方向ト同様ニ採掘シテ二百尺ヲ距ルニ毎ニ凡一尺ノ高低
 ナリ可働坑ハ相距ルニ凡四十尺ナルモノアリテ一定セバ坑中ノ便宜ニ
 因リテ或ハ其間ノ近接スルモノアルナリ又坑内隧道ヲ鑿チテ他ノ煤
 層ニ達シ之ヲ採掘スル等坑内ノ事業實ニ驚クベシ又坑夫ハ彼ノ愛蘭
 出生ノ強力人ニシテ鑛棒ノ經凡七八分長サ七八尺ナル者ヲ以テ煤層
 ヲ突キ崩スモノヲ見タリ然レ雖モ氣質温和ニシテ予輩ヲ待遇スル甚ク
 丁寧ナリシ同坑ニ出テ他ノ縦坑ノ口ニ至リテ鑛線ヲ捲クノ器械ヲ見

ルニ深サ七百尺ノ縦坑ヨリ炭車ヲ引キ上ルニ僅ニ二十四秒時ヲ費ス
 ノミ之ヲ見ルノ後ヲ再ヒ分局ニ至リ諸事ヲ終リテ同所ヲ發ス歸途ハ
 昨日通過セシ同線路ナリシモ天氣晴朗風景恰モ好シ行クニ五英里ニ
 レテ「レーハイ」ト「ソスコイハナ」ノ間ナル山脉ノ頂ニ達スレハ東方ニ小
 市街ヲ認ム是レ「レイハイ」溪野ヲ遠望スルアリ又十英里ニシテ西北ニ
 廣キ溪野アルハ「ソスコイハナ」ノ左右ナル「ワイチミン」廣原ニシテ眺望
 極テ美ナリ画工モ筆ヲ投スヘキノ地ナランカ此邊鐵路ハ惣テ山頂ヲ
 走レリ

「レーハイ」河畔ノ線路ヲ運送スル炭車ヲ山頂ヨリ遠望スルニ其形ノ蛇
 蟻ナル恰モ小蛇ノ河水ヲ渉ルカ如シ其長キモノハ二噸車ニシテ精製
 炭四噸以上ヲ入ル、モノ百四十ヲ連續ス又八噸乃至十二噸ノ炭車數
 十輛ヲ一箇ノ流關車ニ附スルアリテ全量殆ント一千噸ニ近キモノア

リト云フ

斯ク山間ノ僻地モ鐵路ハ蛛網ノ如クニ縱横スルヲ以テ田舎ノ小村落
 ト雖モ左程貧困寂寞ノ色ナク山中ニモ家屋アリ山頂ニモ停車場アリ
 テ毎ニ食物等ノ便ヲ欠クノ憂ナキハ實ニ礦業ノ盛ナルニ基ツキタレ
 ハ本州(ペンシルバニヤ)ノ富源ハ坑業ヨリ流出スト云フモ亦強ク誇言
 ニハアラサルヘシ
 田舎ハ人氣質素ニシテ懇切ナルハ日本モ同様ナリト雖モ坑夫等多人
 數相ヒ集マルノ地ハ人氣惡シク坑夫ノ如キハ氣質粗暴ニシテ人ニ對
 スルノ言語動作甚々麁略ナルハ通常ナレモ此地方ニテハ頗ル丁寧(一
 二ノ人ヲ以テ證シ難キモ)ニシテ予カ炭片ノ見本ヲ撰ハントスレハ坑
 夫等各層ノ炭片ヲ持テ來リテ此坑ツ炭片ヲ遠ク日本ニ取リ歸ラル、
 ハ實ニ悦フヘシトテ予ニ與ヘタリ又坑内ニテ予カ爲メニ案内ヲ爲ス

ニ平常ニ坑中ノ説明ヲ爲メテ丁寧ナク其偏ニ文化ノ徳化ニテ山間ノ坑夫ト雖モ此ニ他國人ニ對シ懇切ナルヲ我國人モ斯クアリタキト感慨セリ

予カ此測量ニ從事シテ田舎ヲ巡回スルニ當リ小市街ニ若クハ新聞紙ハ速ニ探訪ヲ爲シテ日本人ノ此地ニ來リタル云々ヲ紙上ニ登錄スル屢ナリシ是等ノ地方ニハ是迄日本火ノ通行シタルハ實ニ稀ナリト雖モ市中ヲ徘徊シ或ハ買物等ヲ爲スモ蟻集シテ見ルモノナク路上ニテ行キ逢フ時予カ容貌ヲ異ナルヲ熟視スルモノアリシニ是ニ其意ヲ如何ヲ察シ得サルモ外人ノ通行スルニ當ツテ其側ニ近ツキ歩ヲ止メテ之ヲ視ルカ如キハ無禮タルヲ知ルカ或ハ人種ヲ異ナル外人ト雖モ格別見送テ好シク接シ何ニモモテ壹人異境ニアリテ多人數其周圍ニ立チ塞カリ殆ント通行ヲ妨ケラル、等ハ隨分忿恚ノ念ヲ

生セサシキ得ヌ我邦ノ如キハ歐米人來航已來日尙淺キニアラフ就中東京府下ノ如キハ歐米人ノ居住スルモノモ亦多シ然ルニ現今計雖モ歐米人ノ市街ニテ買物等ヲ爲シ者アレハ其周圍ニ蟻集シテ様子ヲ窺フ等シコハ至ク跡ヲ絶セシム云フニカラズ是レ我邦下等人ノ風ナリト云フモ外人ニ對シテ無禮ナルヲ嘗チ免ル、モノニアラス予カ米國ニ在ルノ日我邦人ノ如ク予カ周圍半集マリ予カ様子ヲ窺フノ輩ヲカリシハ日本人モ亦斯クアリシト思ヒ及リ其原由ヲ尋ナシメ

「レ」ハ「イ」ニ「シ」タルヲ「山」ノ間ニ「山」ト越シ「ホ」ヲ「計」ヘ「テ」ニ「達」スレハ昨夜間ニ經過セシ鐵路ヲ河流ノ對岸ニ見タリ岩層モ多ク赤色ノ舍兒ニシテ炭質系統ヲ離シス偶ニ砂石層ノ舍兒中ニ混スルモノアリ又赤色砂石層ヲ顯出スルカ「カ」ニ「赤砂石」所謂「ボ」ニ「ヤ」ノ年代ノ舊赤砂石ニテ地層ヲ變狀タル點ニ於テ之ヲ見ルナリ「モ」ナ「チ」ヨシ

ニ達スレハ車ヲ移シ直チ「ラソスホルド」ノ隧道ヲ過キ「トマコー」ニ達スレハ再ヒ車ヲ移ス爲メ二時半ノ間停車場ニ待タサルヲ得ス故ニ同所ヨリ「ボッピル」ニ運送スル送炭車ノ小室ニ乗リテ「ボッピル」ニ歸リタリ

八月廿八日マテハ分局ノ事業ヲ爲セシカ故ニ「ボッピル」ニ滞在シ近傍ノ煤田ヲ巡視スルニ惣テ南盤狀煤田中ニシテ地質モ亦變化ナケレハ別ニ記載ヲ要ス可キモノナシ同所ヨリ西方凡五英里ナル「マイナースピル」ニ至レハ路傍惣テ炭坑ニシテ其事業ノ組織大ナラサルヲ以テ我邦ノ礦山ニ取リテ適用スヘキモノ多カリシ「ボッピル」ニ於テ招待ニ應シ諸所ニ至レリ彼輩ハ日本ノ風習ヲ尋問シ予ハ米國風俗ノ知り得サルモノヲ問フ等ノ「トマコー」ヲ詳細ノ記載ヲ要セス

此間分局ニ於テハ諸煤田ノ累疊圖ヲ終リタレハ年間産出ノ惣額及ヒ炭層ノ厚薄等ヲ知り得タルモ附録煤炭ノ部分ニ譲リテ爰ニ記セス

同月十四日ノ新聞紙ニ炭末ヲ凝結セシメタル「トマコー」ヲ記セリ之ヲ左ニ譯述ス

英人「コーリー」氏ハ費府ニ來リ本州無煙煤ノ粉末ヲ凝結セシメテ用フルルハ大ニ益スルヘシト云ヘリ今之ヲ製セント欲スルニハ炭末ノ量百分ノ一糊土ヲ混シ又硫酸曹達ノ同量ヲモ混スヘシ而シテ炭末ヲ暖爐ノ如キモノニ入レ酸素ヲ去ラシムレハ凝結スヘシ其費用ハ每噸五十錢之ヲ製スル器械ハ七千圓ナリト記シタリ又同紙上ニ「ハイチ州」某市街ニ於テ耶蘇教師ハ其教會ニ於テ日本佛像數種ヲ縱覽セシメ又佛教ノ談話ヲ爲スヘシト記載セリ

予カ旅宿ノ隣家ニ「ホッルス」氏アリテ大ニ花卉ヲ好ム同氏ノ胞弟ナル「サイス」氏ノ居ニ花室ヲ作リ草木雜花數種ヲ培養セリ「ホッルス」氏ノ宅ニ「カクダリ」(原名ニシテ此種凡六十種モアリト雖モ日本ニテ之ヲ見ス)ヲ

所有ス其形霸王樹ニ類スルモ葉ヨリ莖ヲ生シ莖上花ヲ生スルノ種ニシテ數年ヲ經サレハ花ヲ見ル能ハス其葉及ヒ莖ハ綠色ニシテ花色白シ香薰甚タ烈クシテ全室ヲ薰ラス其葉ノ長サ壹尺二寸幅凡壹寸葉ノ中央ヲ通シテ莖ノ如キモノアリ其莖ハ又狀ヲ爲シテ葉ノ兩側ニ分カシ其又狀ヲ爲シタル支莖ヨリ圓キ莖ヲ生シ其長サ凡八寸莖上ノ白花經凡三寸五分ニシテ蓮花ノ如シ夜間ノミ開クモノニシテ夕七時ヨリ開キ初メ十時ニ滿開トナリ翌朝六時ニハ零落ス枝葉ノ單純種ニシテ此地ヨリハ南方熱帶地方ノ産ニ係ルモノト聞ケリ

「ボツヒル」ニ製鍊場壹所アリテ熱鍊ヲ製シ之ヲ他所ニ送リテ「ロ」ロル轉卷器ニテ諸種ノ鍊具ト爲スアリ予屢同所ニ遊ビ製鍊ノ様子ヲ聞キタルモ詳細ハ附録中鍊ノ部ニ記スレハ今之ヲ略ス

同所ニ金剛錐ノ製造本社アリテ近傍煤田ニ於テ岩層ノ試掘等皆同所

製造ノ金剛錐ヲ用フルナリ

鑿井セシモノ、經ノ大小ニ隨ヒ價ノ高下アルカ故ニ之ヲ左ニ記ス

全器械ノ貫目四千斤(一斤ハ百二十目)ニシテ之ヲ取崩シ諸方ニ運送スルニ當リ其内ノ最モ重キモノ一千五百斤トス凡經二「インチ」一「インチ」八分三厘餘ノ穴ニテ深サ千尺ニ達シ得ヘキモノ其價米金四千圓其經二「インチ」半ニシテ一千五百尺ヲ掘リ得ヘキモノ五千圓

岩層及ヒ鑛脈ノ試掘等ニ用フルト雖モ此價格ノ比例ハ噴水井石油井鑿井等ニシテ其井ノ經ニ因リ其價ヲ異ニスルカ故ニ經六「インチ」乃至十五「インチ」ノモノニシテ深サ其望ニ順フガ如キモノニ至テハ價格ヲ定ムルヲ得サルモ全器械六千斤ニシテ經三「インチ」ノ穴ヲ鑿ツモノハ其價六千圓ナリ

鑿井ノ時間ハ物質ノ軟硬ニ因テ遲速アリト雖モ堅牢ナル石類ニシテ

花崗石ノ如キモ一日間ニ六尺ヲ鑿ツヘキ者トス
 八月廿八日「ポッツビル」ヲ發シテ「ウイルクスバー」ニ至レリ途中ハ惣テ前
 日巡回ニ記セシカ故ニ記載ヲ要セス「モーチ、チヨンク」ニテ他線ノ客車
 ヲ待タレハ市中ヲ徘徊シ一二ノ美ナル家屋ヲ見タレハ之ヲ左ニ記ス
 「モーチ、チヨンク」ニ英國宗耶蘇新教中ノ一派ニシテ「チヨルチ、チブ、イン
 グラント」米國ニテハ通例「イビスコーフル」ト云フノ寺アリテ外面ハ礫
 石層ノ石ヲ以テ建築ヲ爲シ内部ノ造作ハ黃松(エルロ)、パイン又ビッチ
 ハインチ云フヲ用ヰテペンキヲ塗ラス田舎ノ寺院ヨハ珍ラシキ構造
 ナリ又其側ニ「レーハイ」鍊道會社ノ新築ニ係ル鍊瓦造ノ家屋アリ外
 面ハ悉ク滑面煉瓦ナルモ内部ノ柱及ヒ床ハ悉ク鍊ヲ以テ造レルカ故
 ニ美ニシテ且ツ強シ赤色ノ煉瓦ヲ以テ牡丹花ヲ彫刻シタルハ美ヲ極
 メタリト云フベシ同所ヲ發車スルモ前日通過セシ線路ナルカ故ニ之

ヲ略ス

「ウイルクス、バー」ニ在ルコト十日間ニシテ再ヒ「ポッツビル」ニ歸ル其間近傍
 ノ炭坑及ヒ各地ヲ遊覽セシヨ同所ヨリ「ソスクイハナ」河ニ沿ヒ凡五英
 里ナル地ニ「ワイチミン」村落アリ此地ハ彼ノ革命ノ際有名ナル戦地ニ
 シテ同所ニ記念碑アリ其文ヲ譯述ス

此碑ノ近傍ニ於テ一千七百七十八年七月三日ノ午後戰爭セ
 リ乃チ「ワイチミン」戰爭是レナリ

此ノ戰ニ於テハ米利堅報國士ノ屯集セル小隊アルモ未タ練兵ニ熟
 ヒカリシ

老弱相混シテ其整列ヲ異ニセシ共和黨士ニシテ佐官「バトラー」デニ
 ソン「氏」等ノ指揮ニ属セリ

勇ヲ振テ英軍及ヒ土人ニ對シテ決戰セリ

以下長文ナルヲ以テ之ヲ略ス其文ノ半ニ至リ雜句語ヲ以テ記スルモノアリ之ヲ左ニ採萃ス

人タルモノ、國事ニ死スヘキ良味榮譽ハ即チ此ノ如キモノヨソアリケル

石碑ノ建立ハ千八百四十一年婦人等ノ企テテ始メ一千八百六十年ニ至リテ全ク之ヲ成就セリ

「ウイルクス、バー」ヨリ「ワイチミン」ニ遊ビタルハ九月一日ヨシテ途中鎮道馬車及ヒ瀛車ヨテ旅行シタレハ詳細ニ知り得サレモ午後一時ウイルクス、バー」ヲ發シ馬車ニテ「ソズグイハ」河ヲ涉リ凡ニ二英里原野ヲ通過シテ「キングストン」ニ至ル同所ハ同溪野ノ北隅ニ在ル山脉ノ麓ニシテ彼ノ戰爭ノ時英軍ノ一隊ハ此ノ山ヨリ下リシト云フ同所ヨリ瀛車ニテ「ワイチミン」ニ達シ諸所ヲ遊歩シ歸途モ亦同線路ヲ通過セシニワ

「イチミン」ヲ發セシハ既ニ午後七時ニ近シ途中牧場ト耕地トヲ經過セシニ數多ク野牛ハ草ヲ食シ炭坑ノ煙ハ山ニ靡ヒキテ其景恰モ画ノ如ク「ソズグイハ」河ノ對岸ニ在ル小市ハ燈火ヲ點シ此地惣テ平坦ニシテ彼ノ四十堡ノ地モ炭煙ノ間ニ隱見セリ鎮路ノ左右ニ在ル小村落ハ皆坑夫ノ居屋ニシテ頗ル田舎ノ風姿アリ
「ウイルクス、バー」ニ於テハ同市ノ市長タリシ「ブラドリッキ」氏ノ宅ニ宿セシカ故ニ常ニ同氏ニ煤田ノ景況等ヲ質問スルヲ得タリ同氏ハ年齢殆ント七十ニ近フシテ現今ハ採煤ノ業ニ從事セサルモ數年前マテハ坑業ヲ爲セシヲ以テ自カラ断面圖等ヲモ製セリ其内煤田中現今ニ採掘スルニキ部分ハ長サ五十五英里幅四英里ナルヘシ又層狀ノ變化モ同氏久シク實驗ヲ遂ケタリ炭坑内ニ硅石ノ脉多シト又坑内ヨリ掘リ出シタル煙色硅石ノ結晶ヲ所持セシ「ワイチミン」ヨリ歸ルニ當リ同氏所持

ノ郡中歴史ヲ借り之ヲ一讀セシニ彼ノワイタミン戦争ニ於テハ米兵
 僅三百人英兵ハ土人ヲ合シテ八百人ナリシ而シテ河側ニ土人ヲ伏セ
 山上ニ英兵ヲ備ヘタリ其時米兵ハ必死ノ進撃ヲ試ミタルモ遂ニ利ヲ
 失ヒ土人ノ殘暴ナルヲ以テ米兵ハ殆ント皆之ニ死シタリ而シテ後此
 歴史ヲ編集スルノ時ニ至リ愛蘭人ニレテ戰時ニ英兵タリシ者「ボンケ
 ルヒル」ノ戰ニ負傷シ後ニ英兵タルヲ不滿意ニ思ヒテ米兵トナリ「ワイ
 タミン」ノ戰ヲ爲セシ人ノ尙チ世ニ在リテ能ク戰爭ノ景況ヲ詳カニセ
 リ又地處等ノ詳カナラサルモノヲ知リシハ一千八百三十二年六月中
 「ヒセル、グー」氏所有ノ地ヨリ數多ノ死骸ヲ掘リ出セシニ當時此戰ノ兵
 士タリシモノ凡三十人許存生シテ最早老人ハ九十歳戰時ニ弱年タリ
 シモノト雖モ六拾八歳ト成リ居レリ彼等ノ説明ヲ得テ此歴史ニ記ス
 ル所ノ細事ヲ知ルヲ得タリト記セリ

九月九日「ウイルク」（ウイルク）ヲ發シテ「ホッピル」ニ歸レリ途中同線路ニシ
 テ記載スヘキモノナシ
 九月十八日ヨリ西中煤田（モンタナ）地方ニ巡回セリ途中惣テ瀛車ナ
 ルモ時々停車場ニテ車ヲ移セリ乃チ「ボツピル」ヲ發シ「トマコー」マテハ
 東ニ向ヒ「トマコー」ヨリ北ニ向ヒテ「マハノイ、シナイ」ニ至ル此間ニケ所
 ノ隧道アリ其長キモノハ三千四百尺ニシテ「マハノイ」隧道ト号ス其短
 キモノハ「トマコー」隧道トス其地質ハ赤色舍兒ナリ
 「マハノイ」隧道ハ西中盤狀即チ煤田ノ南境ニシテ岩層ハ赤色舍兒アリ
 礫石層アリ煤層モ亦其壹部ニアリ之ヲ過レハ「マハノイ、シナイ」ニシテ
 炭坑ノ側ニアル小市街ナリ此處ニテ客車ハ他ノ線路ニ移ルヲ以テ待
 ツト一時間ナレハ近傍ノ炭坑ニ至リテ其業ヲ見シニ大ナルモノアリ
 又小ナルモノニシテ日本ノ坑事ニ適スヘキモノアリ此處ヨリ煤田ト

同方向ナル線路ヲ西ニ進ムテ「アムユランド」ヲ過ルニ路傍ニ煤層露面
 ノ崩壊シタル穴アリ山ニ沿ヒタル線路ヲ過レハ「セントラリヤ」ニ達ス
 停車場ヨリ歩行シテ凡壹英里半ナル「モンタナ」ニ至リ同所採煤長ニ面
 會シテ坑内煤層不明ノ點ヲ調セシメテ坑中ノ圖ヲ一覽ス「ボツビル」分
 局ヨリ同行セシ「シイムス」氏此所ノ炭坑ニ下リタレハ予ハ坑側ニ至リ
 テ採煤ノ様子ヲ聞クニ同坑ハ名ヲ「モンロト」ト云ヒ毎日ノ役夫ハ凡百
 二十人ニシテ二百噸ノ煤炭ヲ採出ス其鑿採スル煤層ハ「スキドモリア」
 ニテ厚サ十四尺半ナリ此坑ハ傾斜坑ニテ其深サ二百七十五尺其側ニ
 排水坑アリテ唧筒ニテ水ヲ汲ミ上ク又其傾斜ノ度ハ凡六十三度ニシ
 テ三噸入ノ炭車ヲ引上ルニ其上リハ五十秒ヲ費シ下リハ三十五秒ナ
 リ又此坑ノ業ニ用フル蒸氣關ハ經二尺五寸ノ煎湧筒十箇ヲ設置シ破
 碎器ニテ製シタル炭ヲ運送スル炭車ハ五噸乃至六噸又拾二噸乃至十

四噸入ノ兩種ヲ使用スルモノアリ又「ボツビル」ノ同所ハ
 同所ノ調査ヲ終リテ近傍ヲ測量シ「モントカ」カ「メル」ニ宿シタリ同所ハ
 人口凡三千ニシテ村落市街ノ形ヲ爲シ近傍處ニ炭坑ニ從事スル愛蘭
 人移住人多キヲ以テ言語ノ多少異ナルモノアリ又「ボツビル」ノ同所ハ
 同十九日ハ早朝ヨリ馬車ヲ雇ヒ同所ヨリ凡三英里ナル「モイリスリッ」
 ノ炭坑ニ至ルニ同坑ハ傾斜坑ナルモ他ノヤク所ノ横坑(排水準上)ヲ採
 掘スルモノアリテ坑夫ハ毎日二百人ヲ使用シテ三百噸ヲ採出スルモ
 ノトス坑内調査ヲ爲スニ傾斜坑ノ全長六百尺ナリ此坑ハ炭層ノ露面
 ヨリ其層ノ傾斜ヲ追ヒ掘込ミタルモノナレハ傾斜ノ度一様ナラス坑
 口ニ近キ所ニテハ凡三十七度其中途ニテハ凡十八度ニシテ其底部ニ
 近シキ二十五度トナレリ現今採掘スルモノハ「マソマス」層ニシテ其全
 厚二十三尺此内二尺八寸ノ板石層ヲ混スルアリ又坑中木材ノ使用ハ

本坑ニ在テ六尺毎ニ柱ヲ設立シ其柱ノ經ハ八寸乃至一尺ナリ本坑ノ高サハ七尺餘横十一尺ニシテ可働坑ハ其相離ル、凡四十尺ナリ可働坑中七八ヤルドニヤルドハ我三尺許毎ニ支柱狀ヲ掘リ殘セリ本坑ニハ鑛路ヲ設ケ四輛ノ炭車一輛凡三噸入チ一馬ニテ傾斜坑マテ引キ出ス此ヨリ傾斜坑ヲ引キ上クルニハ一炭毎ニ一分四十五秒ノ時間ヲ費ヤシ其空車ヲ下スニハ一分十五秒ノ時間ナリ

排水準上ヲ採掘スル横坑ヲ見ルニ其本坑ヲ設クルニ當リ最初ハ其煤層傾斜ト殆ント相等シキ方向ナルヲ漸々ニ屈曲シテ煤層ニ達スレハ殆ント其層ト方向ヲ同フシ本坑ヲ設クルニハ煤層ヲ採掘スル中途ニ門ヲ造リ其側ニ空氣坑ヲ鑿チテ其口ニ火光ヲ點シ本坑ヲ木板ニテ隔斷シ本坑ノ一方ヲ空氣坑トシ別ニ洩氣坑ヲ鑿タス同坑ハ其事業新ナルガ故ニ未ダ可働坑ナシ本坑ノミノ事業ヲ爲セリ

採礦上坑穴ヲ設クルハ其地形ニ因リ運送ノ便ヲヨリ採掘上不便ヲ來タサ、ルト空氣ノ流通ヲ必要トスレハ此ノ横坑ノ例ヲ他ニ用フルヲ難シ故ニ只其地ノ採礦上ニ係ハル摸樣ヲ示スノミ

同夜モ亦「モント、カーメル」ニ宿シタリ而シテ翌朝ノ發車ニ乘シ廿日「ポッビル」ニ歸レリ

同月廿五日「モント、カーメル」地方ノ調査ニ漏ラシタルモノアルヲ以テ再ヒ彼ノ地ニ至ルニ「トマコー」線路ヲ通過セスシテ「フラッキビル」線路ヲ通過セリ此線路ハ「トマコー」線路ヨリ近キ一凡三十英里ニシテ「ポッビル」ヨリ凡二英里東ナル「ポルト、カーボン」ヨリ北ニ向ヒ「フラッキビル」ニ至リ「マハノイ、プレイン」ニ出テ始テ「トマコー」線路ト合ス「フラッキビル」ハ山ノ頂ニアリテ「ポルト、カーボン」ヨリ同所マテハ鑛路ノ高低一英里毎ニ凡百八十尺ナルヘシ「フラッキビル」ヨリ「マハノイ、プレイン」マテ壹英里ハ險

組ナル山道ニシテ瀛車モ通行セザレハ徒歩シテ山ヲ下レリ此邊ノ線
 路ハ惣テ「レッシュンク」鐵道會社ニ屬シタリ鐵路ニ布置シタル木材ハ四年
 毎ニ改ムルヲ通例ト爲スモ其中十年間ヲ維持スヘキモノアリト聞キ
 タリ
 同日ハ礫石層ノ境界ヲ測定セシカ爲メナレハ「モント、カール」溪間ノ
 測量ヲ爲シタリ此夜ハ同所ニ宿シ廿六日モ亦同所ヲ測量シテ「モント、
 カール」ニテ「ライスター」氏ノ炭坑ニ至リテ破碎器及ヒ傾斜坑等ヲ一覽
 シ後チ露面崩壞ノ點ニ至リテ煤層ノ軸線何レノ點ニ走ルカヲ檢査シ
 後チ午後ノ瀛車ニテ「ボッピル」ニ歸リタリ
 「モント、カール」ハ「ボッピル」ヲ離ルル北西凡二十英里ナリ鐵路ハ山脈
 ヲ越ユルノ線ナレハ屈曲シテ稍ヤ遠シトマシ「線路ヨリスル」ハ殆ン
 ト六十英里ニ近カシ「ラッキセル」ヨリスルハ凡三十英里ナルモ發車ノ

都合アリテ途中ニ於テ來車ヲ待チ凡ソ三時間ヲ費スナリ
 本月ヨリハ彼ノ州長及ヒ國會議員ヲ撰舉定期ニ近キカ故ニ政堂ノ諸
 人ハ各堂ノ被撰人ヲシテ諸方ニ演說ヲ爲サシメタリ其堂ハ共和黨民
 權黨及ヒ獨立共和黨ノ三黨ニシテ各黨各々演說ヲ爲シ各黨相ヒ讓ラ
 サルヲ要ス其内獨立共和黨ハ共和黨ヨリ分レタルモノニシテ共和黨
 ニ弊害アレハ其弊ヲ矯正シ純乎タル共和黨ノ精神ヲ貫カント欲シテ
 新ヲニーノ黨ヲ結合シタルモノナリ
 予ハ政黨ニ熱心スルノ者ニアラスト雖も一夕演說ノ席ニ列シ之ヲ聽
 キタルニ其演說ハ種々ニシテ前來ヨリノ國勢ヲ説キ又精神ヲ感發セ
 シムヘキ言語ヲ發シ其發論種々ナルモ之ヲ要スルニ互ニ政黨ノ軌轍
 ニ出ルノ外ナシト謂フヘシ州長被撰人ノ演說ヲ始ムルヤ同席ニ列ス
 ルモノハ拍手ノ聲家ヲ崩サントスルカ如シ且ツ其演說ハ實ニ精神ノ言

語ニ發シテ滿腹他心ナキヲ證スルニ足ルカ如シ之ヲ終レハ滿身汗ヲ發シ疲勞ノ姿アリ演壇ヲ下レハ互ニ手ヲ取リテ相ヒ悦フノ色アリ十月五日モ「ホッピル」ニ在リシニ同郡會ニ於テ本年ノ耕作物及ヒ製造物等ヲ陳列シ又々馬車ノ競争アリタリ此會ハ「ナルウイェル」ニ會合スルヲ聞キ一二ノ友人ト共ニ同所ニ至ルニ途中涼車ノ線路ハ「スグイルキル」河ニ沿ヒ「ポツピル」ヨリ凡八英里ナル「ランジグヒル」ニ至リ同所ヨリ三英里ハ馬車ニテ西ニ走リ「ナルウイェル」ノ村落ヲ遇レハ直チニ會場ニシテ原野ニ幕ヲ張り樂隊奏樂ヲ爲シ其中央ニ小部屋アリテ郡中ノ産物ヲ集メタリ菓物、穀物、野菜或ハ細工物、農具等ヲ陳列シ且ツ馬車ノ競争ヲ爲セリ觀客ハ老弱男女ノ別ナク相群集セリ麥酒ヲ鬻クモノ甚ク多シ下等ノ輩ハ路傍ニ醉倒スルアリ上等ノ輩ハ總テ馬車ヲ走ラシテ往來セリ日暮ニ及ヒ同所ヲ發シテ「ポツピル」ニ歸リ

タリ
 本月ノ末ニ當リ凡ソニ週間「ウイェル」民ノ年紀祭ヲ爲セリ同氏ノ本州ニ植民セシ已來ニ百年ニ當ルカ故ニ州民其祝祭ヲ爲サシカ爲メ廿六日「スグイルキル」郡ノ兵ハ「聯隊」「ポツピル」ニ集合シ廿七日ニハ各郡ノ聯隊相會シテ費府ニ集マルトノウニテ午後一時奏樂ヲ爲シ處々ヨリ集合セリ予カ旅宿ノ前ニ空地アリテ此所ヲ屯集所ト爲セリ同郡ノ女子等ヨリ聯隊旗ヲ授與スルノ事アリテ屯集所ノ中央ニ壇ヲ設ケ授與ノ式ヲ爲シタリ其前面ニ於テ整列ヲ爲シ技藝ヲ終リ旗ヲ受ケ取レリ此時女子ニ代リテ法學士演說ヲ爲セリ次ニ聯隊長ノ演說アリテ兵士ニ同祝聲ヲ發シテ帽子ヲ抬ケテ感謝ノ容ヲ表セリ此式ヲ終レム皆解列セリ
 此頃彼ノ撰擧期ニ近ツキタルカ故ニ各政黨ハ夜間樂ヲ奏シ燈火ヲ

點シ隊列ヲ爲シテ市中ヲ徘徊ス之ヲ觀ルモノハ甲黨ノ燈火ハ乙黨ヨ
 リ多キト幾本ナリト評シテ互ニ其黨ノ撰舉多數ヲ企望セリ米國ノ政
 黨ニ熱心ナル者多キヲ知ルヘシ
 同廿七日ハ「ウイリヤム、ペン」氏ノ二百年紀ノ爲メ分局モ一日休課スレ
 ハ早朝ヨリ瀛車ニ乗シ費府ニ至ラントセシニ停車場ニ至レハ車賃半
 減ヲ以テ費府ニ往返ヲ許スノ揭示アリテ樂隊及ヒ老兵(南北戰爭ニ從
 事セシモノヲ云フ)以下之ニ做フハ客車中ニ充塞セリ而シテ同所ヲ發
 シテ費府ニ着セシハ殆ソド十一時ナリ直チニ本局ニ至リ友人某ト共
 ニ同府町會所ノ前ニ至リテ諸郡ヨリ集合シタル兵隊ノ市中ヲ通行ス
 ルヲ見ルニ其數殆ソト三万ニ近カ、リシ其内老兵ハ銃ヲ携ヘスシテ
 各隊ノ後ヘニ列セリ各隊ノ旌旗ハ其色既ニ變シ或ハ破レテ旗竿ニ卷
 キタルアリ是レ南北戰爭ノ時ノモノナリト云フ砲兵アリ騎兵アルモ

主モニ步兵ナリシ觀客相集マルモノハ西ハ「チカゴ」北ハ「ボストン」ヨリ
 モ來リテ其數幾十方ナルヲ知ラス彼ノ「マーケット」町ハ市街甚タ廣キモ
 觀客充満シテ中央ニ兵士ノ通路アルノミ又粟曲チキストウツノ如キモ觀客填咽ス
 巡查ハ其兩側ニ在リテ常ニ之ヲ制ス町會所ノ側ニハ數階ノ壇ヲ設ケ
 路傍ニ馬車ヲ引キ出シ此上ヨリ見ント欲スルモノハ一人二十五錢乃
 至五十錢等ノ張札ヲ爲セリ之ヲ終リテ町會所ヲ縱覽シ本局ニ至リ同
 夕發シノ瀛車ニテ「ポツピル」ニ歸レリ是等ノ兵士ハ常ニ何レニ在ルモ
 ノナルカヲ問ヒシニ決シテ常備兵ニ非スシテ皆民兵ナリ一旦戰端ヲ
 開クノ日ニ至レハ自カラ奮テ兵役ニ從フヲ願ヒ我國ヲ我國民ノ保
 護スルハ當然ナリト云フノ精神ナレハ所謂此民ト此國トヲ重スルモ
 ノニシテ「ペンシルバニヤ」一州ニテモ此ノ如シ況ンヤ他ノ諸州ニ於テ
 モ治世ニ在テ農ニ工ニ商ニ各其業ヲ爲シ國ノ事アルノ日ハ自カラ興

テ兵役ニ從ヒ報國ノ熱心斃レテ后ニ止ムノ氣象ヲ有スルカ故ニ合衆國ハ常備ノ兵數甚ク少ナシ其費用モ亦ク大ニ他國ヨリ減少セルカ如シ

費府ヨリ歸途客車中ニ二三ノ政黨熱心者アリテ乘客ニ問フニ撰舉票ノ下ヲ以テ君ノ撰舉ハ誰ナルゾ又他ニ向ヒ同ク其投票スヘキモノヲ問ヒ之ヲ算シテ多少數ノ比例ヲ求メ然ラハ某ハ某ノ州長ニ撰舉セラルハナラシ等ヲ歡フモノナリ

同廿八日ハ「ボツピル」ヲ出立シテ「ウイルクス、バー」分局ノ事業ヲ爲サシ爲メ同所ヲ發セシコ友人男女停車場ヲ見送り暇ヲ告グルモ人多シ予ガ「ボツピル」ニ在リシハ僅ニ三月月間ナリシモ友人ヲ得テ懇切ノ對遇ヲ受ケ出立ノ時ニ至リテ此クモ懇懇ナリシハ感謝スルニ餘リアルナ

「ウイルクス、バー」マテノ線路ハ是マテ兩度通過セシガ故ニ之ヲ記スルノ要件ナシ

予カ「ウイルクス、バー」ニ在リシハ殆ク十二月間ニシテ十二月十六日同所ヲ發シ費府ノ本局ニ至ルモ此ノ間多クハ雪天ニシテ近傍ヲ遊覽ナル外ハ日々分局中ニ事業ヲ爲セシガ故ニ別ニ記載ヲ要スヘキモノナクテハ只其間ニ聞キ傳ヘ或ハ新聞紙ヲ讀ミテ知リタル等ノ諸事ヲ記スルズニ「ウイルクス、バー」ノ地ハ北緯四十一度餘ニシテ水面ヲ抜クノ凡五百尺ナリ而シテ冬季ノ寒氣ハ甚ク嚴シテ十一月六日既ニ華氏ノ二十六度トナリ其嚴寒ノ年ニ於テハ華氏ノ零以下三十度ニ下ルコトアリシト云ヘリ

十一月七日ハ合衆國政体上緊要ナルノ日ニシテ三十三州ノ州長及ヒ國會議院モ此日ヲ以テ撰舉スルカ故ニ各政黨ノ諸士ハ各其黨ノ投票

多數ヲ祈リタリ近來民權黨ノ勢力甚ク盛ニシテ共和黨ノ勢力ヲ挫折
 スルノ勢ヒアリ而シテ獨立共和黨ハ共和黨ノ弊風ヲ矯正センカ爲メ
 其黨ヨリ分離セシカ故ニ共和黨ノ票數ハ之カ爲メニ減少スヘシト語
 ルモノ多シ本州ニ於テハ民權黨ハ「パシントン」氏ヲ州長ニ投票シ共和黨
 ハ「ビーバー」氏獨立共和黨ハ「スチュワード」氏ヲ投票ナシタルニ新聞紙ノ
 記載スル所ニ據レハ民權黨ノ投票多數ヲ占シカ如シ共和黨ハ舊黨ニ
 シテ上等社會ノ人多シト雖モ久シク政權ヲ有シテ弊風ヲ生シタルカ
 故ニ近來愛蘭地方ヨリ移住スルモノ、如キハ民權黨ニ加ハルモノ多
 シ就中南西部ノ諸州ハ民權黨多少シテ猶ホ北部諸州ニ共和黨ノ多キ
 カ如シ是マテ政府ニ在リシモノハ共和黨多キカ故ニ民權黨ノ輩ハ聊
 カ口實ヲ設ケテ無識ノ輩ニ示スニ共和黨ハ金錢ヲ私スルノ惡風アリ
 等ノ言ヲ以テセリト聞ケリ然レ雖モ民權黨中ニモ亦上等社會ノ人多

シ其可否何レノ黨ニアルカヲ知ラヌ何ニマレ現今ノ勢力ハ民權黨ノ
 勝利ニ歸スルカ如シ
 米國ノ政黨團結ハ一種無類ナルカ如シ予カ從事セシ分局ノ上階ニハ
 共和黨ノ屯集所アリテ撰舉日ノ如キハ同黨ノ出入スルモノ甚ク多キ
 カ如キモ會場ハ實ニ靜肅ニシテ階下ニ在テハ其何事ヲ議スルカヲ知
 ル能ハス又政黨相反スルモ同宗ノ寺ニ至リ或ハ婚姻ヲ爲ス等皆其區
 域ヲ異ニセス又撰舉シタル州長ハ反對黨ノモノナルニモモヨ其被撰
 ノ後チニ至リテ他黨ノ人之ヲ惡ミテ常ニ其人ノ忌惡スル等ノ風習ハ
 無キカ如クニ思ハル是レ共和政體ノ人民タルモノナリト云フヘシ
 同八日ニ至ルモ分局ノ三階ニハ共和黨ノ集會セシモ他ヨリ之ヲ知ル
 能ハス此日新聞紙ヲ讀ムニ是迄合衆國議院ニ於テハ共和黨百五十三
 民權黨百三十ノ比例ナリシモ令度ノ投票ニ據レハ民權黨ハ百八十六

増加シ共和黨ハ百三十九ニ減シタリ而シテ各州モ其長ノ撰舉多ク
 ハ民權黨ノ勢力ヲ有セシモノニシテ三十三州中共和黨ノ被撰人ハ僅
 ニ指ヲ屈スルニ過キス民權黨ノ勢力ヲ得ルモノ此ノ如シト記セリ
 同十七日ニハ北氷洋ニ航シテ氷ノ爲メニ破船シタル「シアニヤタ」号ノ
 士官某此地ニ來リテ航海中ノ景況ヲ演説セリ予モ亦聽聞者タルヲ得
 矣同席ニ列セシニ同船ハ米國軍艦ナレハ惣テ政府ノ支給ヲ以テ桑港
 ヲ發シ漸北ニ進ミテ北洋ニ航シタリ氷洋中ニテ氷ノ爲メニ船ヲ破リ
 「レナ」河口ノ島ニ達シ同河ヲ溯リ「サイベリヤ」ノ中央ヲ過キ歐州ヲ經テ
 再ヒ米國ニ歸リタリ下其演説ノ詳細ハ甚ク長キ故ニ今之ヲ略ス此
 他同所ニ於テ傳聞セシモノ多シト雖モ記載ヲ要スヘキモノ甚ク少シ
 故ニ「ウイール」ス、パー滯在中ノ記事ハ此ニ筆ヲ闕キ又同所炭坑及ヒ煤
 層ノ記載ハ之ヲ附録中煤炭ノ部分ニ譲ルルニ付合ハルニ付ハ

十二月十六日「ウイール」ス、パー分局ヲ發シテ費府本局中ニ事業ヲ爲サ
 ント午前八時ノ發車ニ乗込ニ同所ヲ發セシニ途中ハ「レーハイ」線路ヲ
 レハ「モーチ、チヨン」マテハ前ニ記載セシカ故ニ同所ヨリ費府マテノ
 間新タニ通過セシモノヲ記スルニ「山頂或ハ流レ」沿ヒタル鐵路線
 中ニ於テ嚴寒ノ爲メ岩片ノ崩レテ線路ヲ妨ケントスルノ場所多カリ
 「モーチ、チヨン」ヨリハ「レーハイ」河ニ沿ヒタル線路ヲ下ルニ同所ト「レ
 ーハイ」ト「ノ」間ニハ赤色含兒及ヒ「ボコ」ノ「砂石層」ニシテ即チ炭質系統
 下部ノ石類ナルモ「レーハイ、ガッ」ニ近ツケハ「ガツキル」砂石層デボコヤ
 「ノ」舊赤色砂石層ナリ此ノ「ガツ」ト名クル地ハ左右絶壁ニシテ綠山
 ノ山脈ヲ横過セルカ故ニ其景最モ美ナリ之ヲ過キ「スレー」チングト
 ニ達スレハ板石層ハ鐵路ニ沿ヒ數英里間露出セリ是レ「サイルリヤ」

系統ノ屋蓋板石ニシテ層狀特ニ錯雜シ其剖線ハ恰モ波ノ動搖ヲ画ケルカ如シ是ヨリ「コープレー」ニ達スレハ此地ニ製鍊場アリ又此所ヨリ下流所々ニ製鍊場ヲ認メタリ「コープレー」ノ近傍ニ於テ板石層ハ石灰層ニ變シ所々暗茶色ノ石層ヲ見タルハ何レモ下部「サイルリヤン」系統ニシテ其暗茶色ヲ爲スモノハ鍊鑛「フラウシ、ヘマタイト」ナレハ同河上流ヨリ運送スル煤炭ヲ用ヒ鍊鑛ニ混スル「スラグ」石灰石モ亦此所ニ在レハ製鍊ノ便利恐ラシハ此地ニ過ルモノナカルベシ漸々下流ニ至レハ東方山ヲ見ス地層モ亦砂石層タルハ「サイルロ、カンブリヤン」系統ノ石屬ナルヘシ此處ヨリハ平野ヲ通過スルニ赤色ノ地層アリシハ第二期「ツライヤ」系統新赤砂石層ナリ之ヲ過レハ費府ノ近傍ニ在ル第一期無生年代「アーケヤン」系統ニ屬スル石類ニシテ地面ハ惣テ平坦ニシテ諸所ニ森林アリ鍊路ノ左右ハ或ハ耕田或ハ牧場等ナリシ

同夜ハ費府ニ於テ「インヂニア」クラブ即チ技術學會ノ集會アリタレハ其席ニ望ミテ聽聞セシニ會員凡四十名ノ出席ニシテ諸方ヨリノ報知アリ或ハ新タニ架設ノ橋梁ノ圖ヲ以テ衆員ニ示シ或ハ地圖ヲ出シテ衆員ニ説キ而シテ「ワスソ」氏ハ炭末製ノ爐煤(無煙煤)ノ粉ヲ集メ製シタル爐炭ヲ出シテ席上ノ暖爐ニ用ヒタリ同品ヲ製スルノ報告文モアリタルニ之ヲ凝結セシメシハ「コール、ター」(煤炭重油)ノ百分ノ八ヲ炭末ニ混シテ製セリ只其熱度ノ高低ニ隨ヒ好結果ヲ得ルト得サルノミ此費用ハ甚タ些少ナルカ故ニ炭粉ノ多少ヲ以テ幾年間ヲ支フルヤ否ヲ測定シテ後チ此業ヲ興スニ如カスト其議ニ決シタレハ無煙煤測量ニ於テ其量ヲ測定スルコトナレリ其他ハ格別ナル議事モナクシテ會ヲ閉チタリ

予カ本局中ニ在リシハ二ヶ月間ナルカ故ニ其間費府ヲ縱覽シタルコト

ヲ記スルノミ別ニ必要ノ事件ナケレハ日ヲ追テ之ヲ記セス
 費府ノ人口ハ八十四万七千ニシテ市街ハ直角ナル縦横街ナレハ此地
 ニ至ルモ道ニ迷フノ憂ナク東方「テレワ」河ハ船舶ノ碇泊所ニシテ運
 送ノ便ヲ與ヘ西方「スクイルキル」河ハ其下流ニ於テ通船自由ナレハ大
 船ハ之ニ通セス稍ヤ其上流ヨリ費府全市街ニ用水ヲ引キタリ鑛路ノ
 便ハ諸所ニ通シテ「ペンシルバニヤ」鑛道會社ノ停車場ハ「ブロードストリート」
 テ家屋櫛比ノ間ニ煉瓦ヲ以テ積ミ上ケタル堤上ヲ通シテ市街ノ中央
 ニ停車場ヲ設ケタリ「レッシュンク」鑛道會社ノ停車場ハ稍北部ニアリ又「セ
 ルシーセントラル」會社及「ヒレ」會社等ノ停車場モアリテ鑛路
 ノ線ハ蛛網ノ如クニ廣カリ市中ニ設ケタル鑛道馬車線ハ每街ニアリ
 テ東西ニ走ルモノアリ南北ニ渉ルモノアリテ線路縱横セリ市街ヲ通
 過スルハ其前後ヲ顧ミサレハ殆ント馬車ニ衝突スルノ憂ナキ能ハス

市街ノ繁榮ニシテ商業ノ繁盛ナルハ「チエスト」街ナリ次ハ「マーケ
 ト」街ナルヘシ此地ニ遊ヒテ一覽スヘキモノハ造幣局、天性學堂、公園、博
 覽會ノ紀念館、動物園、蓄水池、及ヒ町會所ノ建築等ナリ此地ニ獨立館ト
 号スルハ革命ノ際議員ノ此處ニ會ヒシ時ニ用ヒタル銅鐘モ此館内ニ
 在リ市中ニ在テ家屋ノ大ナルハ「チエスト」街ノ旅館ニシテ一千三
 百ノ客室アリ上等室ハ一周間ノ室料二十五弗ナルモノアリト聞キタ
 リ又商店ノ大ナルモノハ「ワナメ」カ「」ノ商店ニシテ三百有餘ノ商人
 ハ各部ニ別レ衣食住ノ諸物件悉ク此商店ニ無キモノナシ食室アリテ
 食事ヲ爲シ待合室アリテ客ヲ休憩セシム下階ニハ晝間ト雖モ電氣燈
 ナリ點シテ晝夜ノ別ナシ中央ハ兩替ナ室アリテ管ヲ諸部ニ通シ管中ヨ
 リ金錢ヲ投送シテ兩替ヲ爲セリ該商店ノ形狀ハ我東京勸工場ノ盛大
 ナルモノ、如シ予ノ此ニ來ルハ十二月ノ中旬ニテ耶蘇誕生ノ日ニ

近ケレハ男女此商店ニ至リテ須用ノ物品ヲ購求スル者其出入自由ナ
 ラサル程ニ雜還セリ此商店ノ主人ヲ「ワナメーカ」ト云フ只一人ノ所
 持スル所ニシテ社ヲ爲サス此外別ニ二ヶ所ノ大ナル商店ヲ有セリト
 聞ケリ

造幣局ニ於テハ男女ノ職工ヲ使役ス予ハ幸ニ局長ボスハイセル「若」ニ
 副書ヲ得テ此所ヲ縱覽シタレハ局長ヨリ一人ノ案内者ヲ附シテ案内
 ヲ爲サシメ製造室内ニ入りテ一々熟覽スルヲ得タリ恰モ白銅ノ五錢
 貨ヲ造ルノ時ニシテ事業繁多ナリシ初メニ地金室ヲ見テ次ニ機關室、
 鎔金室、展金室、打板室、成印室、調査室等ヲ順次ニ巡リタルニ鎔金室ニテ
 圓形ニ打板キ之ヲ隣室ニ廻ハセハ其表裏ニ摸樣及ヒ文字ヲ押ス其側
 ナル調査室ニテハ之ヲ積ミ重キ其高サヲ比較シテ調査シ其内不審ナ

ルモノアルキハ其量ヲ探リ之ヲ終レハ樽ニ入レテ倉庫ニ藏ム化學室
 ニ至レハ分拆ヲ爲スアリ其側ニ各國新古ノ金銀銅貨ヲ陳列スル所ア
 リテ之ヲ一覽スレハ各國古代ニ使用セシモノ及ヒ現今ノモノ等詳ニ
 之ヲ知ルヲ得ルナリ日本貨幣ノ如キモ往昔ノ大判小判一分二分二朱
 一朱ニ至ルマテ蒐集セリ新貨幣モ亦其所ニ陳列セリ又同所ニ用フル
 蒸氣力ハ百六十馬力ナリト云フ

天性學堂ハ市街ノ南西ニアリテ建築ハ綠色ノ石造ナリ堂ノ入口ニハ
 種々ノ化石ニ動物ノ足跡アルモノヲ以テ裝飾シタリ是レ「コンチ」チ
 カット「河畔」ノ赤色新砂石中ヨリ出ルモノナリ是ヨリ講堂ニ至レハ左右
 ニ小室アリテ各品蒐集ノ「ヲ」掌トルモノアリ胡蝶類ノ蒐集室ニ於テ
 蝶類數百種ヲ見シニ南米「ブラジル」ノ産ニ奇種ニシテ大ナルモノアリ
 是ヨリ書籍室ヲ通覽シテ階ヲ登リタルニ其側ニ礦物ヲ蒐集セリ其階

上ノ全室ニ鳥獸陳列シ其中央稍ヤ低キ所ニ大ナル動物ノ骨アリ海馬、海牛、鯨魚及ヒ鯨骨等アリ其左右ニハ人体ノ骨類各國ノ種類相ヒ異ナル者ヲ陳列セリ三階ハ海貝、水貝、魚類ニシテ到底僅カノ時間ニテ總覽シ得ヘキニ非ス只礦物ノヨ一々熟覽セシニ止マルナリ其内綠色ノ「チルソクレトス」ハ「コロラド」ノ産ニシテ天然純銅ノ薄片ハ花葩ノ如クニ光輝セリ諸種ノ礦物モ亦人眼ヲ驚カスニ足ルヘシ家屋モ頗ル結構ヲ極メシモノニシテ男女ノ觀客相ヒ踵テ來リ鳥獸ノ如キハ其種類幾千ナルカヲ知テス

公園ハ同所ノ南西ニアリテ「スクリルキル」河ハ其中央ヲ流下ス其名ナ「フエリアモント、パーク」ト云ヒ草木モ繁茂シ諸所ニ休憩所及ヒ石碑等アリ其景ハ實ニ清涼トシテ天然ノ風致ヲ有シタルハ紐育府中央公園及ヒ「ホストン、コンモン」公園等ノ比ニアラサレ如シ蓄水池モ該公園ノ

入口ニアリテ高キ堤ヲ築キ方形蓄水池ハ「スクリルキル」ノ河水ヲ瀛力ニテ引キ揚ケ此處ヨリ鑛管ニテ市中ニ配分ス動物園ハ公園ノ西南隅ニアリテ野獸家禽皆此所ニ飼養セリ博覽會ノ紀念館ハ公園中博覽會場ト爲シタル地ニシテ明治八年ニ開設シタル合衆國獨立百年會ノ紀念ナレハ他ノ諸館ハ取崩シテ草野トナリシモ本館ヲ殘シテ紀念館ト爲セシナリ會場ノ諸館ハ煉瓦造ナリシモ本館ハ殊ニ石造ナレハ建築モ亦美ナリ

紀念館ノ前面ニ青銅ヲ以テ鑄造セル三匹ノ馬アリ澳國「ウエナ」ノ鑄造ニシテ同國ノ出品ナリシ館内ニハ新古ノ器物銅鑲、磁器、漆器、織物、細工物、農産、礦物等出品中ノ最上種ヲ撰ヒテ現今ニ至ル迄之ヲ陳列セシ者カ銅鑲ノ板ハ厚サ八「インチ」ヨリ十四「インチ」其最モ厚キハ四十「インチ」ニシテ各砲彈ヲ以テ試射セシ穴ヲ有ス其側ニハ種々ノ砲彈アリテ其

内銅鍍彈ノ圓錐形ヲ爲セル實彈アリ是レ此銅鍍板ヲ試射セシモノナ
 ルヘシ日耳曼國製鍍所ノ圖及ヒ鍍類ノ見本又本州「ベスレヘム」製鍍會
 社出品ノ鍍、銑、銑、銑、歐洲古代ノ器具、支那ノ磁器、彫刻物及ヒ日本ノ
 磁器、彫刻物、漆器、銅器等アリ又「コロラド」地方地形圖ノ模型アリテ其地
 質ハ色ヲ以テ之ヲ示セリ英國王宮ノ模型モ此所ニ陳列セリ又一方ニ
 ハ伊國「ボンペリー」及ヒ地中海「サイアラス」島ヨリ掘リ出シタル古代ノ
 陶器諸國通貨ノ見本又一室ニハ東印度ノ產物米、麥其他穀類、蠟類、絹類、
 製造物、其側ニ同地產出ノ礦物、合金砂、黑鉛、銅鍍（主モニ炭酸銅「ガイヂ」ト
 ヲ玉類（主モニア「ルマ」ト）鍍、赤色或ハ褐色ノ「ヘマタイト」硫化水
 銀鍍、赤色酸化鉛（此部ニ「リゼンシイ」トテ結晶形ノ美ナルモノアリ）又同
 地ニ於テ牡牛ニ引カシムル鋤アリ（日本ノ鋤ヨリモ不便ナルカ如シ）又
 一室ニ古代ノ織物衣服等アリ主モニ古代僧侶ノ衣服類（日本錦ノ如キ

モノ）其中央ニハ古代人ノ使用セシ石製ノ器具モアリテ織物中ニ楠公
 櫻井驛ニ正行ニ訣別スルノ圖ヲ織リシモノアリタリ又一室ニハ土耳
 古ノ物品ニシテ人形ノ箱ヲ作り死体ヲ入レテ埋ムルモノ及ヒ本製ノ
 彫刻物類アリ又古代ノ武器モ陳列シタルニ日本具足モ一備此ノ所ニ
 アリシ又支那ヨリ同博覽會ニ寄送シタル朱塗ニシテ神輿ニ類似セシ
 飾臺モ其入口ノ左右ニアリタリ
 町會所ノ建築ハ頗ル美麗ニシテ凡十年前ヨリ此建築ヲ始メタルモ未
 タ落成ニ至ラス（未タ最上階ヲ落成セサレハ其高サヲ知ラス）外面ハ惣
 テ大理石ニシテ館内ヲ縱横ニ通行スルヲ得ル其通路ノ左右ハ花崗石
 ノ磨キシ者ニシテ其表面ノ光澤ハ恰モ鏡ノ如シ柱石モ亦同質ノ石類
 ニシテ柱ノ上部ニハ灰色砂石ヲ用ヰテ各國ノ人種ヲ彫刻シ又一方ニ
 ハ花ノ如キモノアル如シ此館悉皆出來セハ恐クハ米國ニ於テ之ニ比

スルノ建物ハナカルヘシト聞キタリ
獨立館ハ現今建築ヲ加ヘタルハ其一部ニ百餘年前ノ獨立館ヲ存シテ
現今ハ裁判所トナレリ同所ニモ合衆國年來有名ノ人物ヲ模寫シタル
油繪肖像其他同國コテ古キ書類、劍類、鏡類等ヲ陳列セリ
此他ハ西費府ニ本州大學校アリ綠石ノ建築ニシテ可ナリノ建物アリ
又大街ノ一方ニ「フリーメーション」社ノ建物アリ總テ花崗石ナリ
予一日電氣燈ノ器械館ニ至ルニ危険ナルカ故ニ室内ニ入ルヲ禁止セ
リ故ニ其入口ヨリ之ヲ見ルニ蒸氣力ニテ大輪「フライホイール」ヲ廻轉
セシメ其運轉ヲ他ニ移セハ速力ヲ増シ摩擦力ヲ強メ其摩擦ヨリ生シ
タル電氣ハ線ヲ傳タイテ他方ニ至リテ照明セルカ如シ故ニ其發光ノ
點ニ四箇ノ鏡片アリ其各片ヨリ發スル電氣ヲ互ニ觸レサル爲メカ他
片ニテ之ヲ分別セリ其四片速ニ廻轉スレバ其一方ハ硝子ニテ覆ヒタ

ル點ニ光ヲ發ス是レ電氣燈ノ根原ニシテ之ヲ線中ニ傳達セシムルモ
ノ如シ
予ハ明治十六年ノ一月モ尙ホ費府ニ在リ一日ハ休業ナレハ市中ヲ徘徊
シヨリニ耶蘇誕日ノ雜還ナル如キニ「アラス」實ニ新年第一日トモ思ハ
レサルカ如シ土人ノ姿ヲ粧ヒ樂ヲ奏シテ市中ヲ徘徊スルノ徒アリ又
タ小兒ノ面ヲ染テ市中ヲ横行スルノ外ハ親族ノ相ヒ會シテ飲食スル
等ニシテ日本年頭ノ如ク燕尾服高帽ノ徒稍モスレハ顔色通紅ヲ帶ル
「モナク」女子ノ羽玉ヲ飛ハシテ車ノ來ルヲ知ラサル風モナク二日ト
ナリテハ常ノ如ク各々其業ヲ爲シ殆シト新年ヲ迎ヘタルノ心思アラ
ザリシ
二月十五日ヲ以テ測量部ノ事業ヲ辭セ「」ヲ發言セ「」ニ部長ハ屢々
之ヲ止メタルモ最早地方分局ニ至ルモ前ニ在「」地ト同様ナレハ之

ヲ辭シ去ルニ決セシ旨ヲ述フレハ局長ヨリ直チ一書ヲ認テ予ニ送
リタリ則チ其意ハ是迄同部ノ測量ニ於テ爲セシ事業ハ之ヲ満足セリ
今測量ヲ罷メ日本ニ歸ラントス後來久シク私情交誼ヲ保績セシ
望ムト記載セリ此ニ於テ同月十六日同所ヲ發シ紐育ニ至ルニ途中前
ニ通過セシ同線路ナレハ記載ヲ須ヒス
同日紐育ニ着シ我國領事館ニ至リテ一二時間ヲ費シ西十二丁目ノ某
ノ宅ニ宿シタリ市中ヲ徘徊セシモ紐育ハ費府ニ比スレハ商業盛大ニ
シテ人口繁多且ツ市街ハ直角ニ縱橫街ナラサレハ前年此地ニアリタ
ルモ僅ニ一日位ナレハ地理ニ熟セス常ニ鎮道馬車ニ乘リ車長ニ道ヲ
聞キテ諸所ヲ遊覽シタリ
紐育ハ人口百二十万七千ニシテ米國第一ノ市場ナリ該港ニ輻湊スル
船舶ハ其數甚々多クシテ市街ハ西ナル「ホドソン」河畔又其東ナル「ブ

ル「ジョリン」ノ海峽トニシテ荷物ヲ揚卸シ且ツ乗客ノ乗下スル者埠頭
ニテ小艇等ヲ煩スハ絶テ之レナシ陸地ニ設ケシ鎮道モ縱橫自在蛛網
ノ糸ヲ張ルカ如シ實ニ世界ノ樂土ト云ラベシ
市中ヲ通行スルハ馬車ト瀛車トシテ馬車ハ主モ鎮道馬車ナリ瀛車
ハ家屋ノ軒ニ沿フテ之ヲ走り四辻ニ至レハ諸所ニ停車場アリ階ヲ上
リテ瀛車ノ來ルヲ待ツ商家ノ繁盛ハ「ブロードウエー」ノ通街ニシテ此
ニ街ハ人体ノ背骨ノ如シ其左右ト前後ニ列スルノ市街モ亦繁盛ヲ極
メタリ
予カ紐育ニ在リシハ僅ニ十日間ナルカ故ニ或ハ公園ニ遊ヒ或ハ書籍
館ニ至リ偶々海峽ヲ越ヘテ「ブルークリントン」ナル「プロスペクト」公園ニ遊
ヒタルモ積雪甚々深ク只公園ニ般ノ景ヲ見シノミ
紐育ノ中央公園ハ同府ノ西部ニアリテ第六大街ノ入口ヲ入レハ雲母

板石ニ礎石ノ脈ヲ有スル岩山アリ之ヲ過レハ稍ヤ平坦路ニシテ左右
 ニ碑石多シ人体ヲ鑄造セル者ハ悉ク青銅製ニシテ其臺ハ赤色ノ花崗
 石ナリ園中ノ樹木ハ其幹大ナラスト雖ヒ充分ニ繁茂セリ松樹ノ如キ
 ハ日本ト同種ナル者モアリテ其葉モ亦又形ヲ爲ス其形容ニ至テハ少
 シシ異ナルカ如シ其幹赤色ヲ帯ヒテ日本黒松ト號スルモノ、如キ葉
 ナ有スルモノアリ其他ハ「エルクム」メ「トアル」ガナメボルシム」ノ諸種ト柳、
 柏、黒樺、白樺、桐、及ヒ五葉松ナリ其間ニ植ヘ雜ヘタルモノニハ卯花木、及
 ヒ石楠ノ類アリ又諸處ニ蔦及ヒ犬葡萄ノ棚アリ園池ニ臨メハ砂石ノ
 段アリテ段上ノ飾石ハ悉ク花崗石ナリ又園中ニ橋上下橋下ヲ通行ス
 ルノ地アリテ其橋ハ大理石及ヒ赤色砂石等ナリ丘上ニ一箇ノ高標アリ
 リ其高ハ七十尺ニシテ花崗石ナリ是レ埃及國ヨリ舶載シ來ルモノニ
 シテ同國古代ノ石碑ナレハ其四面ニ埃及ノ文字ヲ彫ミタリ高標ノ東

隣ニ博物館アリ西方ニハ蓄水池アリ博物館ニハ諸國ノ古器物ヲ蒐集
 セリ陶器ノ陳列品ハ「サイプラス」(地中海ノ島)ヨリ舶載シタリ又同島ノ
 モノニシテ貴人ノ棺トモ見ユル大理石ノ箱アリ其他古代ノ石像及ヒ
 獵希、羅馬等ヲテ製セシ古代ノ硝子器ヲ陳列ス又日本及ヒ支那ノ細工
 物、漆器及ヒ磁器等モアリ階ヲ登リテ上室ニ至レハ數百ノ美術ヲ列ス
 (皆ナ歐米ノ畫ニシテ東方亞細亞ノ物ヲ見サリシ)又下室ニハ古代人ノ
 石具、劍類(青銅製多シ)アリ其側ニ大ナル砂石製ノ如キ甌アリ圓形ニシ
 テ徑凡ソ六尺ナリ是ハ伊國ヨリ舶載セシ品ニシテ其名ヲ「トリヤム」ト
 云フ又上階左右ニ室ヲ爲サスニテ通過スヘキ所アリテ右方ニハ古硝
 子、黄金類及ヒ青銅器ヲ陳列シ左ハ日本及ヒ支那ノ古磁器ト漆器、刀劍
 等ヲ陳列ス

此公園ニ遊ヒシ時友人奥井氏ヨリ予ニ送リタル詩アリ

十里之園十里池、于花于月四時宜、幾宇之亭、幾箇榻、維晴維雨朝暮佳、此園成於府民築、來往自由無公私、有舟有筏宜以掉、有車有馬宜以馳、孔雀引雛、碧桐阜、老猿乳兒、翠松枝、園中異艸多未見、林裡寄花、半不知、音樂堂、邊佳人集、噴水器、畔兒童嬉、池東設立博物館、天下寄品集、陳茲、園南構成動物苑、山海異獸多飼斯、丘上石塔形如鉢、傳是紀元年前碑、尖標聳雲高百尺、遠從埃及舶載來、觀之樂又意之適、部在十里園地隈、吾亦來憩樹陰石、空對風物感、今昔聞說英兵跋扈時、當年此境總荆棘、魍魅作巢、蠶濛々、豺狼橫路夜寂々、原歛無厭、恣貪婪、苛虐不憚、猖獗天人共怒、專橫甚、十三州民恨透骨、正氣所凝、嚴於霜、誓爲國家攘讐敵、伐竹爲槍、席爲旌、手拋來拒、執矛戟、種場城陷、兵益振、父死子歿、憤愈激、裏瘡吸血、八春秋、沐雨梳風三千夕、頭而又起、倒又立、自由之旗、獨立檄、精神所到、感鬼神、遂破英兵保社稷、爾來一百有餘年、休

兵放馬民安息、策依保護、致殷富、政以共和、整全國、自由之光、文明餘、荆棘變作烟霞、域如何六十餘州民、空受外侮、此幾年、收稅之利、被掠彼、金幣歲耗財、政貧、法律之權、被制渠、勢力日盛、國步艱、况又朋黨內相鬪、或恐禍在蕭牆間、君不見、蚌鷸相爭、漁人利、上獅居西久、傍觀、弱之肉、是強之食、猛獸在北、長垂涎、嗚呼、何日、除此患、富強、真爲自由人、東海元多、好山水、不用十里、築公園、天然之山、天然水、襟帶長、護別乾坤、思是念、是感、無極、衣上秋風、吹淚痕、公園ノ南西ニ天性歴史ノ博物館アリテ其第一階ハ獸類第二階ハ鳥類第三階ハ古代人ノ器具第四階ハ地質金石類ナリ獸類ニハ蹄獸獅子狼虎猿等數種アリ米利堅ノ「ピソン」ハ毛色黒褐ナルモ歐洲産ハ褐色ナルカ如シ駄鳥モ亦此部類中ニ在リテ米利堅産ノモノハ亞佛利加ノモノヨリモ負ニ小ナリ又米利堅「ビーバー」ニハ其尾ニ鱗アリ亞佛利加産ナル猿ノ一種「ラングタン」ノ樹ノ枝ヲ攀レタルモノアリ其面甚ク人ニ

板石ニ礎石ノ脈ヲ有スル岩山アリ之ヲ過レハ稍ヤ平坦路ニシテ左右
 ニ碑石多シ人体ヲ鑄造セル者ハ悉ク青銅製ニシテ其臺ハ赤色ノ花崗
 石ナリ園中ノ樹木ハ其幹大ナラスト雖ヒ充分ニ繁茂セリ松樹ノ如キ
 ハ日本ト同種ナル者モアリテ其葉モ亦又形ヲ爲ス其形容ニ至テハ少
 シク異ナルカ如シ其幹赤色ヲ帯ヒテ日本黒松ト號スルモノ、如キ葉
 ナ有スルモノアリ其他ハ「エルク」メ「上プル」カナマホルソム」ノ諸種ト柳
 柏、黒樺、白樺、桐、及ヒ五葉松ナリ其間ニ植ヘ難ヘタルモノニハ卯花木、及
 ヒ石楠ノ類アリ又諸處ニ蕪及ヒ犬葡萄ノ棚アリ園池ニ臨メハ砂石ノ
 段アリテ段上ノ飾石ハ悉ク花崗石ナリ又園中ニ橋上ト橋下ト通行ス
 ルノ地アリテ其橋ハ大理石及ヒ赤色砂石等ナリ丘上ニ一箇ノ高標アリ
 リ其高サ七十尺ニシテ花崗石ナリ是レ埃及國ヨリ舶載シ來ルモノニ
 シテ同國古代ノ石碑ナレハ其四面ニ埃及ノ文字ヲ彫ミテ高標ノ東

隣ニ博物館アリ西方ニハ蓄水池アリ博物館ニハ諸國ノ古器物ヲ蒐集
 セリ陶器ノ陳列品ハ「サイプラス」地中海ノ島ヨリ舶載シタリ又同島ノ
 モノニシテ貴人ノ棺トモ見ユル大理石ノ箱アリ其他古代ノ石像及ヒ
 獵希、羅馬等ニテ製セシ古代ノ硝子器ヲ陳列ス又日本及ヒ支那ノ細工
 物、漆器及ヒ磁器等モアリ階ヲ登リテ上室ニ至レハ數百ノ美術ヲ列ス
 (皆ナ歐米ノ畫ニシテ東方亞細亞ノ物ヲ見サリシ)又下室ニハ古代人ノ
 石具、劍類(青銅製多シ)アリ其側ニ大ナル砂石製ノ如キ甌アリ圓形ニシ
 テ經凡ソ六尺ナリ是ハ伊國ヨリ舶載セシ品ニシテ其名ヲ「トリヤム」ト
 云フ又上階左右ニ室ヲ爲サスシテ通過スヘキ所アリテ右方ニハ古硝
 子、黄金類及ヒ青銅器ヲ陳列シ左ハ日本及ヒ支那ノ古磁器、漆器、刀劍
 等ヲ陳列ス

此公園ニ遊ヒシ時友人奥井氏ヨリ予ニ送リタル詩アリ

十里之園十里池、于花于月四時宜、幾宇之亭幾簡榻、維晴維雨朝暮佳、此園成於府民築、來往自由無公私、有舟有筏宜以掉、有車有馬宜以馳、孔雀引雛、碧桐阜、老猿乳兒、翠松枝、園中異艸多未見、林裡寄花、半不知、音樂堂邊佳人集、噴水器畔兒童嬉、池東設立博物館、天下寄品集、陳茲園南、構成動物苑、山海異獸多、飼斯丘上石塔形如鉢、傳是紀元年前碑、尖標聳雲高百尺、遠從埃及舶載來、觀之樂又意之適、都在十里園地隈、吾亦來憩樹陰石、空對風物感、今昔聞說英兵跋扈時、當年此境總荆棘、魍魅作巢、盡濛々、豺狼橫路夜寂々、原歛無厭、恣貪婪、苛虐不憚、逞猖獗、天人共怒、專橫甚、十三州民恨透骨、正氣所凝、嚴於霜、凝爲國家、攘警敵、伐竹爲槍、席爲簪、手拋來、却執矛戟、種塢城陷、兵益振、父死子歿、憤愈激、裏瘡吸血、八春秋、沐雨梳風三千夕、蹶而又起、倒又立、自由之旗、獨立檄、精神所到、感鬼神、遂破英兵保社稷、爾來一百有餘年、休

兵放馬民安息、策依保護、致殷富、政以共和、整全國、自由之光、文明餘、荆棘變作烟霞、域如何六十餘州民、空受外侮、此幾年、收稅之利、被掠被、金幣歲耗財、政貧、法律之權、被制、渠、勢力日蹙、國步艱、况又朋黨內相鬪、或恐禍在蕭牆間、君不見、蚌鷸相爭、漁人利、巨鱗居西、久傍觀、弱之肉、是強之食、猛獸在北、長垂涎、嗚呼、何日、除此患、富強、真爲自由人、東海元多、好山水、不用十里築公園、天然之山、天然水、襟帶長、護別乾坤、思是念、是感、無極、衣上秋風、吹淚痕、公園ノ南西ニ天性歴史ノ博物館アリテ其第一階ハ獸類第二階ハ鳥類第三階ハ古代人ノ器具第四階ハ地質金石類ナリ獸類ニハ駱駝獅子狼虎猿等數種アリ米利堅ノ「ビソン」ハ毛色黒褐ナルモ歐洲産ハ褐色ナルカ如シ駄鳥モ亦此部類中ニ在リテ米利堅産ノモノハ亞佛利加ノモノヨリモ寬ニ小ナリ又米利堅「ビーバー」ニハ其尾ニ鱗アリ亞佛利加産ナル猿ノ一種ヲラシクタンノ樹ノ枝ヲ攀シタルモノアリ其面甚々人ニ

近シ其他ノ獸類其數多シト雖モ予ハ動物學ニ暗ク他ノ部ニ必要ナル
 ノ時間アレハ只之ヲ通覽セシノミ
 二階ナル鳥類ノ部ニモ種々ノ鳥類アリテ其大ナル者ハ區別ノ陳列セ
 リ故ニ鳥ノ壹種ニ其色ノ白キモノ或ハ黑白相混シタルモノ等アリシ
 第三階ニハ種々ノ摸形類アリ其内合衆國地質測量ノ出品ニアリシ
 州リテド、チエリ、ニ在ル險岩洞ノ内ニ人類ノ窟居ヒシ跡ノ壞殘セシ
 者及ヒコロラド州ノマンコース險岩洞ノ地及ヒアリフナ州ノモニス
 マス井ノ形等アリ
 是等ノ摸形ハ總テ岩石ノ洞中ニ人類ノ家屋ヲ築キシモノヲ示シ岩層
 ノ顯然タル中ニ家屋アリ又マンコース井ノ如キハ四方ニ岩層ヲ露出
 シ其岩層中ニ小洞數多アリテ其洞中ニ皆家屋アリテ古代住居ノ摸樣
 ヲ知ルニ足ルナリ又古代ノ器具中ニハ南米及ヒ中央米國等ノ陶器ア

リテ「サイアワ」ニ産シテ「サイアワ」ノ類似セリ
 「サイアワ」ノ産地ニ「サイアワ」ノ岩石世期ノ器具ニハ佛國北部ノ産出多クシ
 ヲ其物類ニ「サイアワ」及ヒ火山硝子等ナリ
 岩石世期ノ新ラシキ年代ニ屬スル器具中ニハ佛國北部ノモノモアリ
 テ其石質ハ前石世期ノモノニ異ナラス然ト雖モ此部分ニハ動物ノ骨
 角ニテ製シタル器具アリ又木炭ノ根跡ト瓦制ノ陶器片及ヒ布ノ類頗
 古キ小物トモテ皆佛國北部ノモノナリト云フ
 「サイアワ」ノ産地ニ石斧ハ主モニ渣滓層ノ石類多シ米利堅土人ノ
 器具ニモ砂石層ノ石類甚多シ磁石類ノモノ火山硝子ノ類アルモ甚稀
 コトテ佛國及ヒ瑞士ノモノニ此スレハ石質大ニ差違アルカ如シ
 第四階ノ地質部ニ於テハ同階ノ左ニ動物足跡ノ化石ヲ壁ト爲セリ其
 長ニ凡ニ拾尺幅凡ニ三尺六箇ノ歩跡アリ其相離ル凡ニ二尺五寸ニ

シテ其歩距ノ經ハ凡壹尺二寸ナルヘシ室内ノ入口ニ陳列スルモノハ
 「メソソ州」ホックス「橋」ノ産出ニ係ル花崗石ニシテ其石片ハ多ク氷塊ト共
 ニ流降スルカ故ニ其面ニ搔擦セシ線ヲ有ス其側ニ在ルハ北方愛蘭ノ
 「マヤント」ト云ハルニシテ「バツェルト」石ニシテ六角ノ柱ノ如シ室内ノ中
 央ニハ金石類ニテ其左右ハ悉ク化石類ナリ入口ノ右ヨリ始マリテ其
 所ニハ第三期ニ属スル化石アリテ漸々二期ニ移リ第一期「サイルリヤ
 シ」系統ニ至レハ左側ニ轉シ遂ニ其入口ノ左ニ廻レハ無生期ニ属スル
 「アムクヤン」系統「ヒリス」及ヒ「シヌ」等ノ石類ニシテ其ノ期名ノ如ク
 「北石」等セザルナリ
 「アムクヤン」日本ノ珠喰山名也及ヒ月日貝ノ類アリ龍ノ
 化石ハ「マイン」年代ニ屬シ「メソソ州」ノ産出ニシテ「マイン」等シテ
 層中ヨリ出テ其押ノ稍高ク時時現今ノ水生龜ト同形ナリ「イナシ」年

代ニ魚類ノ齒アリ鯨骨ノ化石ハ「バル」テ「プラ」リ「チ」フ「ザ」ン「ロ」ド「ソ」ニシテ
 同年代ニ屬セリ第二期ニ移リテ「ア」ン「メ」イ「シ」其他「ツ」ラ「ク」ヤ「ス」ニ魚
 類ノ化石アリテ第一期ノ化石モ甚多クシテ「ケ」タ「ク」ノ年代ノ石灰中
 「炭質系統」ツリ「ソ」イ「ド」ノ壹種ハ恰モ系統ニ花英ヲ付シタルカ如シ炭質
 系統ニハ著シク化石甚多シト雖モ枚舉ニ暇アラズ「デ」ボ「コ」ヤ「チ」過「キ」ヤ
 「イ」ル「リ」ヤ「ン」ニ移レハ「ツ」ラ「イ」ヨ「シ」ノ化石ハ實ニ著シク是ヨリ漸々
 「ア」ソ「イ」ク「ノ」石類トナルナリ
 上ニ記スル化石ハ只其陳列ノ順序ヲ示スルニモ化石學上必要ナル
 モノヲ記セシニアラス之ヲ詳ニ記載スルノ時ナケレハ略シテ記サス
 「ミ」チ「カ」ノ州ナルニウ「ヨ」ル「ク」抗「ヨ」リ掘「リ」出「シ」タル「鎮」鑛ハ「ヒ」ウ「ロ」コ「ヤ」ン
 「系統」ノ岩層中ニアリテ其光澤殊ニ鮮ニシテ此他鎮鑛（ヘマタイト）同系
 統ニテ「ア」ソ「イ」ク「ノ」陳列セシ者數拾種アリ其他ハ磁鎮鑛（マグネタイト）

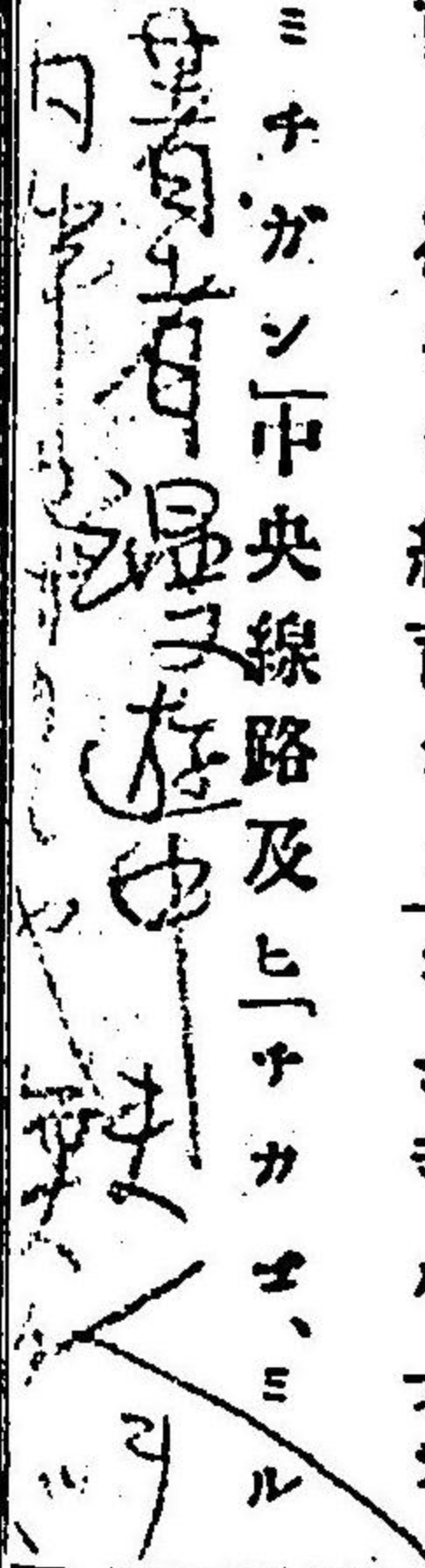
ノ結晶形ヲ呈セシモノ三塊同系統ノ石層ニ属ス其他シスト石類又礫
 石層ノ硬キモノ及ヒ薄赤色ノ砂石層岩等同年代ノモノアリ又「マイカ」
 ノ見本及ヒ「コイス」ノ石類殆ント花崗石ニ似タルモノアリ
 金石ノ部ニ於テ「ピライイト」エソド「プラチ」イリ「シヤム」ト名ケタルハ
 「カリホルニア」ノ産ナリ又茶色ノ硅石中ニ黄金アリテ其面ニ金片ノ顯
 ルハモノ多シ銀鑛ハ「ミナガン」州ノ銅鑛ニ混セレモノ及ヒ「レーキ」
 「ペリナル」ノモノハ硅石中ニ層狀ヲ爲スカ如シ又南米「チリ」ノ銀鑛等
 アリ此他各國所産ノ鑛物ハ其數幾千種ナルヲ知ラス手簿ニ記取セシ
 モノモ數多ナレトモ今之ヲ略ス
 予一日市中ノ歴史館ニ至リ古器古書等ヲ見タリ其舊キモノハ主モ
 埃及ノ物具多シ即チ古代製ノ人形アリ腰下ハ惣テ同國ノ文字ヲ付
 けアリ埃及「サクカラ」ヨリ出ル也又火蒸ヲ用キテ製セタル煉瓦アリ

其外形恰モ日耕土ノ凝結シタルモノニ類ス印ヲ押セリ其長四五寸徑
 三寸餘ナリ又同形ニシ稍ヤ大ナル者アリ面ニ文字ヲ記セリ是ハ彼ノ
 泥製煉瓦ニ「ナイル」河ノ泥ヲ塗リ之ニ押シテ印ト爲スコトヲ記載セリ
 木綿類ハ惣テ其緯ノ大ナルモノニシテ日本ニテ古渡木綿ト稱セシモ
 ノニ等シ麻類ノ織物ハ其色大ニ異ナレトモ日本紬ノ舊キモノニ似タ
 リ陶器ニ魚ノ形ヲ作りタルモノアリ「ヘリ」チポリス市街ノ製造印ナ有
 ス其物質ハ赤色ノ煉瓦ニ等シキカ如シ又「チント」云ヘル市街ヨリ掘出
 シタルモノニモ無焚煉瓦アリ埃及古代ノ佛像ハ其頭ノ形達磨ノ面ニ
 類セリ「セベス」ヨリ出シタル肖像ハ「マリルト」石ニテ彫ヨシモノナレト
 モ其他ハ惣テ大理石ノ如シ「サカラ」ヨリ取出シタル古式ノ記載アリ
 其長サ二十三尺布中ニ画ケル入体ニハ金箔ヲ塗りタルニ其金箔ノ甚
 タ厚キハ古代其製ノ鹿ナルニ因ルヘシ

此館中ニ「メキシコ」ノ陶器アリ頗ル單質ニシテ古具ニ類似ス又「ボンベ
 リー」ヨリ掘リ出シタル物アリテ其面ニ女子ノ小兒ノ手ヲ引キタル画
 様アルモ他ノ面ハ悉皆輕石トナレリ
 予一日「ホトソン」ノ支流ニシテ紐育市街ノ蓄水池ニ至リシニ同所町會
 所ヨリ凡拾英里ニシテ其地チ「ハイブリッジ」高橋ト名ス煉瓦造ノ橋ノ如
 キモノアリ之レハ水樋ノ爲メニ設ケタルモノニシテ其高サ凡拾五間
 長サ百八拾間ナルヘシ此兩傍ニ器械室アリ河水ヲ汲ミ上ケ之ヲ池ニ
 貯ヘ後チ中央公園ノ蓄水池ニ送リテ後チ市中ノ用水ニ分配スルナリ
 此地高橋ノ名アルモ本年出來セシ「ブルークリン」ニ架設シタル釣橋ニ
 比スレハ高橋タルニハアラサルヘシ
 「ブルークリン」下紐育ノ間ニ架設シタル釣橋ハ世界無類ノ大工業ト云
 ヘシ兩所海濱ニハ高サ二百七拾六尺五寸ノ石塔即チ石柱ニシテ架セ

ル數條ノ鐵線ヲ支ニル者ヲ建設シ是ニテ橋ヲ釣リタルニ石塔ヨリ石
 塔ノ距離ハ千五百九十五尺五寸ナリ其橋ノ高サハ百三十五尺ニシテ
 石塔ヨリ陸上ニ橋ヲ架シテ橋下ニ家屋アリ「ブルークリン」ハ「サンズ街」
 ニ至テ平常道路トナリ紐育ハ「チャザン」街即チ町會所ノ前ニ在ル築上
 鐵道ノ停車場ト合ス兩塔外ニ鐵線ノアルハ各方九百三十尺ノ長サナ
 リ又其鐵線チ地ニ埋メ止メタル點ニハ其底礎ノ一方ハ百十九尺他一
 方ハ百三十二尺ナル石造ノ立方實體ヲ滿水準上九十尺ノ處ニ設置セ
 リ其量ハ各六万噸ナリ中央ニ人道アリ其左右ハ鐵路ニシテ其兩端ニ
 馬車道アリ惣路五筋ニシテ各路平均ノ幅ハ十六尺ナレハ釣橋ノ全幅
 ハ八十尺ナルヘク然ト雖モ外端ナル車馬路ノ如キハ各其幅十九尺ニ
 シテ中央ナル人道ハ其幅十五尺半ナリ人道ハ鐵路及ヒ車馬路等ヨリ
 高キ事十二尺ニシテ左右眺望ノ妨ナシ又此ノ兩塔間ニ架設シタル物

質ノ重量ハ六千七百四十噸ニシテ其上ヲ通過スヘキ旅人、瀛車、馬車等
 合シテ千三百八十噸ノ重サヲ支フベク其本線ハ鋼鎖ニシテ經十五
 インチ(平凡一尺二寸五分)ナリ此他此橋ノ發起ハ今ヨリ十七年前ニア
 リテ入費等ノ概算モアレトモ煩ヲ厭テ之ヲ略ス
 二月廿六日紐育ヲ發シ「ノイサンプトン」ニ行キタルモ前ニ通過セシ同
 線路ナレハ爰ニ記載セス又「ノイサンプトン」ニ在ル十五日間雪天歩行
 ノ便ヲ失シタレハ別ニ記スヘキモノナシ故ニ三月十七日紐育ヲ發シ
 歸朝ノ途次ヲ記シテ旅行ノ一般ヲ終ラムトス
 同年三月十七日一先歸朝ニ決シ昨春經過セシハ「ペンシルハニヤ線路
 ナレハ此度ハ他ノ線路ヲ通過セシ事ヲ欲シテ紐育ヨリ「コンシユル、ブラッ
 ックス」ノ間ハ「イリー」線路、南部「カナダ」ミチガン「中央線路及ヒ「チカゴ、ミル
 ナーキー」線路ヲ通行スルニ決セリ



同日紐育ヲ發セシハ午後六時ニシテ「イリー」鐵道會社ノ停車場ヨリ乘
 船シテ對岸「ゼルシー、シナー」ニ在ル同會社ノ停車場ニ着シ乗車セシハ
 殆ント七時ニ近カシ直チニ同所ヲ發シ紐育州ノ中央ヲ西向シ行キタ
 ルモ夜間ナレハ其路傍ヲ見ルヲ得ザリシ
 同十八日早天眼ヲ開ケハ溪流ニ沿ヒ稍々耕野ノ如キ地ヲ進行ス午前
 五時「コルムンク」此所ヨリ「ナイヤガラ」ニ別線路アリニ着シ直チニ發シテ
 「ホールノスビル」ニ至レハ衆客車ヨリ下リテ朝食ヲ喫ス(此處ヨリ「イリ
 ー」湖ノ南ヲハ「イナ」州等ヲ過キ「チカゴ」ニ至ルノ線路ヨリ別レテ「ナイヤ
 ガラ」及ヒ「パフロ」線ニ移ル)而シテ同所ヲ發シタルモ小流ニ沿ヒテ溪
 間ヲ通過セシニ同所ヨリ四五英里ニシテ「ブリッジ」ト云ヘル地アリテ鎖
 路ハ小流ヲ渡ルニ其流大ナラサルモ兩岸絶壁岩層露出シテ其景最好
 シ(岩層ハ多分上部「サイルリヤン」ナルヘク其傾斜ハ殆ント平坦ノ如シ)

此地ヨリモ別ニ山脉ヲ横通スルノ地モナクシテ午前拾壹時ハフロー
 東方ノ停車場ニ達シ車ヲ乗替ヘテ「ナイヤガラ」線略ニ進ミタリ此處ニ
 テハ車ヲ替ルノ猶豫モアリテ同所ニハ殆ント壹時半ヲ費シタレハ停
 車場ヨリ四望セシニ製造所ノ煙突ハ煙ヲ市上ニ散セシメ馬車ハ其街
 頭ニ列シテ遊歩客ノ足ヲ止メシム人口ハ拾五万五千以上ニシテ本州
 中屈指ノ市街ナリ「ペンシルバニア」州ナル「ピッツボルク」ニハ直チニ達スヘ
 キノ線路モアリテ彼州西部所産ノ瀝青煤ヲ輸送シ來レハ彼州東部所
 産ノ無煙煤ハ稀ニ使用スルカ如シ廣大ナル平原アリテ四方山ヲ見ス
 耕田ヨリハ牧場多キカ如シ然ト雖モ「イリー」ノ畔ナルカ故ニ地味稍ヤ
 卑濕ナリシ又原野ノ壤土中ニ小石ノ亂散スルハ「アルビヤム」(沖積)ニ疑
 ヒナシ此所雪未タ全ク消ヘサルニ路傍ニ見タル壤土ハ其厚サ凡五寸
 ニテ其下層ハ暗赤色シ半壤土ナリシ漸々湖水ノ岸ニ近ツケハ木材ヲ

蓄藏スルノ地アリ是他方ヨリ湖水ヲ運送シ來レルモノニシテ是レ此
 平原中ニ無キ種類ノ木材ヲ蓄ヘル者ナルヘシ之ヲ過レハ車長ハ衆客
 ニ向テ「ナイヤガラ」ホールスト呼ヒタリ衆客此ノ聲ヲ聞クヤ直チニ眼
 テ湖上ニ注クモ此處ハ同名ノ村落ニ至リ瀧ヲ縦覽スル道筋ニシテ其
 瀧迄ハ未タ一英里モアリシナリ再ヒ車長ハ「ソスペンシヨ」ノブリッジ(釣
 橋)ノ聲ヲ發ス此地コソ其瀧ノ下流ヲ越ユル釣橋ニシテ橋上ハ車行速
 ナラザレハ南方ニ龍ヲ望メリ其景實ニ画ノ如シ瀧ハ其下ノ岩石ニ觸
 レ霧ノ如クニ飛散シ其本流ハ大ナル瀧ニシテ其側ニ稍ヤ小ナルモノ
 アリ瀧坪ハ深クシテ水流急ナラサレハ結凝セル氷塊ハ殆ント瀧坪ノ
 全部ヲ塞キタリ其瀧ニハ氷ノ凍凝セシ形ヲ遠望シ又其流ノ下部ハ
 急流ナレハ橋上ノ車中ヨリ之ヲ觀ルモ尙ホ戰慄スルノ思ヲ生セリ
 「ナイヤガラ」ノ瀧ハ「イリー」湖ト「チンタリ」湖ノ間ニ達スル頸狀ヲ呈ス

ル河流其長サ凡七英里其幅六百尺乃至千二百尺ニシテ原野ノ地面ヨ
 リ下ル事二百尺乃至三百尺ノ上隅乃チイリー湖ノ北隅ニ在リ此河流
 ノ東岸ハ合衆國ニ屬シ西岸ハ英領ノカナダニシテ釣橋ヲ其河流ニ架ス
 而シテ瀧ハ二條アリ其大ニシテ水勢ノ強キモノハ本流ノ先頭ニアリ
 テカナシヤンイッアヒセント或ハ馬沓瀧ト名ケタリ又其本流ノ横ニアリテ稍淺キモ
 ノチ米利堅瀧ト名ス其間ニ小島アリテ野羊島ト名クルナリ馬沓瀧ノ
 高サハ凡五百尺ナルヘシ又其岩層ハ下部ニ砂石層ノ甚厚キモノアリ
 (メシナ砂石ニシテ其厚サ凡三百尺ヲ顯出ス)其上ニハ石灰及ヒ舍兒層
 ニシテ凡三拾尺又其上ニハ舍兒層アリ其厚サ凡七八十尺彼ノナイヤ
 ガラ石灰石ハ其上即チ上湖ノ水面ニ近接ス凡百尺モ顯出スルカ如シ
 即チ上部サイルヤン系統ノ底部ナルナイヤカラ部類ノ石層ナリ又此
 地ニ在ルハ岩層ノ傾斜殆ント平坦ナルカ如シ

此釣橋ヲ越レハ一ノ停車場アリテ他ノ鐵道會社ノ線路トナルカ故ニ
 車ヲ乗替タリ是ヨリ英領カナダ南部ノ地ヲ通過スルニ該停車場ヨリ
 凡三英里西ニ行キシ頃北方ニラシマ湖ヲ望ムモ其對岸ヲ見サレ
 ハ恰モ大洋カト思フノ念ヲ發セリ此邊惣テ未開地ニ屬スルモノ多シ
 偶耕田ヲ見ルモ合衆國部ノ地ニ比スレハ地味ノ劣レルカ如シ路頭始
 テ伐木ヲ爲シ耕地ヲ開墾スルノ様子ニテ農家モ亦タ甚少シ又路傍ニ
 在ル壤土ハ甚薄シシテ半壤土ノ下ニハ赤色ノ岩層アリシト見ヘタリ
 「ハミルトン」ノ停車場ニ達スレハ此地ハチンタリチ湖ノ西隅ニシテ小
 船ノ湖岸ニ繫泊スルヲ以テ一ニ港ノ様子アリ「ナイヤカラ」ヨリ此地迄
 ハ山脉ノ北方ヲ過シカ如クナルモ此地ヨリ其線路稍南ニ向ヒテ山脉
 チ横過シテイリー湖畔ニ出テシカ如シ此邊惣テ岩層ノ露出セサルチ
 以テ地質ノ記載ヲ闕シ又此地ノ南西部ニハ人家モ多ク諸所ニ製造所

如キモノアリ。此ノ湖ニ至ルニ、湖ノ南西ノ隅ニ、
 ナホヤガラヨリデトロイ田ノ間三百二十九英里ノ間ハ英領ナリ。デト
 ロホ湖ニ達スルノ前既ニ日没トナリ車中ノ四方ヲ觀ル能ハス。此時降
 雪アリ寒氣ヲ加ヘタリ。同十九日車中眠キ開ケバ「ナッラ」ト云フニ「ミヤガメ」州ノ中央ヨリ稍西ニ
 過キタリ此所ヨリ西方ナリトノ間三十五英里ハ樹木ノ生長更ニ稠シ
 壤土モ亦カナダ地方ノ比ニ非ズ地味ハ灰色ノ半壤土上ニ凡七寸ノ壤
 土アルカ如シ「ナイル」ニ近キカ故ニ其近傍平坦ニシテ地面
 ニ在ルモノ砂礫相混スルカ如キ「アタヤ」(沖積)タルニ疑ヒナシナ
 イルヨリ湖畔ニ達スルノ間小丘ヲ認ム「ナイル」ノ河畔ニ於テ見タル砂
 礫相混スルモノハ同河水ノ作用ヨリ成レタモノナラムカ然レモ其
 丘上ノ土質敢テ河畔ノモノニ異ナラズサテ忽チ湖水ノ作用ヨリ成レ

ルモノナルニシテ此ノ小丘ノ如キモ或ハ牧場或ハ耕田ニシテ其間ニ繁
 茂セル森林アリ木材ニ供スヘキ種類ハ柏及ヒ「エルム」ナリシ漸々西方
 ニ進行ス湖畔ニ近ク黄灰色ノ砂ニ層ヲ爲サズ(日本海濱ニ散布スル
 モノト同シ)諸所ニ丘形ヲ爲スハ湖水風波ノタメ砂塵ヲ其岸ニ送りタ
 ルモノナルベシ「ナイル」ノ西三十七英里ナル「ミヤガメ」ニ達スレ
 バ湖水ヨリ通渠ヲ鑿チ木材ヲ輸送シ之カ爲メニ鋸切器械所ヲ設ケ
 テ多クノ木材ヲ貯ラシ見タリ此所ヨリ湖水ノ端ニ沿ヒテ「ナカセ」ニ
 達ス時既ニ午前十二時ニ至ラレキ線路ノ停車場ニ至リ十二時半ノ發
 車ヲ待チタリ。同湖ノ南西ノ隅ニ、湖ノ南西ノ隅ニ、
 「デトロイ」ヨリ「ナカセ」ノ間六百八十四英里ニシテ此線路ヲ「ミヤガ
 シ」中央線路ト云フナリ又「ナカセ」市街ノ記事ハ前年ノ記載中ニアレ
 今之ヲ略ス。

「チカゴ」ヲ發シテ同所ヨリ三十五英里西方イルシソノ間ハ偶々小丘アルモ概シテ平坦ニシテ耕作甚タ盛ナリ小丘ノ側ニ露出セル土層ヲ見ルニ半壤土ニ礫ヲ交ヘタルハ「アルピヤム」ニシテ其上ニアル壤土ノ厚サハ壹尺以上ナリ而シテ「イルシソ」西方ハ「ミシシピ」河ニ近ツクマテ小丘稍多シ日設ニ近キ頃サハンチニ達シ「チカゴ」ヨリ凡百三十五英里直チニ「ミシシピ」ヲ渡ル同河ノ西岸ニ連亘セル山脉ハ「チカゴ」以西始テ見ルモノニシテ同所ヨリ東方「チカゴ」マテハ惣テ平野ト云モ亦々可ナリ此河ハ「イリノイス」ト「アイチリ」ノ州界タルヲハ前年ノ記載ニ等シク「ホリ」ト「グトン」ニテ渡リタルモノト同シ此山脉ヲ横過スルニ海灰色ノ砂石層ヲ見タリ此時日既ニ没シ車外望ムト能ハス

同廿日

此日モ同様車中ニ在リテ其曉天ヲ待テ四望スレハ四山雪ヲ頂キタル

ニ其間ヨリ砂石層ノ小丘ヲ認メタリ午前十時「コンシユル」ブラッフスニ着セリ前夜間ニ過キシハ殆ント「アイチリ」州ヲ東西ニ通過セシナリ

「コンシユル」ブラッフスヨリ桑港ノ間ハ前年ノ行旅中ニ記載スルモ冬季積雪ノ爲メニ地味及ヒ岩層等ノ記載ヲ洩ラシ或ハ夜間ニ經過セシ等ノ地モアリ且瀛車ノ旅行ニ熟セスシテ必要ノ記載ヲ洩ラセシモノ少カラス故ニ歸途再ヒ之ヲ追記ス其里程及ヒ村市ノ位置ハ前年ノ記載ニ比シテ只其往還ノ異ナルアルノミ

「コンシユル」ブラッフスニ於テ荷物ノ符合ヲ取替ヘ貫目ヲ改メタリ晝食ヲ終リ植民車中ニ乗スル爲メ其食物等ヲ用意シテ午後五時ニ同所ヲ發スルノ客車ニ乗組ミタリ

「コンシユル」ブラッフスニハ現今用水道ヲ設置セン爲メ費拉府器械學士「ボルケン」ハイン氏ヲ招キテ此事業ヲ管理セシム氏は是迄用水道ノ事業

ニ熟シ費拉府ニ在テモ水理ノ事ヲ掌トシタル人ニシテ予ガ費拉府ニ在リシ時同氏ノ親族ニ交際スルハ之ヲ以テ親族某氏ヨリ懇情ナリ照會狀ヲ得タルガ故ニ同所ニテ此事業ヲ見ント欲セシモ其時間ナクシテ果シテハ遺憾スル所ナリ

昨夜ヨリ雪天ナシハ雪ハ到ル處ニ散布セシモ氣候寒カラス且ツ西部諸州ノ地ハ雪既ニ消ユルノ時ナルカ故ニ東方ヨリ來ル礦夫農夫等旅行ノ時ニ際テ不待社會ノ乘客甚多シテ其前後ヲ爭フカ故ニ同鐵道會社ヨリ壹名ノ吏員ト巡査ヲ出シ植民親族ノ旅客ハ客車ヲ異ニシ單身旅客ハ二車ニ集メテ各其場所ヲ與ヘタリ予モ單身旅客ノ一人ニシ農礦ノ役夫中ニ同車ニ乗リテ隨分珍ラシキ旅行ヲ爲セシナリ午後五時同所ニ發シ植民車ノ遲速ニ任セシテ河ヲ越ユ此橋ハ前年ノ記載中國在リ今愛ニ之ヲ記セヌ西岸ヲ望ミ其上流下流トモ昨

年ニ此スルハ其風景一層ヲ加ヘテ如ク見ヘシ西岸ニ連接セル諸山ハ尙ホ雪ヲ戴クモ東方ハ河水ノ作用ヨリ成リテ沖積ニシテ河畔ニハ灌木雜草交繁茂シ橋上ヨリ此綠野ヲ眺望セリ彼ノチマニ此ノ河線ニ在テハ舊時市街ナルモ土地平坦ナラス或ハ小流ニ沿ヒ或ハ小丘ニ據ツテ家屋ヲ設置セシカ故ニ其位置甚惡シ此所ニテ地層ヲ見シニ砂石層ノ柔キモノニシテ殆シ半壤土ノ如ク其上ニ半壤土二尺壤土壹尺ノ厚サヲ爲シ製造所諸所ニ多ク路傍ニ於テマノ白鉛ノ製造ヲ爲スモノヲ見タリ此地ヲ過レテ左右小丘ニテ壤土ノ肥ヘタル故ナルカ草木ノ生長殊ニ繁ク日已ニ没シ天亦々雪ヲ降ス此ヨリ平原ニ小丘アル地ヲ過ルニ此夜月又車中ヨリ月光ニ照シテ原野ヲ望ムニ其景妙ナルヲ覺フ直ニ車中ニ臥シタリ

同車中ニ又エテ州ノ農夫ヲ夜間農事ヲ質問シテ肥料ノ使用ヲ聞

熟シ費拉府ニ在テモ水理ノ事ヲ掌トリタル人ニシテ予ガ費拉府ニ
 在リシ時同氏ノ親族ニ交際シタルハ之ヲ以テ親族某氏ヨリ懇情ナル
 照會狀ヲ得タルガ故ニ同所ニテ此事業ヲ見ント欲セシモ其時間ナク
 シテ果シテハ遺憾ナル所ナリトシテ其時ニ至ラズシテ
 昨夜ヨリ雪天ナレハ雪ハ到ル處ニ散布セシモ氣候寒カラズ且ツ西部
 諸州ノ地ハ雪既ニ消ユルノ時ナルカ故ニ東方ヨリ來ル礦夫農夫等旅
 行ノ時ニ際テ下等社會ノ乘客甚多シテ其前後ヲ爭フカ故ニ同鐵道
 會社ヨリ壹名ノ吏員ト巡查ヲ出シ植民親族ノ旅客ハ客車ヲ異ヒシ單
 身旅客ハ二車ニ集メテ各其場所ヲ與ヘタリ予モ單身旅客ノ一人ニシ
 農礦ノ役夫中ニ同車シタリシニ隨分珍ラシキ旅行ヲ爲セシナリ午後五
 時同所ニ發シ植民車ノ遲速ニ任セシテ河ヲ越ユ(此橋ハ前年ノ記
 載中ニ在リ今爰ニ之ヲ記セズ)西岸ヲマテテ望ミ其上流下流トモ昨

年ニ此スレハ其風景一層ヲ加ヘカ如ク見ヘタリ西岸ニ連接セル諸
 山ハ尙ホ雪ヲ戴クモ東方ハ河水ノ作用ヨリ成レル沖積ニシテ河畔ニハ
 灌木雜草交繁茂シ橋上ヨリ此綠野ヲ眺望セリ彼ノチマカハ此ノ河線
 在テハ舊時市街ナルモ土地平坦ナラス或ハ小流ニ沿ヒ或ハ小丘ニ
 靠ツテ家屋ヲ設置セシカ故ニ其位置甚惡シク此所ニテ地層ヲ見シニ
 砂石層ノ柔キモノニシテ殆ノ半壤土ノ如ク其上ニ半壤土二尺壤土
 壹尺ノ厚サヲ爲セリ製造所ハ諸所ニ多クモ路傍ニ於テ一ノ白鉛ノ製
 造ヲ爲スモノヲ見タリ此地ヲ過レバ左右小丘ニシテ壤土ニ肥ヘタル
 故ナルカ草木ノ生長殊ニ繁ク日已ニ沒シ天亦タ雪ヲ降ス此ヨリ平原
 小丘アルノ地ヲ過ルニ此夜月又鐵車中ヨリ月光ニ照シテ原野ヲ望
 ムニ其景妙ナルヲ覺ウ直ニ車中ニ臥シタリ
 同車中ニアル州ノ農夫ヲ夜間農事ヲ質問シテ肥料ノ使用ヲ聞

かり彼レノ云フ所ニコレハ「チカゴ」ノ西方「アイタウ」ノ東部ハ實ニ耕作
 ノ盛ナル地ナルニ肥料ハ牛馬ノ糞料ノミニシテ石灰或ハ「グワ」ノ「鳥糞」
 等ヲ用ヰス黍作最多シト語レリ又側ニ礦夫アリ彼ハ「アイタホ」ノ銀山
 行クモノニシテ前年モ其銀山ニアリシト云ヘリ該銀山ハ鉛鐵ニ合
 シタル者ニシテ其脈ハ凡五六尺ノ厚サチ有シ鑿坑上ニハ近頃「マイナ
 イト」暴裂藥ヲ用フル等ヲ語リタリ又同礦山ニ業チ爲スモノ、如キ
 ハ一日凡四弗ノ給金ヲ得ルト云フ故ニ合衆國東部ニ比スレハ西部ノ
 役夫ハ其給金ノ貴キカ故ニ夏季ハ西部ニ出役スルモノ多シト語レリ
 同廿一日早朝車中ニテ寐リ既ニ醒レハ「チアラスカ」ノ平原ニ在リテ四
 方村落ヲ見ス暫時ニシテ「クランド」アイルランド「百五十四英里」チマハノ
 西ナリニ達ス此地ハ八十年ノ人口調査ニハ六百餘ナルモ現今ハ一千
 以上ニ至レリト思ハル此地ハ平原中ニ在リテ耕牧ノ兩業ナラテハ別

ニ爲スヘキモノ無キカ如シ森林モ原野ノ諸所ニ在リ雖モ繁茂セシコ
 アラス路傍ハ黍田ニシテ其間ニ小農家アリ地味ハ稍饒ナルカ如シ填
 土モ亦薄カラサリシ是ヨリ平原中ニ在テ農馬ニ鞭チ犬チ從フルモノ
 アリ其馬ハ日本種ニ類シ其形大ナラス其瘠タルハ昔シ佐野氏ノ鎌倉
 入トモ云ヘキモノニシテ農民ノ耕地ヲ巡視スルモノト察ス此時ハ既
 ニ耕地一度耕セシモノト未タ耕サスニテ黍莖ノ存在スルモノトアリ
 又肥馬兩頭ヲ車ニ付シ之ニ鞭シテ平原ヲ過ルハ富農ノ家族ヲ伴ヒテ
 田野ニ逍遙スルモノナルヘシ其間未耕ノ地ハ牧場ニシテ羊ハ草ヲ尋チ
 テ野ニ迷ヒ牛ハ群チ爲シテ食チ求ム然ト雖モ綠草未タ野ニ滿タサレ
 ハ干草ヲ積ミテ牛ヲ飼フモノ多クハ衰弱シテ野間ニ斃ルモノ多シ此
 邊惣テ牧場ナルモ地上ニ白色ノモノアリテ砂ノ如シ是鹽質ノ地面ニ
 結晶セシナリト云フ午後六時ニ近ツキ「ミソリ」ノ北枝流ヲ渡リ「ソル

故「ラト」チマハヨリ二百九十一英里ニ達スレハ此地ニハ可ナリノ宿
 屋モアリ又鐵道社ノ機關車室モアリテ便利ナル村落ノ如シ此所ヲ發
 ヲ日暮ト成ルモ平原尙ホ盡キス然ト雖ト漸クニ溪野ノ上部ニ至ルカ
 故ニ原野次第ニ狹キヲ覺フ此平原ノ土質ハ泥土ノ如キモノアリテ壤
 土ニ物ヲ其上ニアリ其泥土下ニハ砂アリテ往昔此地水底ナリニ疑
 ヒテ故ニ諸所ニ濕氣ヲ帶ブルアリテ
 茲ニ奇ナル一話アリ娼妓五六名ハ「チマハ」ヨリ乗車ヲ爲シ交々旅客ニ
 精ヲ鬻キテ旅行ソ鬱ヲ慰スルカ如シ故ニ之ヲ車客ニ質スルニ上等速
 行車ニモ亦屢此ノ如キモノアリト語リ呼自由文明ヲ以テ自カテ誇
 ル合衆國ニモ斯ノ惡シキ風習アルヲ知ラサリトテ共ニ笑テ此談ヲ
 終リタリ此夜月最好シ「アラ」ト河ノ流ニ沿フテ西行セシニ暫時河畔ニ
 車ヲ止ムレハ乗客モ車ヲ下リテ河畔ニ月ヲ望ミタルニ彼ノ娼妓輩モ

亦共ニ戯レテ居タリ曉五時前シドニーニ着シタリ
 同廿二日モ同様平原ヲ行進セシニ地方小丘ニ屬シ薄赤色ノ蟻塚ノ如
 キモノ多シ其石ハ赤色「チル」トク「リス」ニシテ「プレー」ト名クル木鼠
 ノ如キ動物地中ニ穴ヲ鑿テ其砂石ヲ出セシモノナリ又小丘ノ頂ハ平
 坦ニシテ段形層ノ如シ其側ニ「マール」層ノ露出シテ谷形ノ頗ル險絶ナ
 ル地アリ又壤土ハ瘠タルニハ非サレトモ廣原ナレハ牧場ニシテ耕田
 甚稀ナリ此平原中「ワイ」ニシテノ境界ヲ過キタルニ「マール」ト粘土ハ交
 層ヲ爲シ赤色ノ小石ハ前ノ如クニ散布セリ此時羊七百頭ヲ野ニ放テ
 壹人ノ牧夫壹疋ノ犬ヲ從ヘテ路傍ニ憩フヲ見タリ此處ヨリ前路ヲ望
 ヲハ彼ノ「マール」ノ小丘ハ恰モ海中ノ島ノ如シ此日ハ天氣モ晴朗ナレ
 人必自然ニ爽快ニシテ彼ノ娼妓輩モ車中ヲ徘徊シテ客ヲ挑ムノ色
 々顯ハシ眇茫タル原野牛羊群ヲ爲シ又農家ニ水ヲ汲ムノ風輪ハ高ク

雲間ニ聳ヘ樹木ナクシテ只矮草ノミナレハ之ヲ望ムニ眼ヲ極メサル
 アリ午前十時半「イグベルト」ニ達シタルモ家屋纔ニ壹軒ノミ(此地ハ「チ
 マハ」ヨリ四百五拾九英里此地ヨリ西方ニ「マール」半壞土ノ上ニ湖層
 ナ爲シ其上ニ凡壹尺ノ壞土アルナリ此層狀モ亦前ニ記スルカ如ク一
 度水底タリシヲ證スルニ足ルヘシ午後二時「ヤイエ」ニ着シタリ(前
 年ノ記載ヨアレハ市街ノ景況ヲ略ス)同所ノ西方ハ彼ノ赤色(ナルソク
 レ「ス」石ノ散在セルモノ甚多ク此地ニテ壞土ハ其上ニ散布シテ草木
 ハ其間ニ生長ス偶路傍ノ石層ヲ見ルニ「ツッハ」ニ「ス」砂石層ノ上ニ半壞
 土及ヒ壞土アリテ其上ニ赤色石アリ半壞土中ニ綠色或ハ白色ノ有角
 石片ヲ認ム而シテ原野ヲ過キ岩山ノ東山脉ニ近ケハ又「マール」ノ如キ
 モノアリ此邊有角石片ヲ認ムルハ「フレッキ」ヤ「ナル」ヘシ又稍ヤ赤色ノ
 花崗石ニ似タル硬キ砂石層露出セリ之ヲ過レハ岩層ハ諸所ニ露出ス

ルモ停車場ナクシテ之ヲ見ル能ハス是ヨリ西凡三英里「ホイストル」ノ
 近傍ハ惣テ赤色ノ花崗石ニシテ南ハ「コロラド州」ノ北險^{ケク}ニモ延亘セ
 ルモノナレハ彼ノ「チアラスカ」ノ平原ニ散布セシ赤色石ハ此地ノ赤色
 花崗石ノ赤色(ナルソク)ノ分離シテ風力ニテ遠ク飛散セシモノナル
 ヘシ此岩層ノ破碎甚々著シキハ只ニ空氣ノ之ヲ暴觸スルノミニアラ
 スシテ氣候ノ變化ニ屬スル者タルノ説アリ夏季其氣候ヲ検査セシニ
 日中九十度以上ナルノ地夜間ハ二拾度以下トナル「ア」リテ寒暖ノ變
 化速カナルカ爲メニ岩石モ亦々之ニ感シ破碎セルノ理アルヘシ又其
 石片ノ風力ニ因リテ飛散スルハ現ニ高キ丘上ニモ其石片ハ壞土ノ上
 ニアリ原野ノ如キハ多少水勢ヲ以テ飛散セシメタルモ無キニアラサ
 ルヘシ「シエ」マ「シ」「チマハ」ノ西五百四拾九英里ニ達スルモ赤色花崗石ハ
 依然トシテ變セス同所ニ石塔アリ其高凡百尺其礎石ハ六拾尺四面

於テハ之ヲ磨キテ建築ノ用ニ供スル蘇格蘭ノ花崗石ト同種ナリ此地
 ノ西七英里ニシテ花崗石ハ赤色粘土ニ變ス而シテ又赤色ノ砂石層トナ
 ス此赤砂石ハ前ノ花崗石ノ如ク數里ノ間路傍ニ露出シ或ハ空氣ニ暴
 觸シテ赤色ノ粉末トナリ壤土中ニ混スルモソアリ「ララミト」ニ「チャム」ノ
 西五百七拾三英里ニ達スル時既ニ午後八時ニシテ車ヲ下リ岩層ヲ
 検査スルニ赤色ノ砂石ヲ見テ故ニ何カ點ニテ他層ニ變セシカヲ知ラ
 ス
 廿三日モ亦車中初テ眼ヲ開ケ岩山中ニアリテ岩層ハ鼠色ノ砂石ト
 リ傾斜稍急ナルカ如キモ三拾度ヲ過キズ其方向ハ凡東二拾度北ニ走
 ルモノナリ而シテ凡三英里ヲ進メハ時正ニ午前六時半停車場ニ達シ
 タ此地ハ「ホルト」スル「ホルト」ハ「ホルト」ノ西六百九十四英里ニシテ其側ニ

小流アリ之ヲ渡ルニ此地ニ岩層ヲ沖積ノ如シ北方ニ山脈ノ側ニ露出
 茲ル地層アリテ其長サ凡三英里ナルカハ傾斜平坦ナルカ如キモ諸所
 ニ變化アリテ恰モ地質ノ横斷圖ヲ空中ニ掛ケシカ如シ此所ヨリ山中
 ノ平原トナリタルハ噴火作用ヨリ成リシモノナラトテ路傍ノ岩層
 ニ眼ヲ注キタルニ其露出セルモノ諸所ニアリテ悉皆渣滓層ナリ此原
 野ハ主ニ砂狀ヲ呈シ草木ハ日本ノ海濱ニアルモノト如ク綠灰色ノ莖
 ナ有シ其高サ凡三尺ニ過キズ然レモ諸所ニ荆棘アリテ其高サ殆ント
 四尺ニモ近カルベク而シテ地中多少ノ塊分ヲ含メルカ如シ此地牧場ノ
 如ク野ニ牛ヲ見タルモ近傍農家ヲ認メズ
 「ホルト」スル「ホルト」ニハ合衆國ノ兵營アリ又其近傍山頂諸所ニ測量ノ照
 標ヲ見タリ
 午前九時「ホルト」ニ達セシ「ホルト」ノ西七百九英里ニ此地迄ハ物ヲ

平原ナルモ此ニ全ク山脉アリ同所ノ人家凡四五拾軒モアルヘク此地ニテ山脉ヲ堀割リタル地ヲ通過セシニ岩層ハ鼠色ノ砂石層ナリ之ヨリ再ヒ原野ニ向ヒタルニ丘上赤色砂石ノ層ヲ認ム是ヨリ西方小山脈ヲ經過スルニ當リ悉ク砂石層ナリ又平地ハ惣テ砂泥相混シタルモノニシテ常ニ濕浸セルカ如ク偶板石狀ノ砂石層アルモ其質甚ク柔軟ニシテ傾斜モ亦四拾度ニ近シ又小丘ノ側ニ粘土及ヒ「マール」ノ層アリシハ其年代頗ル新シキモノニシテ其近傍山脉ニ露出セル岩層トハ大ニ異狀ヲ呈ス又車ノ左ニ高サ二百尺乃至三百尺ノ山脉アリテ岩層露出ノ全長ハ七八英里乃至拾英里ニ連亘シ傾斜殆ト平坦ナリ鐵路ヲ離ルニ凡壹英里ナルモ鐵路ハ之ト平行セリ其層ハ何物タルヲ確認シ難キモ其色薄黒ニシテ砂石層中ニ多少ノ舎兒層アルカ如シ其層ノ上部即チ山脉ノ頂上ニ黃色粘土層ノ如キモノ方形ニ殘リ其四方ハ岩層

崩壊セシモノアリテ之ヲ遠望スレハ恰モ煉瓦造ノ家屋山頂ニ在ルカ如シ地上白色ノモノ諸所ニアルハ盤分ノ地面ニ結晶セシモノニシテ此邊地味殊ニ惡シク地上殆ト壤土ハ無キカ如シ日暮ロツク、スプリング「チマハ」ノ西ハ百三十壹英里ニ達ス同所ニ石炭ヲ掘採スル所アリテ其近傍化石ヲ認メサレハ年代ヲ定ムルニ難キモ其岩層ノ他方ニ在ルモノト類似セル事ヲ以テ考レハ多分第三期ニ屬スルモノナルヘシ同坑ハ主ニ支那人ノ掘採ニ係ル壹噸ノ掘採賃ハ六拾五錢ナリト又同坑ハ排水準下ニ於テ其業ヲ爲セシモノナルモ之ヲ引上ルノ器械等惣テ簡單ナルト其鐵路迄甚ク近キトテ以テ運送ノ費僅少ナルカ故ニ坑中ニ使用スル木材等ヲ合シ又壹噸貳拾五錢ノ地主稅ヲ拂フモ同所ニテ賣買ノ價ハ壹噸ニテ壹弗五十錢ニハ越ヘサルヘシ

此地ノ西方モ地層異ナルナク河水ハ惣テ黃泥色ヲ爲シタリ此平原中

ニ在テ「アンドロ」ト号スル鹿ノ如キモノ群ヲ爲シテ野ニアリ車客狙撃スルモノ多キモ的中セザリシ「ロック」スプリング」ヲ發シ四五英里ニシテ日既ニ没シタルハ此日ハ筆ヲ開シ寢ニ着キタリ

同廿四日早朝「イハシ」ストン」ノ停車場「チャム」ノ西九百五十五英里ニ達シタリ而シテ降雪霏々タリ同所ニ石炭坑アリテ支那人其掘採ニ従事ス此所ヨリ地層ハ稍ヤ變シテ河水作用ヨリ成レル沖積ニ類シ砂石層ニ礫ヲ交ユ又地上ニ赤色ノ砂ヲ散布ス原野ハ全面ニ草ヲ生シ其間小丘多シ牧場モ亦諸所ニアリ之ヨリ漸々山間ヲ經過シ隧道ヲ通過スレハ岩層ハ惣テ赤色ノ砂石層ニシテ地質學士某モ嘗テ此山ノ中心ハ赤色砂石ヨリ成レルト論セシモノアリ該隧道ヲ出レハ溪間ニ一二ノ農家ヲ認ム主ニ牧蓄ヲ業トス此所ヨリハ西ニ向テ流ル、溪流ニ沿ヒタル線路ニシテ鎖路ノ左右ハ惣テ絶壁ニシテ赤色砂石アリ又之ニ礫石

ノ混セシモノアリ眞ニ赤壁ト云ヘシ若シ蘇氏ヲシテ其處ニ來ラシメハ船ヲ浮ヘテ濕車ニ乗シテ行クノ賦ヲ作ルヘト思ハル之ヨリ漸々下流ニ至ルモ岩層ハ惣テ赤色砂石ト赤色礫石層ニシテ流レノ兩側ニハ沖積アリ其礫ノ圓形タリシハ現今ノ河流ニ於テ流水ノ作用ヲ受ケシモノニアラス礫石層ノ崩壞シテ左右ノ山脈ヨリ谷間ニ陥リ他ノ砂土ト混シテ沖積タリシモノ、如シ而シテ「エコー」「キマ」ノ西九百九十壹英里ニ達スルモ亦同質ノ石類ニシテ鎖路ノ支線アリ又此ニ支流アリテ河水増加セルカ如シ是ヨリモ河流ニ沿ヒタル線路ニシテ河側ノ沖積稍廣キ地ニハ村落アリテ耕地ヲ有ス「エコー」ヨリ凡五英里ニシテ險谷アリ此所ニテ岩層ハ不同形ヲ爲シタルモノアリテ「コール」サイト」ハ殆ント鉛垂ニ傾斜スルモ赤色砂石及ヒ礫石層ハ之ト十字ノ形ヲ爲ス迄ナレハ殆ント平坦ナルモ稍東方ニ傾タリ故ニ此近傍ニテ石質ハ急

ニ變化シテ赤色砂石ヨリモ遙ニ堅牢ナル石類トナリタリ此所ニ此ノ
 硬岩ヲ通スルノ隧道ニケ所アリ其石類ヲ取ラントスルモ濕車止マラ
 サルヲ奈ンセン當タ此硬石中「コールツサイト」ノ壹片ヲ得シノミナリ故
 ニ此山脉ヲ人体ニ譬フレハ其背骨タルカ如シ石層ハ即チ此ノ硬石層
 タルコトハ疑ヲ容レサルナリ「ウエベル」^{「チャマ」}ノ西壹千七英里ノ東凡壹
 英里ノ地ヨリ岩層再ヒ赤色砂石トナリテ其傾斜ハ西ニ向キタレハ最
 初嶮谷ノ東ニ在テハ東ニ向キ今其西ニ在テハ西ニ向フハ蓋シ彼ノ硬
 岩石ト不同形ヲ爲スモ其點ニ於テ砂石層ハ一ノ駭狀ヲ爲セルモノ
 如シ而シテ該硬岩石ノ砂石層ニ變スルノ地ニ於テ石灰石ヲ掘リ出シ
 又其近傍ヨリ鑛鑛ヲ採取ス溪間ハ稍廣ク其經凡壹里トナレハ壤土更
 ニ肥ヘタルカ如ク牧畜モ亦盛ニメ氣候温和ナレハ此地ハ絶テ雪ヲ
 見サリシ村落ハ山ノ麓ニアリテ別世界ナルカ如シ是ヨリ河側再ヒ險

山トナルハ^{「デビルゲイト」}「チャマ」ノ西千十九英里ト名クルノ地ニシテ同所ヨリ
 「ウイント」ト迄ノ間五英里ハ巖々タル岩山ニテ其高サハ鑛路ヨリ凡千
 五六百尺モアルヘシ岩層ハ無生期アルケヤン「系統」ノモノニシテコロ
 タイト、スノット「及ヒ」ニトス「中」ニ花崗石ノ如キ脈アリ「或ハ」^{「グマタイ」}
 「ト」ノ脈ナランガ此所ニ又吹集層ノ形ヲ爲セシ砂石層ハ此ノ河水ノ
 作用ヨリ成リテ元來ノ石層ヨリモ復ニ新ナルカ如シ「ウイント」ヨリ
 ノ線路ハ「ソルト」^{「レイキ」}「鹽湖」ノ周圍ナル平原ノ壹部分ニシテ北方ニハ
 山脉ヲ見ルモ南方ハ平坦ノ地ナリ此所ニテ有名ナル岩山ノ脈ヲ經過
 シ終リタリ「ウイント」ヨリ八英里間平坦ノ地ヲ過キ「ラグデ」ニ達ス
 「ラグデ」及ヒ結合平洋線路ノ全長等ハ前記ニアレバ之ヲ略ス
 「ラグデ」ニテ車ヲ替ヘタルニ前四日間同車セシ下等役夫ノ輩ハ僅ニ
 七八人トナリシ是ハ「モンタナ」及ヒ「アイダホ」等ニ至ルモノハ此地ヨリ

支線路ニ移レハ他ノ瀛車ニ乗組タルカ故ナリ
 午後三時「ラグデン」ヲ發セシニ天氣晴朗南ニ鹽湖ヲ眺望シ北ニ岩山
 ノ高頂ヲ望ミ湖水ノ對岸ナル高山ハ其頂上ニ雪ヲ戴キテ雲間ニ聳ヘ
 湖上ヲ飛フ、鳥ハ翼ヲ連テテ餌ヲ求ム此地氣候暖カニシテ滿野ノ春
 草既ニ綠ヲ呈シ牧牛之ヲ食シ野ニ遊ラノ景況ヲ見テ湖畔ノ鐵路ヲ經
 過セリ此鹽湖ハ排出スルノ河道ナク其四方ノ溪谷ヨリ注ク水ハ皆此
 湖水ニ集テ水分ノ蒸發スルノミ故ニ湖畔或ハ溢レ或ハ涸ル、等ア
 リ同湖ハ全ク陸地ニシテ鹽湖ト成レルモナリ「カスピヤンシ」ノ如
 ク其根元海水ヨリ別レシモノニ非ス故ニ此湖水ト雖モ淡水ナリマコ
 含鹽水ノ此湖ニ注キテ水分ハ蒸發シ鹽分ノ殘リテ現今鹽湖ト爲リシ
 ヒノナルヘシ湖水ノ面積ハ凡二千平方英里ニシテ海水準ヨリ高キ事
 四千二百五十尺トス百分中十五ハ鹽分及ビ他ノ原素ヲ含ミタレハ水

分ハ即チ百分ノ八十五ナリ而シテ鹽湖ノ周圍ニハ諸所ニ段形ノ著
 シキモノアルハ太古ニ在テ鹽湖ハ現今ヨリモ大ナリシヲ證スルニ足
 ルヘシ鹽湖ノ南西隅ニ鹽湖町ソルトレイクシティアリ人口二万八百ニシテ「ユト」州ノ首
 府ナリ今ヲ去ル四十三年彼ノ數拾ノ妻ヲ娶ルト云フ「モールモン」宗ノ
 僧「ブリハム、ヨンク」氏始テ此地ヲ開キ現今尙同宗首院ノアル地ト爲セ
 リ
 「コトリオン」ニテグデン」ノ西二十四英里ニ達スレハ兒童輩ハ牛乳ヲ携ヘ
 車中ニ來リ乗客ニ鬻キタリ此處ノ平原ニ數十頭ノ牛一群ヲ爲シ居
 リ此所ヲ過レハ線路ハ凡二百尺餘モ高キ地ニ上レハ鐵路ノ傾行急ナ
 レハ二重ニ機關ヲ付シタリ同地ヲ上レハ諸所ニ露出セル岩層火製石
 ナルカ如キモ停車場ナクシテ石片ヲ得ルニ難カリシ是ヨリハ又平坦
 ノ地ニ小丘ノアリシノミ而シテ「プロモントリー」ニテグデン」ノ西五十三

英里ニ達シ機關車モ一ヲ除キテ常ノ如クニ爲シダリ同所ヲ發スルモ
 既ニ日暮ニシテ左右ヲ辨セズ
 同廿五日天將ニ曉ケントシ鷄鳴ヲ原野ニ聞クハ牧夫ノ小屋諸所ニ在
 レハナリ漸ク一ノ停車場ニ達スレハ車客眠起シテ朝食ヲ喫ス是ヲハ
 タ州トテノ「チグデ」ノ西百八十英里ニシテ地ハ丘狀ヲ呈スル平原ノ
 中央ニ在リ家屋僅ニ十軒ニ足ラス家猪ハ路傍ニ遊ヒ白鳩ハ空ニ飛フ
 左右ヲ遠望スレハ山頂雪未ダ消ヘス地味ハ砂狀ヲ呈シテ耕ニ適セス
 野間ニ偶蓬蒿ヲ認ム灌木ハ谷ニ滿チテ稍綠ヲ爲ス家屋ノ築造石ヲ見
 ルニ主モ「マール」ノ如キモノヲ用ヒテ其質甚ク鬆ナリ此平原モ亦太
 古ハ一度湖水ノ底地タリシモノ、如シ正午「ウエルス」チグデ」ノ西二
 百十九英里ニ達ス此地迄ヲ據湖分ノ線路ト号ス人家僅ニ拾四五ニシ
 テ只一ノ停車場タルノニ然ト雖モ機關室モアレハ鉄線ハ四五路ヲ設

ケタリ午後五時「イルコ」チグデ」ノ西二百七十六英里ニ達ス此日經過
 セシハ小丘間ノ溪野ノ如キ地ノモ「シ」テ時々牧畜場アリテ岩層及ヒ
 壤土ニ係リ記スヘキモノヲ見サカシ
 「イルコ」家屋二十四五軒モアリテ旅宿等モ可ナリコシテ煉瓦屋モ亦
 五六家アリ支那人及ヒ赤色土人等ノ住スルモノ多ク同所ニ達スルノ
 前平原中ニ車ヲ止メシニ土人ノ女壹名赤子ノ頸ヲ纏ヒタルモノヲ懷
 キ路傍ニ立テテ其赤子ノ容貌ヲ見ントスルモノハ五錢ヲ出サシメ
 其纏ヒテ卷キテ縦覽セシム是土人ノ商法ニテハ新工風トモ云ヘキモ
 シナルカ又序ニ新工夫ノ活計ヲ爰ニ記スルハ白人種ノ小童ニシテ「チ
 マ」ヨリ車中ニ潛ミ車長ノ切手ヲ改ムルキハ椅子ノ下ニ身ヲ潛メ遂
 ニ久シク車中ニ在リシ同人ハ年齢凡十二三ニシテ桑港ヲ見ント欲シ
 「チカ」ヨリ脱シ來ルモノナリトテ始メハ車客ノ殘食ヲ乞ヒシモセル

マンニテ奇種ノ石片ヲ拾ヒ翌日之ヲ車客ニ鬻キ四五拾錢ノ金ヲ得タ
 レハ其金ニテ沓墨ト沓刷トヲ買ヒ其翌日ヨリハ乘客ノ沓ヲ磨キテ毎
 日四五拾錢ヲ得レハ食物モ亦他人ノ殘餘ヲ仰カスシテ遂ニ自活ノ計
 チ爲シタリ是モ亦新工風ノ活計ナリト云フヘシ
 「イルコ」ヨリ西方ハ暫時平原ヲ過キシニ夜間月光ニ車外ヲ見レハ一ノ
 流レニ沿ヒテ進行シ兩山ノ間ヲ廻リタルニ之ヲ過キテ停車場ニ達ス
 レハ再ヒ平原ナリ時正ニ十時ナレハ筆ヲ開キテ眠ニ就ク
 同廿六日天ノ曙ルヲ待テ望ヲ放テハ「ウインチムカ」チクデノノ西四百
 二十英里ニ達スルモ牧畜従業者家屋僅ニ四五戸ニシテ地ハ荒野ノ如ク
 砂狀ヲ呈シ溪野稍狭クマテ其經凡五英里ナルヘシ此地迄チ「ハンボル
 ト」線路ト号ス同所ヲ發シ「ハンボルト」ニ達スレハ二三ノ家屋アリ又之ヲ
 過キテ「ラゴック」ニ達スレハ土人甚ク多シ是ヨリ平原ヲ過キ「ホットスプ

リソク」ニ達セシニ岩盤ノ製造場アリテ地中ヨリ盤水ヲ取リテ之ヲ煎
 熬スレハ食鹽トナレリ路傍ニ鹽分ノ砂原ニ結晶ノ白色ヲ爲スモノヲ
 見ル此近傍噴火石ノ原野ニ飛散セシモノ多シ又山脉ノ中腹ニ赤色ノ
 岩石ヲ認ムルモ前途東方ニテ見シモノニ異ナリ平原ノ丘側ニ於テ認
 メタル岩層ハ悉ク新ナルモノニテ多分三期ニ屬スヘシ午後五時ウツチ
 ルヲ「チクデ」ヨリ五百五十五英里ニ達シタルニ此地ニハ家屋モ二三
 十軒アリテ支那人ノ居住スルモノ多シ予ハ車ヲ下リテ買物ヲ爲セシ
 ニ支那人四五名其側ニ來リ支那語ヲ以テ予ニ談話スルモ之ヲ解スル
 能ハス直チニ車ニ上レハ支那人四五名車中ニ來リテ筆談ヲ乞ヒタリ
 故ニ予ハ日本人ナリト答ヘタルニ彼等ハ予ニ向ツテ質問ヲ爲サント
 シテ筆ヲ執リタル片既ニ車ノ發セントシタレハ狼狽シテ去リタリ同
 所ニモ亦土人アリテ赤粉ヲ以テ顔ヲ染タルモノヲ見タリ同所ヲ發シ

「チハダ」山脉ヲ上ルニ岩層モ諸所ニ露出スレトモ夜間之ヲ辨スル能ハ
 ス午後九時レノ「」ニ達セシニ此地ハ昨年雪中ニ經過セシトハ大ニ異
 ナリ殆ソト小市街ノ如ク旅宿ノ如キモ煉瓦造等アリテ支那人多ク住
 居セリ
 同廿七日雨天ニシテ「チハダ」山中ナル排雪柵ノ中ニ在リ之ヲ過レハ綠
 險谷ト名クル地アリ「チグデン」ノ西六百六十英里同所ハ其名ニ違ハサ
 ル綠色ノ險谷ニシテ此近傍松ノ大樹アリ此所ハ桑港ノ海面上四千六
 百九十三尺ナルモ昨夜間ニ經過シタル「ソノミット」ト號スル地ハ七千十
 七尺ニシテ「シルラ、チハダ」山脉ノ頂上「カリホルコヤ」州ノ境界ナリ今朝
 既ニ此頂上ヨリ二千三百二十四尺ヲ下ルタル地ナレハ氣候モ頗ル
 暖ナリ
 綠險谷ノ近傍ニ於テ岩層ハ惣テ滑石片層ニシテ其上ニ赤色或ハ黃色

粘土此粘土ハ層狀ヲ爲サスシテ只層岩上ニ散布セシカ如キハ「ウエ
 ーケ」ナルカ車中ヨリ見ルモノナレハ甚ク區別シ難シニ噴火彈丸石ヲ
 混シタルカ如シ而シテ此邊白色ノ花ヲ有スルノ木ヲ見タリ是ヨリ漸
 ヲ山ヲ下ルニ草木綠ヲ爲シテ我國ノ春季ニ異ナラス鐵路ノ左右水道
 アリ或ハ鑛管ヲ通シテ山頂ヲ超過セリ路傍ノ土中ニ向キ礫砂ヲ混ス
 ルノ層ハ彼ノ赤色粘土中ニ在リ此ノ礫砂ハ合金砂ニシテ彼ノ水道ハ
 之ヲ洗フカ爲メニ需用スル者ナレハ水力ヲ強メントノ斯クモ山頂遠
 隔ノ地ヨリ導ヒキ來リシナリ而シテ鐵路ノ傍ニ恰モ大雨ニ山ヲ抜キタ
 ルカ如キ地アリテ其周圍ニ家屋アリ「支那風」ノ家屋甚ク多シ是洗金ノ
 業ヲ爲ス地トシ實ニ驚クヘキ大事業タルハ一覽シテ人ヲ驚駭セシム
 ルモノ、如シ彼ノ家屋ニハ桃季満開シ東方未タ見サルノ氣候ナリシ
 之ヲ過レハ地ハ滑石ノ上直ニ赤色粘土トナリ砂礫ヲ失シタリ鑛道

ハ山脈ノ形ヲ沿ヒテ漸々西ニ下ルモノニシテ或ハ絶壁ノ側ヲ過キ
 或ハ險谷ノ上ヲ横斷シタルニ其最モ急險ナリシハ「ケーアホルン」ト號
 スル地ニシテ岩層ハ一般滑石ナルモ其間ニ「セルメンタイン」ニ變セシ所
 セアリテ滑石中ニハ石硅ノ脈アルヲ見タリ此ノ「ケーアホルン」ヨリ「コ
 ルハッス」ノ間ハ鐵路ノ高低大ニ急ナレハ山腹ニ蜿蜒形ノ道ヲ設ケタ
 レハ機關車ハ既ニ谷ヲ遶リテ前山ノ線路ヲ走ルモ客車ハ未ク谷ヲ越
 ヘサレハ殆ソト他車ニ屬セシ機關車ナルカト疑フカ如キ事アリシ
 「コルハッス」チグデン」ノ西六百九十英里ハ桑港ノ水準上二千四百二十
 二尺ニシテ「バダシチ」ニ通スル支線路モアリ岩層モ此所ヨリハ舍
 兒及ヒ砂石ニ變シ同所ニハ家屋三三十軒モアルヘシ又花園等モアリ
 シニ其形ヲ東洋風ニシテ甚々閑靜ナル地ナリ壤土モ亦稍厚クシテ耕
 作ニ適スヘシ此地ヨリ西ハ鐵路ノ高低稍平準ニ近シ路傍ニ在ル松樹

ヲ見ルニ其葉長クシテ其色白綠タリ又日本ノ松ト同種ニシテ葉稍長
 ク三又ニ分ルモノアリ「ニウカス」ニ近クハ地層「リス」ニ變シ此
 近傍花崗石ヲ掘リ出スアリ之ヲ過ルモ地層ハ敢テ異ナルナシ「ヒノ」
 ナ過キ「ロッシュリン」チグデン」ノ西七百二十二英里ニ達スレハ左右ハ稍平
 坦ナル牧場ノ中央ヲ過ルニ羊數百頭綠野ニ遊ヒ牛モ亦堤畔ニ迷フテ
 春草ヲ食ヌ之ヨリ鐵路ノ左ニ沼アリ水鳥ハ群ヲ爲シテ此沼ニ浮フ車
 客中小銃ヲ携フルノ輩ハ狙撃スルモ前日岩山中ノ「アントロー」ニ於ケ
 ルカ如ク亦タ的中スル能ハス此沼ノ西隅ニ於テ鐵路ハ橋ヲ渡ルニ河
 水ハ黃泥ノ色ヲ爲シテ上流洗金場ノ濁水タルヲ知ルニ足レリ之ヨリ
 「サシラメント」ニ近ツケハ本州ノ首府ナルカ故ニ州廳ハ高ク雲ニ聳ヘ
 圓狀ノ屋蓋アリ其他ニモ家屋モ櫛比ニタリ此時停車場ニ達スレハ其
 側ニ製鍊所アリテ路線鍊ヲ製シ街頭ノ家屋樹木等惣テ東方市街ニ異

ナラカレハ「コンシユル、プラッス」以來七日七夜ノ山路ヲ過キテ今此所ニ着シタレハ恰モ轍鮒ノ河水ニ放ナタレタル思ヲ發セリ此邊ニ一種ノ樹木アリテ其葉柳ニ類シ稍大ニシテ長シ其莖赤色ヲ爲シ其臭楠ニ等シ遠ク之ヲ望メハ其風ニ靡まキタル形ハ竹林ナルカト疑フ同所ヲ發シ再ヒ河ヲ渡リテ眇茫タル綠原ヲ經過シ同夜半「チークラント」ニ着シタリ

同廿八日午前五時半桑港ノ對岸ナル停車場ニ着シ六時漁船ニ搭シテ桑港ニ着シ明廿九日ニ出帆スル米國平洋會社漁船北京号ニ歸朝スルニ決シ午後市中ヲ徘徊セリ
同廿九日諸所ヲ縱覽シテ後午午後二時漁船ニ乘組タルニ上等船客ニハ杉公使ノ一行及ヒ合衆國ヨリ始テ朝鮮ニ赴任セラル、同國全權公使及ヒ洋客數名ナリシ同時ニ桑港ヲ解纜シ彼ノ黃金門ヲ出テ太平洋中

凡十日頃ニ白色ノ雁ノ如キ鳥四五羽ヲ見タリ而シテ彼ノ「カール」常ニ船ノ側ニ來リタレハ其色ノ稍薄クシテ薄鼠ノ色アリ航路ハ殆ント直行ヲ爲スノ望ナリシカ如キモ或ハ南風アリ或ハ北風アリ洋中ニ在テハ常ニ北緯三十一度ヲ經過シ橫濱ニ達スルノ前夜即チ四月十八日午前一時頃日本海濱ノ燈臺ヲ認メ翌廿九日午前六時橫濱ニ着シタリ昨年彼國ニ至ルノ際船中ニテ一日ヲ増加セシモ此度ノ船中ニテ一日ヲ減縮テ其日ヲ數ヘタリ

前條記スルモノハ簡單ナル旅行記ニシテ其經過セシ線路及ヒ目撃セシ概略ヲ記スルニ過キス故ニ農事ニ於テハ只其地味ノ厚薄工事ニ於ケルモ亦モ其位置ヲ知ルニ足ルノミナレハ農業ノ景況、家屋道路ノ建築、稅収ノ略記、人民ノ給金、各州ノ廣狹ト人口ノ比例、及ヒ鑛業上石炭、鐵、石油等ハ之ヲ附録ト爲シ條ヲ追テ記載スヘシ

農業ノ景況

米國農事ノ景況ヲ見ルニ荒野ヲ開クニ當リ最初ニ牛馬ヲ放テ次ニ羊
 ナ牧スルカ如キ(地味ニ據リ雜草ノ生長ニ關シテ前後アルヘシ)而シ
 テ牛牧ノ如キハ既ニ記載セシ如ク岩山中ノ荒原砂礫相混シテ其食
 草ニ乏モ乏シカラント思ハル、地ニモアリテ牧場ト號スルヨリ寧ロ
 荒野ニ牛ヲ放ツト云ハシカ原野中ニ牛小屋及ヒ牧者ノ居處アルモ其
 構造具ニ日本建テ屋ニ等シ其側ニ干草場アルノ地ハ冬間牛馬ノ食物
 ニ供スル爲メ夏秋ノ間干草ヲ作ルモ草ニ乏シキ地ニシハ草ハ他ヨリ
 買フモノナキニアラス漸々豚ヲ飼ヒ又羊ヲ飼フモノハ必ス犬ヲ要ス
 而シテ牧場中ノ壹部耕作ニ適スヘキノ地ヲ撰ヒ耕田ト爲スカ故ニ肥
 料ハ牛馬及ヒ豚等ヨリ取リテ尙ホ餘リアルカ如シ耕田次第ニ肥饒ス

レハ其地ヲ増墾シ其間丘狀ノ地ノ如キハ長ク牧場ト爲シ平坦ノ地ヲ
 耕地ト爲セリ此時ニ其事業ノ成敗スルニ當リ家屋モ亦々煉瓦ヲ用テ
 建築シ或ハ木製ナルモ其形ヲ市街ノ家屋ニ類ス此ヨリシテ小村落ト
 ナリ人口モ繁殖スルニ當リ其地ノ便ヲ計リテ製造所ヲ建設シ或ハ海
 濱ニ遠カリタルモ河運ノ便アル地ハ上流ヨリ木材ヲ流シ來テ鋸器械
 ナ設ケ或ハ麥粉器械所等ヲ設ケテ其近傍所産ノ麥ヲ粉ト爲シテ他ノ
 市場ニ鬻キ營生ノ業十分成リシ地ニハ學校アリ寺院アリテ教育ニ手
 ナ盡シ而シテ宗教ノ教育ヲ助クルハ實ニ大ナルモノニシテ村婆ノ兒
 ナ懐キテ日曜毎ニ寺ニ詣レハ其兒ノ耳ニ觸ル、モノ果シテ何物ナル
 カ神歌、教文皆其教育ノ助ケタラサルハナシ農ニ商ニ皆寺院ニ至ラサ
 ルナシ日曜ノ午前ハ祈禱及ヒ歌樂、說教午後ハ日曜學校ニシテ教文ノ
 意味ヲ互ニ質問シ神歌音樂モ之ニ交ユ夜間再ヒ說教歌樂ヲ爲スノ例

ナリ
 農事ノ景況ヲ見テ此ニ熟考スルモノハ米國ノ農事ヲ直チニ我國ニ施
 サントスルニ其地甚ク少シ儘ニ奈須原或ハ北海道ノ石狩及ヒ十勝ノ
 平原ニ過ギサルヘシ我國農民ノ業甚ク劣^{ツク}シト云フニアラス野菜及ヒ
 穀物ノ栽培ニ至テハ却テ其實地ニ富ミタルハ米國ノ農家ニ讓ラサル
 ヘシ而シテ日本全島ノ地ヲ以テ米國ニ比スレハ人口甚多ク農民ノ所
 有地モ亦其比例ヲ爲スカ故ニ我邦ニテハ一家ニテハ一家ニテ大原ヲ有シ多數ノ
 農僕ヲ雇用スルモノハ甚稀ナリ尙人夫ノ給金モ米國ノ比ニアラサレ
 ハ徒^{イダツラ}ニ西洋農事ヲ好ミ地形ヲ察セス給金ノ差違ヲ算セスノ洋風ノ器
 械ヲ農事ニ試ミ兩頭ノ馬ヲ用イテ耕鋤ヲ牽カシムルヨリモ寧ロ舊來
 ノ農具ヲ用^キ便利ナル改良ヲ要スルモ耕作ヲ爲スハ其實益ヲ得ルニ
 近カルヘシ然ト雖モ牧畜ノ業ハ我國ニ於テモ實ニ必用ナルヘシ世ノ

開進スルニ從ヒ食物ヲ撰擇スルハ其例少カラス故ニ近來食料ノ騰貴
 ハ前十四五年ノ比ニアラス此上需用ヲ増ス可キハ予カ喋々スルヲ待
 タス又山間ノ地ニ在テ海魚ニ乏シク鹿肉兎肉ヲ食セシ輩モ地ノ開少
 ルニ順ヒ野獸ノ跡ヲ絶ツハ其例甚多シ且ツ山間ニシテ肥料ニ乏シキ
 地ニハ家畜ノ肥料ヲ得テ田畑ヲ肥スノ益アリ又高價ナル遠來ノ海魚
 ヲ食スルヨリ廉價ナル肉ヲ以テ其食ト爲セハ人休ノ氣力ヲ強メ健然
 タラシムルノ益モアルヘシ之ヲ爲スニ平原ノミヲ要セス日本ノ中央
 ヲ經過セル山脉中牧場ニ適スルモノハ多カルヘシ若シ亦其牧場ニ爲
 スノ地ナケレハ家畜ヲ養フモ草野ニ乏シト云フニハアラサルヘシ

州名	黍	小麦
アルカンサス	一〇九四一〇七五	一四一二三二四
ミンネソツタ	三七四一九三八	二一一七八五二八
ノルスカロライナ	一三三八六三一六	四〇一四八四二
ビルシユヤ	一〇二〇七〇六一	八八四三九二七
サウスカロライナ	八五六三九五五	一三四九二八八
ニウセルシイ	五九八九五一九	二八〇一二八七
マレーランド	六八一五四二四	七五六八九一六
メイン	一一四〇二四一	五一七三三八
チブラスカ	八九〇一七四八	五九〇一一五八
ベルモント	一五四六四六七	六六三一八六
コンチクチカット	一五八八三〇五	五二八六一
マササチューセツ	一一五五三〇二	三九三九四
ウエストビルジニヤ	五一〇八三一四	三七六七六九七
ニウハンプシヤイル	一四三七五〇三	三〇一八七七
サレゴン	一〇二九六三	四七二五六六四
デレワ	一九四四五八〇	一〇八二八六八
フロリダ	二〇六二八九九	〇〇〇〇〇〇
ローデアイランド	二四六九一五	〇〇〇〇〇〇
テバダ	一七八三〇	五三三〇五〇

乾草	鳥麥	芋
二六八四〇一	五七四四七五	四〇五八三三
五五二三四六九	四一八四一七二	一一七四〇四一
一三一九八二九	一九四二六〇七	五九〇八六八
三〇二二三三八〇	二五一七一五四	七四七八四八
四二〇七一	六七三三三三	八三八五五
九二九五一三八	一七二〇七〇二	二七二六一八七
三二四一〇二二	一二六二三八二	八三一一五一
一三六八九八五二	一〇八二五四二	二七〇二五二二
一七六四八三九	一〇三一二〇四	四七一九七五
一一二二〇二二九	一八五四五〇四	二一八五一〇一
一一四三五八二一	五九五五八六	一六一五五一
一一三四九五五六	三四五六一三	二〇三一九四八
二六九八六九〇	九四三〇九八	五二八七四一
八六五五二二九	六一〇五〇二	二一一二二八〇
一四八五四一七	一二四八五四七	四五二〇八〇
六三二七三〇	一五四二九三	二〇六五八三
〇〇〇〇〇〇	一二三八八二	〇〇〇〇〇〇
二二二五一八七	六七六九〇	四六〇三六二
九七六五〇〇	七〇七四〇	三〇〇三四〇

大麥	裸麥	煙草
〇〇〇〇〇〇	四九九〇四	一五七〇三八
八四六六七九	七五五八七	〇〇〇〇〇〇
二二五五	二七九三九八	一二二一八〇六
五二七八	三二五一九五	四四六四八八七
七二八二	六〇四一九	六二五〇
〇〇〇〇	三八六五七五	〇〇〇〇〇〇
八七五四	二二〇六五三	一五五一四五二
五一六八五七	三七〇四八	〇〇〇〇〇〇
二六五二二二	二八九八一二	〇〇〇〇〇〇
一〇一一〇九	六四九九二	六四〇〇〇
二二二一三	三七一一四七	一七五八二二三
七九九一〇	二六九九二五	一一八〇九四四
四一〇二七	二二五七四三	二二三六七五
八四三三二	四三一四一	八一五四一
二六一二三九	八六五七	〇〇〇〇〇
一五八八	九三四四	〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	五七八五五
一八六九五	一九一五六	〇〇〇〇〇
五七三七〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

蕎麥	綿	年產計
〇〇〇〇〇〇	二九二九九八四	四三〇四九〇三四
四六八八一	〇〇〇〇〇	三六七六一二九五
一二四八〇	九六一一四八八	三三三七二七八九
二八〇二四	九六一一四八八	三〇一六一七五四
〇〇〇〇〇	一四一二七三三〇	二五二九一二五二
二六四六〇一	〇〇〇〇〇	二三一八四〇〇九
四七七七四	〇〇〇〇〇	二二四四七五二八
二七二二三九	〇〇〇〇〇	一九九五八五三九
二四五一〇	〇〇〇〇〇	一八六五〇三六八
二五一一九九	〇〇〇〇〇	一七九五〇七八七
一〇〇九一九	〇〇〇〇〇	一七五四一五七六
三五二八七	〇〇〇〇〇	一六四八七八七九
五三三二六	〇〇〇〇〇	一三五六〇二一一
六〇四一七	〇〇〇〇〇	一三三八六八一二
八五六	〇〇〇〇〇	八二八五四二三
九三〇	〇〇〇〇〇	四〇三三九一六
〇〇〇〇〇	一五七二六六一	三八一七二九七
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	三〇二八〇〇五
〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇	二四七二二六〇

州名	黍	小麦
イリノイス	七〇七四九九四一	三〇〇三四三六九
ニウヨルク	一三七九三八八一	一二三一八五九一
ペンシルバニヤ	二三八三四一一二	二二六八六四三六
チハイチ	四〇四四六四一三	二八二一三三八一
アイチワ	三六三八〇一三三	二二九二七四一四
イシギヤナ	三四五六九〇一八	二六九八三六八九
テキサス	二二三三三二七五	三八一四六九八
ミンソリー	三〇八三三二四二	一五二三二九四三
カリホルコヤ	一六五〇二二二	三二七六〇一四七
テンチスレー	二〇五六三三九八	一一四〇五〇一四
イスコソシン	一〇〇五二八七四	一九九六六五二八
ミチカン	一〇一九四三一	二二四一七二〇一
ミシシピ	一五二六一九一六	四九九〇五一
ゼナルジャ	一七三三五七六七	四三一七七四八
アラバマ	一六五五二九五七	一五六三〇七八
ケンタッキー	二二六一七七三五	七八八七五八二
カンサス	二〇〇九二七九八	一四五四一六六一
ルイシヤナ	八四三六五〇三	〇〇〇〇〇〇〇〇

幹草	鳥麥	芋
二二六七八七七	一二七四〇三五六	五四六七四二三
六四八六五〇七七	一五二〇〇八六〇	一四八六六〇七六
三九四〇七五八七	一二八一三四九〇	六三三六四五四
二二二六七六三五	七九五〇六七六	四八二六二五六
一一七八六九九一	六二四一七八五	二九五〇五二一
一〇六二九八一五	四〇七六六七三	一九二四九八一
九〇六六二一	一五五五一八四	四五八五〇八
七四九一九九六	四四五四〇一五	二二〇三八三一
一一一三四一七〇	二〇一五七二八	二九四六四八三
二〇三〇五四五	二二二〇四二八	六五八八七八
一一六二八八九八	七一九七二九二	三三二〇五六四
一一二〇一八七五	四一六八五〇九	三八九二四〇五
三五五八〇五	五五六三五八	二五〇二九二
四一九二〇八	三四八三六三三	二九〇四六六
三七七九〇三	九七九三二四	二五六七九四
三九一一九三四	二五一二七一八	一〇〇五一八〇
四八二二九四八	二六九二二二〇	二四八二三八〇
二五七九八九	二七四五五	五四四二〇

大麥	裸麥	煙草
一四九三一二九	一四七〇〇八九	五一五二〇七
五四九七四八〇	一九九四九七四	二五二二二七
一七九二〇四	二五九九六七七	一九〇一〇一三
九三六七四一	四〇一一八六	一四一四四〇九
二四四〇四一〇	二一六二〇〇	〇〇〇〇〇〇
四二七九五三	二九四一〇六	七八一五二三
五九三一二	五〇〇八〇	三八二三四四
二七一九一二	三五六八四八	一六三七七八六
八〇九七一三三	九七七二四	〇〇〇〇〇〇
七三〇八二	二四二七九八	二〇五〇二二二
一八五六三四二	一〇八四七四〇	二七九七〇六
六四八二三八	一七〇三四五	〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇	二四一三八	一九七五〇
一四六七〇	二〇〇二七五	一二二七七〇
七五〇〇	三一〇七五	三五六五〇
二三八六三八	八〇八三八四	八〇二八三八五
六一七四六〇	一〇六二二八一	七七〇〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇〇	六三〇〇〇

綿	年產計	
一一八一三三	〇〇〇〇〇	一四五二六七四一七
二五九六四五〇	〇〇〇〇〇	一三三三五七〇六
一七八一四一七	〇〇〇〇〇	一一一五三九三九〇
二二六六九二	〇〇〇〇〇	一〇七六八三三八九
九五〇三三	〇〇〇〇〇	八三〇三八四七七
一一八〇九〇	〇〇〇〇〇	七九八〇五八四八
〇〇〇〇〇〇	三七三二〇九六〇	六六八七〇八八二
二九三一五	〇〇〇〇〇	六二五一〇八七八
三〇六一九	〇〇〇〇〇	五八七三二二二五
六七七一二	一八一七三四二二	五七三八四三八九
二五八〇五二	〇〇〇〇〇	五五七四四九九六
三五〇二〇七	〇〇〇〇〇	五三九四三〇九一
〇〇〇〇〇〇	三三〇九八一七一	五〇〇六五三八一
〇〇〇〇〇〇	二二二一〇〇八三	四八三九四六二〇
〇〇〇〇〇〇	二七六四一五六六	四七四四五八四七
三三三三九	〇〇〇〇〇	四七〇一三六九五
六一二三五	〇〇〇〇〇	四六四四九九八三
〇〇〇〇〇〇	三三二五三二四七	四五六三九四二四

前表ニ掲クルモノハ一千八百七十二年ヨリ同九年迄各州農産ノ平均高チ金額ニシテ記シ其金額ハ惣テ米金ナルモ我國新貨ノ元位ハ米國ト等シキカ故ニ之ヲ圓ト譯シ我國金貨之價格トスレハ差違甚少シ三十七州ノ年産總金額ハ十六億五千零三十五万四千二百七拾二圓ナルベク而シテ表中記載セサルモノハルイシヤナ州ノ部分ニ於テ一千四百六拾万三千五百十圓砂糖ノ價額其他「カロライナ」ノ兩州「シタルシヤ」及ヒ「アラバマ」ヨリ産出ノ米及ヒ其他諸州産出ノ豆類ハ表中ニアラサレハ其高モ亦多カルヘシ

米國ニ於テ牧畜上ノ産物(牛、羊、豚、馬、^{シムル}馱驢)及ヒ牛乳製ノ物ハ實ニ驚クヘキ金額トナルヘキモ政表ノ全キ物ヲ得サレハ今爰ニ記載セズ礦物ノ産額モ甚多シト雖凡其産地ノ略表及ヒ予カ聞キ得タル産出高等ハ之ヲ表ト爲シ附録中礦物ノ部分ニ掲ケリ

家屋及ヒ道路

煉瓦或ハ石造ノ家屋ニシテ其高キモノハ七階或ハ八階ナリ而シテ州廳、町會所及ヒ旅宿ノ如キハ其構造頗ル大ニシテ且高シ寺院ノ如キモ其建築甚美ナリトイヘトモ人ノ居住スヘキ高階ヲ有セズ只其壹部ハ塔ヲ造リテ高ク爲シタリ

石造ノ屋蓋ハ種々ニシテ入口ノ柱或ハ前面ニハ花崗石ノ磨キタルモノヲ以テシ而シテ其全屋ハ大理石アリ花崗石アリ赤色砂石アリ綠色砂石アリ又灰色砂石アリ板石ハ只其家屋ノ前ナル路側敷ノ石ニ用フルモノ多シ

磨キタル花崗石ニ兩種アリ一ハ桃色(ピンク)ニシテ「スコットランド」ヨリ輸入ス一ハ暗灰色ニシテ同國ヨリモ輸入シ或ハ「マスサチエセツ」州中ノ花崗石地ヨリ産出ス同石中ノ組織セル金屬稍小粒ヲ爲シ之ヲ磨ク

モ光澤麗シカラサル種ニシテ諸所ニ産出スルモノハ通常建築用ト爲
 シテ煉瓦ノ如クニ用フルナリ
 大理石ハ其色種々ナリト雖モ主ニ白色(サカロイタル)棒砂糖ノ物ナ
 等トシ又白色ニ鼠色ノ點或ハ石理ヲ有スルモノ等ハ其面ヲ充分ニ磨
 カズシテ家屋ノ建築柱類或ハ踏段等ニ用フルナリ白色最上ノ種類ハ
 伊國ヨリ輸入シ其價彼ノ赤色花崗石ヨリモ高シト聞ケリ其他米國ノ
 諸州ヨリ産出スルモノハ赤色アリ黒色アリ又種々ノ摸樣ヲ有セタル
 綠色ノモノアリテ暖爐ノ周圍或ハ鏡臺其他家室ノ飾器及ヒ床板等ニ
 用フルモノナリ
 砂石類ノ建築石ハ種々ノ地質年代ニ屬スレトモ赤色ノ如キモノハ
 其產地ノ名ヲ以テ區別ス譬ヘハ「コンチキカット」河ニ沿ヒテ産出スル
 「ツライヤ」ノ赤砂石及ヒ「ツライヤス」ノ新赤砂石等多シトイヘトモ各

「ツライヤ」ノ砂石ノ如キハ「ロング」ミ「ドール」スト「イジ」ト名クルカ如シ其
 地綠色灰色皆相同シ
 路傍ノ敷石ハ花崗石アリ砂石アリ板石アリト雖モ板石ヲ用フルモノ
 甚多シ板石中彼ノ雲母片石ヲ用フル等ハ其地方ノ產地ニ便アルニ由
 ルナリ
 煉瓦造ニ種々ノ家屋アリテ其外面ヲ塗ルニ種々ノ色ヲ以テスルモ煉
 瓦ノ色ハ日本ノモノニ異ナラス暗赤色ヲ有シ而シテ其製造兩種ニシ
 テ一ハ通常煉瓦ナルモ一ハ其面滑カニシテ滑面煉瓦ト云ヒ日本白煉
 瓦ト號スルモノハ其土質相異ナルカ故ニ同様火熱ニ屬スルノ所ニ
 三用フルナリ又其外形ノ美ニシテ且高價ナル煉瓦ハ日本陶器ノ如ク
 (イナタル)陶器ヲ其外面ニ付スルモノアルナリ
 屋蓋ハ主ニ板石ヲ用フ(是板石中壹種ノ屋蓋板石ト號ス)又木片アリ鋪

板アリテ日本瓦ノ如キハ甚稀ナリ

材木

建築用ノ木材ハ其數多シト雖ヒ家屋ニ用フルモノハ主ニ松ナリ或ハ地方ニヨリ檜ヲ用ヒ柏ヲ用フル事ナキニアラス而シテ松材ニ兩種アリ一チ白松ト云ヒ一チ黃松(脂松)ト云フ其白松ト號スルモノハ五葉松ノ一種ニシテ木材ト爲シタルモノ、其色ノ白キニ據リテ之ヲ名ケ黃松ト號スルモノハ其葉多クハ三又ニシテ日本松ノ如シ其木材ハ脂ヲ含ミテ稍黃ナルカ故ナリ

白松ハ黃松ヨリモ其價廉ナルカ故ニ木製ノ家屋及ヒ家屋ノ造作トモニ「ペンキ」ニテ塗ルモノニハ惣テ白松ヲ用フルナリ而シテ堅牢ヲ要スル部分ニハ黃松或ハ柏檜等ノ材ヲ用フ皆其地方ニ依リ其近傍ニ生長スル種類ノ樹木ヲ使用スルハ當然ノ理ナリトモ何レニ在テモ白松ハ

其生長速ニシテ多ク之ヲ用フルカ如シ

室内ノ造作及ヒ階側ノ欄干等ニ用フル材木ハ其種甚多シトイヘトモ上等ノ室ニ於テハ「マホガニー」「紫檀」ノ一種ニシテ中央米利堅ニ産ス(櫻栗、樺、楓等ナリ而シテ是等ハ「ペンキ」ヲ用イスシテ殆ント日本ノ能代塗ニ類スル色澤ヲ爲シ舶來器械箱等ニ多ク此塗り色アリ其塗方チ左ニ記ス

「ワヒリン」ハ一片ノ價拾四錢ニシテ輕石粉、松根油、黍糊及ヒ油ノ混合ヲ以テ製シタルモノ

「シヤラッキ」ハルニシテ「壹升」凡二圓ニシテ「シヤラッキ、エム」ト燒酎ヲ混シタルモノ

「輕石粉」ハ一斤凡拾二錢

「ハトド」チイル「壹升」凡壹圓五拾錢ニシテ油ノ壹種ナリ

前ニ記スル塗物ニハ最初アヒリンヲ塗リテ後セヤラッキ、ハルニシユニ
 其上ニ拭ヒ其乾キタルキ輕石ノ粉ニテ磨キ又「ハードチイル」ヲ以テ再
 ヒ之ヲ塗リ又輕石ノ粉ト油布巾ニテ之ヲ磨キテ置クハ年月ヲ過ル
 ニ從ヒ木材ノ色ヲ出シ光澤ヲ増スナリ
 前ニ記スル材木ノ外床等敷物ヲ用イサル所ニハ黃松ヲ用イテ「シヤラ
 キ」ヲ以テ其上ニ塗ル等ハ下等旅宿ノ食事室等ニ甚タ多シ
 市街ノ中央馬車鑢道馬車等ノ道ハ横凡六七寸堅凡三四寸立方位ナル
 石ヲ敷詰其内ニ鑢路モアルナリ而シテ其左右商店ノ前即チ人路ニハ
 花崗石アリ砂石アリ板石アリ煉瓦アリ又鑢板ヲ以テ覆フモノアリ鑢
 榮ノ市街ニシテ路下ニ居室或ハ職室等アルノ地ニハ鑢鋼製ノ如キモ
 ノチ硝子ニテ埋メタルアリテ其鑢鋼ヨリ路下ノ室内ニ光線ヲ導クカ
 爲メナリ

田舎ノ小市街ト雖モ兩側ノ人路ニハ必ス石或ハ煉瓦等ヲ敷キテ人皆
 歩行ニ困マス中央ノ車道ハ只通常ノ道路ニシテ石ヲ用ヒタルアリ又
 人路或ハ居室ノ前路等ヲ「コールタール」ニテ修繕ス是ニハ多ク石油滓或
 ハ瓦斯局ノ「ター」ニ砂或ハ小石等ヲ混シテ路ニ埋メ其乾クニ從ヒ漸々
 確堅牢ナラシム石ノ如クシ雨天ナルモ油氣アツテ水ヲ禦キテ浸透ヲ
 妨クカ故ニ他ノ石類ニ異ナルナキカ如シ是等ノ修繕ハ地方ニ依リ煉
 瓦ヲ敷クヨリモ遙ニ高價ナリトス

税説ノ概略

合衆國ハ保護稅主義ナルカ故ニ輸入品稅ハ實ニ驚クヘキ苛稅ナリ又
 内國稅モ其品ニ因リ苛稅アリ合衆國政府ハ海關(即チ輸入品稅稅及ヒ
 雜種内國稅酒煙草藥品附木等之印紙ヲ云フ)ニテ其費用ヲ支辨シ地租
 ハ各州ノ州稅ニ屬スルカ故ニ各州多少ノ差違アリ「マスサチユーセツ」

州ニ於テ聞ク所ニ據レハ千分ノ十五ナリト云フ其他州對ニ充ツルノ
 税アリ又郡費税學校税財產税分頭税及ヒ商品税等アリ其税則甚嚴ニ
 シ到底我邦人ノ眼ヲ以テ之ヲ見ルハ人民ノ納税ニ耐ユ可カラサル
 カ如クニ思ハル、モ米國人民ハ決シテ苛税ノ不平ヲ鳴ラヌヲ聞カズ
 人々皆國ニ報スル精神ト游惰無賴ノ民少ク勞働シテ金錢ヲ得ルニ容
 易ナルトニ因ルモノト思惟セラル然レモ其苛税ハ遂ニ該物價ヲ騰貴
 セシムルノ本トナリ各人ノ給金モ前表ニ記スル如ク甚ク高シ是諸物
 價ノ高キヨリシテ給金モ亦之ト共ニ高クシテ其平均ヲ爲セル者ニシ
 テ通常人足ノ給金高キカ爲メニ農ニ工ニ多少人力ヲ要スルモノハ総
 テ高價ナラサルヲ得サルヘシ之レ税則ヲ嚴ニシテ國ノ經濟ヲ立ル文
 明諸國ノ免レサル所ナリ
 分頭税ハ男子貳拾壹才トナリヲ撰舉權ヲ有スルモノハ之ヲ納ムルノ

定則ニシテ各州其例ヲ異ニシ或ハ壹人ニシテ年間貳弗ヲ拂ヒ或ハ壹
 弗ヲ拂フモノハ上等ノ事業ヲ爲スモノトシ下等ノ職業ヲ爲スモノハ
 年間五拾錢ヲ拂フ等ノ別アリ又非常ノ窮民ニハ分頭税ヲ免カレシム
 ルノ例モ各州ニテ異ナリ然レモ可ナリ拂ヒ得ヘキノ身分ニシテ脱税
 ヲ計ルハ其人ノ自ラ恥辱トスルカ故ニ教育ニ富メルノ人民ハ決シテ
 不善ヲ企圖セサルカ如シ
 輸入税ハ其品ニヨリテ異同アリト雖モ一般ニ之ヲ云キハ國內ニ産ス
 ルノ品物或ハ國內ニテ製造スヘキ品物等ハ非常ノ重税ナルモ國內ニ
 産セサルモノハ殆ント無税ニ等シ是レ則國ヲ保護スルノ主義ニシテ
 予カ喋々ヲ待タサルヘシ而シテ食物ノ如キ其税非常ニ重キ者アラサ
 ルカ如シ故ニ其品ノ一二ヲ左ニ記シ以テ輸入税則ノ概況ヲ示ス
 此税則ハ四年毎ニ議員ノ決議ニテ成ルモノニシテ本年ハ既ニ其議會

ナリ予カ彼地ヲ發スルノキ已ニ議場ニ於テ議事ヲ始メ居タリシモ各
品其稅ヲ定ムルハ數日ノ後ニアリ本年八月ニ至ラハ其稅則ノ決議セ
シモノヲ出板スヘシ前年ト其稅ノ異ナル甚キモノハ其數多カラサル
ヘシ故ニ左ニ記スルモノハ前年ノモノニシテ是迄行ヒ來リシモノヲ
示スナリ

絹織物 元價百分ノ七拾五 絹糸 無稅

煙草 同斷凡百分ノ七拾五 茶 無稅

卷煙草ノ如キハ目方ノ關係等アリテ其比例錯雜ナレ
ハ其概略ヲ記シ置クナリ

白米 壹斤百貳拾目ニ付貳錢五厘

黑米 同斷(同斷)ニ付貳錢

麵粉 元價百分ノ十

素麵類壹斤百二拾目ニ付貳錢

路線鍊 百斤毎ニ七拾錢 鍊無稅ナリシモ本年ヨリ壹
噸七拾五錢課スルニ決ス

熱鍊 壹噸ニ付拾五弗

惣テ氣發蒸溜ノ油類(石油等)壹ガロン(凡貳升)ニテ四拾錢石炭製

原油ハ同斷拾五錢石腦油ノ原油ハ貳拾錢ナリ

酒類(シヤンパン)ノ種ニシテ葡萄酒類一ゴート(ヨリ多カラ
ズ)ハイン(ニ過ルモノハ拾貳瓶毎ニ六弗

半)ハイン以上ノモノハ同斷三弗ナリ

「スビリト」氣發製ノモノニシテ拾貳瓶箱詰ト爲スモノハ壹瓶毎ニ

三錢宛ヲ拂フ

同斷氣發蒸溜酒類ハ「ガロン」ニ貳弗ヲ課シ「モルヒ子」ハ壹チン

ズ「毎」ニ壹弗ヲ課シ「ア」ニリン「染粉」ハ壹斤毎ニ五拾錢ヲ課スルナリ

内國稅中其重稅ヲ課スルモノハ卷煙草百本人ニハ六拾錢ノ印紙

7,000
1800.00

チ付シ葉煙草壹斤(百二十目)ニハ拾六錢ノ稅ヲ課ス燧付木ノ如キ
ハ三錢ノ品ニ壹錢ノ印紙ヲ附シタルモノアリ

米利堅合衆國政府年給

大統領	五〇〇〇〇、	陸軍
副統領	八〇〇〇、	大將
國務卿	八〇〇〇、	中將
大藏卿	八〇〇〇、	少將
內務卿	八〇〇〇、	大佐
軍務卿	八〇〇〇、	
驛遞總官	八〇〇〇、	
海軍卿	八〇〇〇、	
司法卿	一〇五〇〇、	

判事長 一〇〇〇〇、
議官 五〇〇〇、
海軍々々年給

航海中

碇泊中

待命中

大將	一三〇〇〇、	一三〇〇〇、	一三〇〇〇、
中將	九〇〇〇、	八〇〇〇、	六〇〇〇、
少將	六〇〇〇、	五〇〇〇、	四〇〇〇、
大佐	五〇〇〇、	四〇〇〇、	三〇〇〇、
中佐	四五〇〇、	三五〇〇、	二八〇〇、
少佐	三五〇〇、	三〇〇〇、	二三〇〇、

州長及ヒ判事年給

州名

州長

判事

ニウヨルク	一〇〇〇〇	七五〇〇
ペンシルバニヤ	一〇〇〇〇	七〇〇〇
チハイチ	四〇〇〇	三〇〇〇
ブイルジニヤ	五〇〇〇	三二五〇
マスサチウセツ	五〇〇〇	六五〇〇
カリホルニヤ	六〇〇〇	六五〇〇
アラバマ	三〇〇〇	三〇〇〇
アルカンサス	三五〇〇	三五〇〇
コロラト	三〇〇〇	三二五〇
コンチクチカット	二〇〇〇	四〇〇〇
デレウ	二〇〇〇	二五〇〇
フロリダ	三五〇〇	三〇〇〇

シタルシヤ	三〇〇〇	二五〇〇
イリノイス	六〇〇〇	五〇〇〇
インシヤナ	五〇〇〇	四〇〇〇
アイタリ	三〇〇〇	四〇〇〇
カンサス	三〇〇〇	三〇〇〇
ケンタツキ	五〇〇〇	五〇〇〇
ルイシヤナ	四〇〇〇	七五〇〇
メイン	二〇〇〇	三〇〇〇
マレーランド	四五〇〇	三五〇〇
ミチガン	一〇〇〇	四〇〇〇
シンチツタ	三八〇〇	四五〇〇
ミシシピ	四〇〇〇	三五〇〇

ミヅリー	五〇〇〇、	四五〇〇、
チブラスカ	二五〇〇、	二五〇〇、
チバダ	六〇〇〇、	七〇〇〇、
ニウマンアシヤイル	一〇〇〇、	二四〇〇、
ニウセルセー	五〇〇〇、	五〇〇〇、
ノルスカロライナ	三〇〇〇、	二五〇〇、
チレゴン	四五〇〇、	二〇〇〇、
ローデアイランド	一〇〇〇、	四五〇〇、
サウスカロライナ	三五〇〇、	四〇〇〇、
テンネシス	四〇〇〇、	四〇〇〇、
テキサス	四〇〇〇、	三五〇〇、
ベルモント	一〇〇〇、	二五〇〇、

ウゴストビルジニヤ	二七〇〇、	二二五〇、
ウイスコンシン	五〇〇〇、	五〇〇〇、
縣地方	二六〇〇、	二六〇〇、

縣地ヲ譯スルモノハ原名「アルリトリ」ニシテ未ダ壹州トナラサルモノナリ云フ即チ「アイタホー」及ヒ「ワシントン」地方ノ如キナ云フナリ
 表中ニ記載スルモノハ、外合衆國政府及ヒ諸州ノ書記官及ヒ書記生ノ如キハ大ニ奉給ヲ異ニスルモ凡月給七拾弗乃至貳百五拾弗ナルヘシ
 而シテ諸會社及ヒ諸製造礦業所等ニ在テ其總轄ヲ爲シ奉給ヲ得ルモノ年間三千弗ヲ得ルハ上等ノ給ナルヘシ又其事業上ノミナ総理シテ
 總轄者ノ補助タルカ如キハ月給百弗乃至百五拾弗ヲ通常トス然レモ
 西部諸州ノ事業ヲ爲スハ其奉給稍高キカ如シ職工ノ如キハ地方ニ因
 リ大ニ差違アルモ東部諸州ニ於テハ殆ント相同シキカ如キナ以テ其